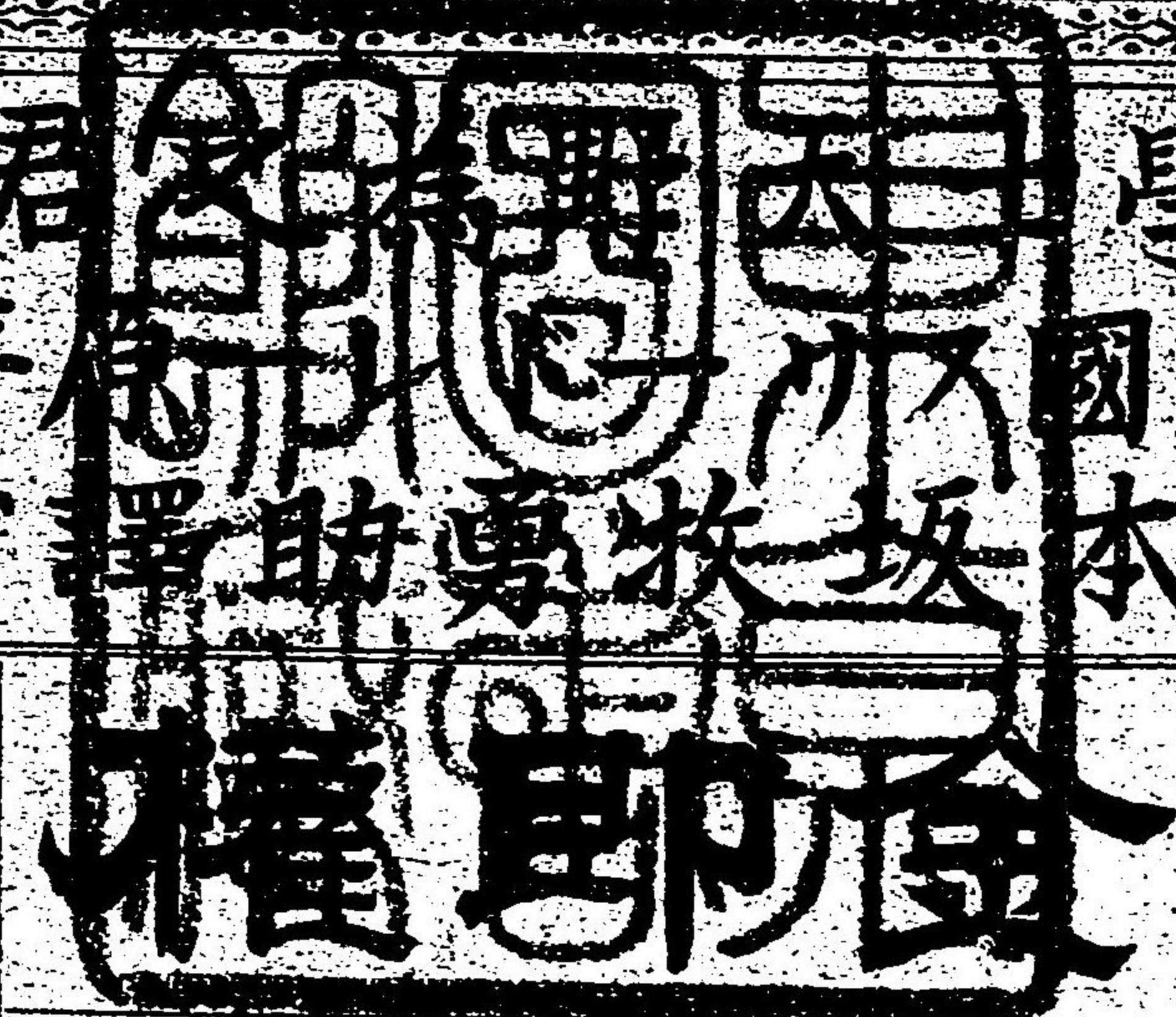


No. 12055

文 學 日 本 米 國 學 文  
日 本 米 國 學 文  
日 本 米 國 學 文

青 乘 文 身 之 方 針



商 家 致 富 之 要 訣

MONEY

金



博 文 館 藏 版  
東 京 博 文 館 藏 版



序文

余熟ヲ本邦ノ商業社會ヲ見渡スニ商業家ガ由テ以テ  
已レノ立身出世ヲ計ル所以ノ方便豈ニ夫レ少ナシト  
ササシヤ然レモ中ニ就イテ一層目立テテ著シクモ又  
苦々シキハ二タツアルニ似タリ一ハ頑固流ト云ヒテ  
天下ノ大勢ニ應シテ事業ノ方向ヲ左右スルヲ知ラズ  
徒ラニ祖先傳來ノ家業ヲ固守シテ自ラ損耗ヲ招キ兼  
テ國家ニ損耗ヲ來タス者ナリ二ハ紳商流ト云ヒテ商  
業ノ何物タルヲ解セス廉耻道德ノ何タルヲ頓着セス  
巧ミニ官邊ニ攀チ縋リテ其間ニ不義ノ富貴ヲ貪ラン  
ト後生大事ニ心掛クル者ナリ然リ而シテ今日社會ノ  
事物ノ日ニ月ニ變リ行クニモ拘ラズ頑々然トシテ舊



習ヲ墨守シ需給ノ投合ヲ計ル勘弁才覺モナキ彼ノ頑  
固者流ハ次第々々ニ消滅ス可ク永ク此世ニ成リ立ツ  
能ハザルト是レ明鏡ニ照ラシテ見ルヨリモ瞭然タル  
ナリ獨リ紳商流ニ至リテハ其流レヲ汲ム者容易ニ其  
痕跡ヲ絶タザルニ似タリ現在世ノ父タリ兄タル者ガ  
其子弟ヲシテ立派ナル商業家トナラシメシト企ツル  
ニ於テハ動モスレバ之ニ適當ナル商業上ノ教育ヲ與  
フルヲ此上モ無キ迂策トナシ唯々々々權門ニ取り入  
ルノ方便ヲ學修スルコソ富貴利達ノ捷徑ナレト心得  
ルニ至ル商業家トシテ立身出世ヲナサントナラバ或  
ハ圍碁或ハ茶ノ湯或ハ蹈舞ヲ學ブ可シ或ハ庭園書畫  
骨董建築ニ關スル批評ノ演習ニ出精セヨ通商條規商

法民法商品學商業地理等ヲ研究スルガ如キハ迂遠至  
極ノ次第ナリト妄想スル者之レナキニアラズ若シ夫  
レ斯ナル教育ヲ受ケタル商業家が續々世間ニ輩出シ  
商權ヲ占斷スルニ當リテハ我國ノ前途如何アル可キ  
ゾ誠ニ憂慮ニ堪ヘザル者アラントス併シナガラ退イ  
テ考フルニ此紳商流ト雖モ今日トナリテハ最早永ク  
其地位ヲ維持ス可シトモ思ハレス人民ノ智識漸ク發  
達シ人民ノ見聞漸ク延長シ社會事物ノ真相内幕ノ漸  
ク明瞭掩ラ可カラザルニ及シテハ其秘術妙計モ亦々  
施コスニ所ナキニ至ラン吾輩ハ遠カラズシテ此流義  
モ絶滅ニ歸センヲ冀ヒ且ツ信スルナリ斯ノ如ク頑  
固流モ消滅ス可ク紳商黨モ永ク此世ノ人ニアラズト



スレバ日本將來ノ商人ハ何ヲ標準トシテ已レノ方向ヲ定ム可キゾ他ナシ精細ニ商業ノ學問ニ從事シ能ク之ヲ日本ノ事實ニ應用シテ一方ニハ彼ノ頑固黨ト轍ヲ異ニシテ巧ミニ需要供給ノ投合ヲ計リ他ノ一方ニ向ツテハ紳商流ノ爲ニ倣ハズシテ官邊ニ依頼セス獨立獨行誠心誠意以テ商業ニ勉強ス可シ是レ實ニ余輩平生ノ冀望タリ頃口金ト題スル書成リ余ノ一言ヲ請フ余之ヲ一讀スルニ米人「フリードレー」氏ノ著書ヲ譯セルモノニシテ其説ク所ハ眞成ナル商業家トナラントスル者ノ爲メニ良指針タルヲ覺エ喜ンテ一言ヲ陳述スルヲ此ノ如シ

明治廿一年八月牟々亭ニ於テ 天野崧村識

例言

- 一本書ハ米國「エドウィン・テイー・フリードレー」氏ノ著ハセル(モチー)書ヲ抄譯シ傍ヲ補フニ(ユース・ビュシチツスガイド)及ビ(ハーウ・トード)「ビュシチツス」ノ函書並ニ「ギルバルド」氏ノ銀行論中商人向ノ部ヲ抄譯集纂シタルモノナリ
- 一本書「金」ト單稱スル所以ハ蓋シ金ヲ得ル方法、金ヲ保ツ方法、金ヲ利用スル方法等ヲ論シタルモノナレハナリ
- 一本書ハ主トシテ商人向ノモノナレドモ成ルベク一般事業家實業者ニモ實地適應スルヲ務メ殊ニ第五章迄ハ何人ニモ必要ナル者ナリ其以下ノ各章ト雖モ讀者ノ考へ様ニ由リ種々多大ノ利用法アルハ予ノ信シテ疑ハサル所ナリ
- 一本書行文ハ專ラ平易實益ヲ主トス故ニ間々俗語風ヲ以テ記載セシ所モアルヘシ



明治二十一年八月

譯者識

六

言例

# 金

## 目次

### 緒言

#### 第一章 事業ノ撰擇

人ガ職業ヲ撰ム所以

事業撰擇ノ困難

自己ノ心身ト事業トノ不同

想像ヲ以テ判斷ヲ誤ルベカラズ

目的ヲ以テ決斷スベシ

撰擇ニ關係アル條件

シドニー、スミツス氏ノ確言

スウイソト氏ノ確言

職業ノ種類

精神的勞力ト四肢的勞力

精神的勞力者ノ普通價格

四肢的勞力者ノ高給料

目次

七



四肢的勞力者ハ尤經濟主義ニ叶フ  
四肢的勞力者ハ尤獨立ノ位置ヲ占ム  
人ハ必ス職業ニ從事スベキ者ナリ  
ステフエン、キラード氏ノ注意  
博士スキールマン氏ノ演說

第二章 事業者ノ學ブベキ慣習

勉強  
整頓  
計算  
細心  
守約  
固執

第三章 實業的智識ヲ得ル方法

學理  
學理ヲ知ル根源  
五官ノ發達

精神上諸記力ノ開發  
書籍館ヲ備フベシ  
實際ノ利益  
特別ノ問題ヲ定テ調査スルコ  
商館  
幼時ヨリノ弟子入  
小賣商  
弟子入ノ目的  
二三種類實業ノ智識ヲ備フルノ必要

第四章 實業者ノ學ブベキ普通學科

數學  
理化學  
博物學  
法律學  
經濟學  
日本人ノ普通學ニ對スル觀念  
商業地理



商業歴史

第五章 特ニ普通商人若クハ商店ニ入ル者ノ知ルベキ學科

出過キタル考ヲ避クベシ

事業社會ニ入リシ當時ノ心得

圖寫物ヲ讀ム熟練

算術

暗算

簿記

速記法

外國語

國語

第六章 事業相當ノ資本

借用資本ノ不都合

資本ト事業トノ割合

安全ナル程度

商賣ニ由テ資本ノ差アリ

事業擴張ノ極度ニ達シタル者

第七章 商店

商店ノ位地

建物

商店ハ清潔ニシテ且ツ空氣ノ流通宜シカルベシ

光線

物品排列方法

物品檢査用ノ器械并ニ別室

第八章 信用

信用ノ起源

信用ハ自然ノ事實ナリ

法律ノ制裁ナキ場合

不信用ノ場合

他人ヨリ教示ヲ乞ハレタル時

詐偽

懸價

不能力者ニ對スル場合



他人ヨリ特別ノ事ヲ知ル場合  
爾ニ出ル者ハ爾ニ反ル  
一國商業ノ狂乱シタル時

第九章 賣買

善良ナル買人

賣方

物品ノ保証

花主ノ所思ヲ推察スベシ

客ガ直ニ物品ヲ買ハサル場合

婦人ニ對スル心得

割引ニ關スル智識

賣買循環ノ遲速

賣買上ノ金科玉條

賣買契約ノ二種

契約ノ要素

契約ヲ爲シ得ザル人

賣渡ス權利ナキ人

終因  
擔保ノ義務  
賣買對手相互ノ義務  
契約上ノ注意數言

第十章 手形

手形ノ二類

手形關係者ノ名目

手形ノ雛形

手形ノ要素

手形ヲ請取タル時

手形期日上ノ分類

手形ノ真偽ヲ鑑定スル方法

不都合ナル手形

金高記載ニ關スル注意

第十一章 花主ヲ得ル方法

商店



第十二章 商家ノ記録

總括出納簿

日々出納簿

貸借期限簿

秘密通信簿

花主事業分類表

花主通信簿

花主ノ様子ヲ探シル方法

勘定ノ注意  
客ニ對スルノ親切  
客ニ由リテ取扱ヲ異ニスベカラズ  
新花主ヲ集ル法  
廣告ノ自由  
廣告ノ仕方九則  
廣告ハ一國ノ文明ニモ利アリ  
日本從來商人ノ廣告ヲ利用セサル一例

第十三章 通信

他人ニ通知スベキ事ノ起ル場合

手紙ノ書方

請取タル書簡

送出タル書簡

畫問保存方法

第十四章 餘利資本

餘利資本ノ二種

永久餘利資本ノ所置

財産ノ二種

當坐餘利資本ノ所置

輸出入品ニ對スル貸付

精製品ニ對スル貸付

諸手形ノ買入

資本運轉ノ遲速

土地ヲ抵當ニ取ル場合



自家ト取引關係アル者ニ貸付クル場合  
金ヲ借ル人ノ事業如何  
生命保險証書ニ對スル貸付  
滯貸ノ生スル原因

第十五章 事業失敗ノ原因

失敗ノ原因ヲ知ルハ則成功スル所以ナリ  
事業撰擇ノ誤謬  
事業不案内  
屢商賣ヲ換フル  
信用濫用ノ場合  
不長ノ慣習  
事業管理ノ不行届  
失敗セントスル場合ノ所置

第十六章 手代番頭

手代雇入ニ干スル注意五則  
手代ニハ給料ヲ與フベシ

給料ハ公平ナルベシ  
手代身元保証金  
手代過失若シハ逃亡シタルキ  
手代ノ事務分擔ノ要用  
手代事務分擔  
手代ニ休日ヲ與フルノ利益

第十七章 注意數則

完全ナル商人  
不決斷ノ弊  
商人ハ自家ノ欠點ヲ知ルヲ要ス  
商人ノ遊戯  
時間ヲ節儉スベシ  
節儉ト富貴トノ關係  
事業管理ニ干スル注意  
如何ニシテ學ブベキヤ  
賣買ニ關スル事  
態度ハ見苦シクスベカラズ



遠慮及節儉  
一家秩序

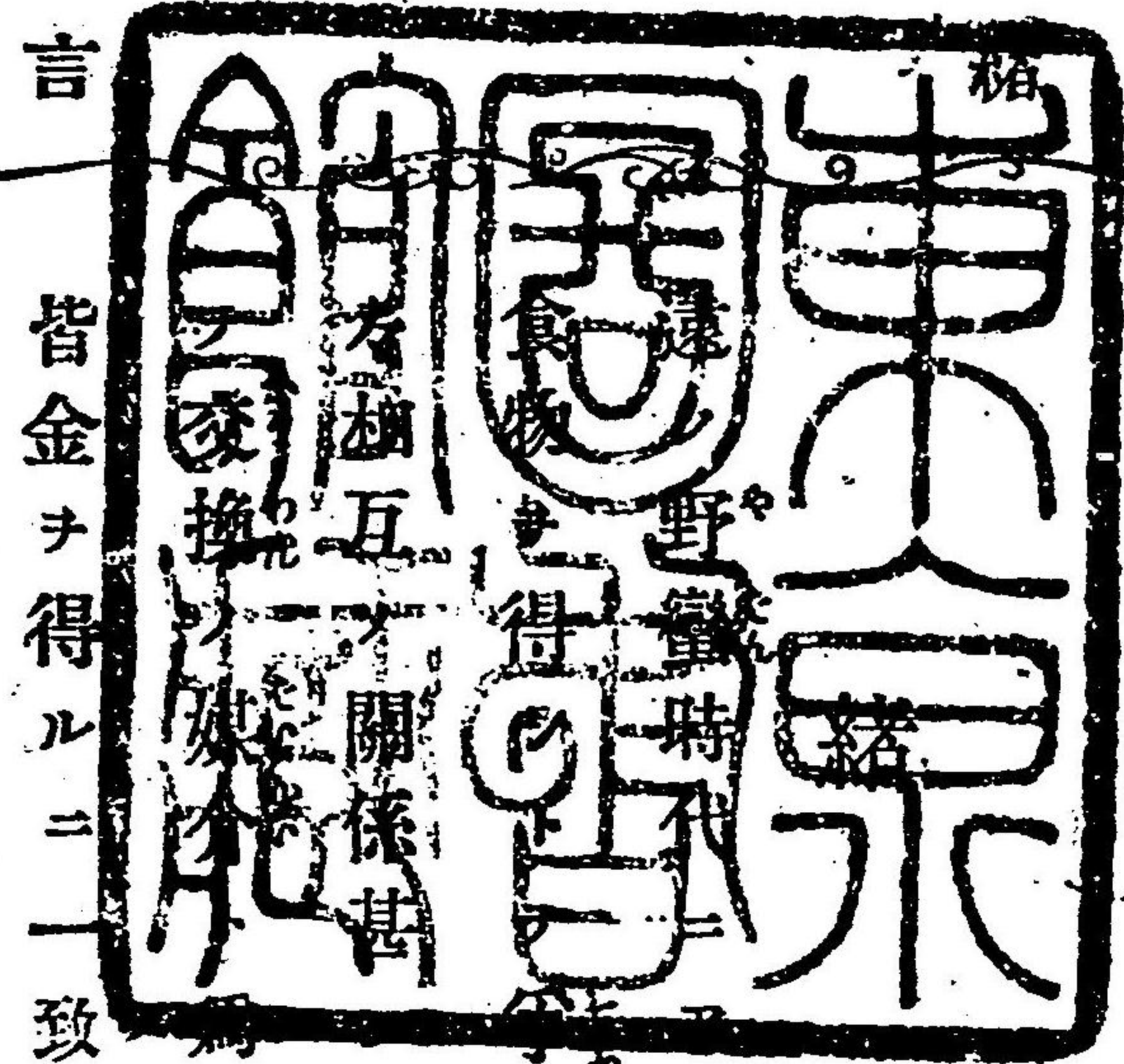
第十八章 確言

歐米諸大家ノ確言數十條

附 錄 世界第一富豪ロスチャイルド氏ノ傳

金 MONEY

米國 フリードレー 原著  
日本 坂牧勇助 譯補



№12066

言

リテハ人々ノ關係個々ニシテ生存競争ニ忙シク只  
闘ヲ絶タザリシカド日新文明ノ今日ニ至リテハ人  
密ニ勞力ヲ以テ勞力ニ易ヘ且ツ貨幣ナルモノアリ  
リ勞力計算ノ標準ト爲リテ人生事業直接ノ目的ハ  
皆金ヲ得ルニ一致シタリ

金錢ハ其儘ニテ食ヒ得ヘキ者ニアラズ又渴ヲ慰スル者ニモアラサレ  
凡已ニ百般ノ物品百千ノ便利ヲ授受スル媒介物ト定マリタル上ハ自  
身百般ノ需要ヲ充タヌニハ此物ナクテハ叶ハシ其要用ナル人々ノ獨



立心ヲ高ノ自己ノ欲スルニ任セテ何事オモ爲シ得ヘク仁ヲ爲スモ義ヲ行フモ禮義深キモ亦此金錢ヨリ起ルコトニシテ實ニ諸般幸福ノ泉源ナルベシ

金錢ハ其用方如何ニ由リテ或ハ徳トナリ或ハ不徳トナル之ヲ以テ不慮ノ事情及老後ノ豫備若クハ親族朋友ノ困難ヲ救フニ供セバ其光澤ハ一層大ナルベシ

吾人人類ノ歴史ハ實ニ吾人祖先ガ百般ノ方法ニ由リテ幸福ヲ追捕セシトスル有様ヲ示シタル者ニシテ以士利人ノ移轉ト云ヒ十字軍ノ遠征ト云ヒ釋師ノ十戒モ回教ノ哥蘭(回教法典之名)モ基督ノ十戒モ孔聖ガ儒教モ妄リニ驕奢ヲ盡シタル者モ大望ヲ抱キテ投機ヲ試ミタル者モ宗教狂ヒモ學者モ哲學者モ一言以テ之ヲ蔽ヘバ曰ク幸ヒテ求ムルノミ

古代ニ有リテ殊ニ哲學者宗教家ナドハ妄リニ肉欲ヲ離ルヘシ精神ハ

尤モ高尚ナラサルヘカラズト頻リニ心理上ノ事ノミ述ヘタレモ當今ニ至リ斯ル説法ノミニテハ到底人間ノ徳義高尚トナルベカラザルコトモ漸ク發見セラレ人生ノ幸福ハ全ク熱心ニ職業ヲ務ルコトアリ智識ノ増加理學ノ發達醫術ノ進歩通信ノ便易等總テ有形的物事ノ發達人々ノ自由愉快便利等カ直接ノ進歩ニアリテ妄リニ空理ヲ談スルニアラザルヲ知ルニ至リ却テ吾人ノ幸福ハ一層ノ進歩ヲ見タリ

古代ニアリテハ實ニ哲學者宗教家ガ事業ヲ賤ミタルノミナラズ教育家ナドモ一般ニ商工業ヲ嫌ヒ商工者ヲ以テ全ク下等社會ニシテ私欲深キ者トシタノ商人「たゞノ商工業ヲ取ル人」ナド輕蔑風ノ語ハ往々著述中ニモ散見スル言辭ナリシ有名ナル「ゴールド、スミス」氏ト雖モ長ク商業ノ行ハレタル地ニハ徳義壞類シテ名譽ナル者ナシト述べ「スベクテトトル」(雜誌ノ名)ノ記者「アデイソン」氏モ何不都合ナキ商人ヲ以テ徳義ナキ者ノ如ク記載シタリ



然レモ吾人ハ何故ニ斯ク實業者ノ賤マレタルカ商工者ハ果シテ如此  
 賤キカヲ知ラサルナリ之ヲ歴史ニ見ルモ閑散勝ナル者却テ不正ヲ働  
 キタルガ如ク小人閑居スレバ不善ヲ爲ストノ言ハ實ニ吾人ヲ欺カザ  
 ル也

四

土耳其人ノ諺ニ曰ク

定業アル人ハ一ハ悪魔ニ誘ハレ懶惰ナル者ハ一千ハ悪魔ヲ以テ苦  
 メラル

又西班牙國ノ諺ニイフ

人ハ常ニ悪魔ヲ以テ誘ハル者ナリ去レモ懶惰者ハ專心魔界ニ沈  
 溺ス

如何ニモ尤ナル言ト云フベシ

人ノ心ハ決シテ靜止シ居ルモノニ非ズ常ニ善事若クハ惡行ニ干係セ  
 サレバ止マシ肉体モ亦然リ肢體働ラツ爲ニ出來タル者ナリ若シ何事

オモ爲サレバ却テ鏽ヲ生シ終ニ衰弊シ了ルヘシ吾人ガ常ニ心身ヲ  
 使用スル定業ナカルベカラサルハ亦云フ迄モナキ事ナリ然ラハ則チ  
 吾人ハ如何ナル業務ニ吾人ノ心身ヲ投スベキヤ曰ク心身何レニモ適  
 當シタル事業ヲ執ルベキナリ

事業ニハ高尚ナル道徳才智上ノ能力不用ナリトハ大ナル心得違ナリ  
 事業十分ノ成功ヲ望ンニハ寧ロ道徳智識両ツテカラ兼備セサルベカ  
 ラズ社會ニ立ツテ職業ヲ爲スハ實ニ道徳智識ニ關スル嚴シキ試験ヲ  
 受クル者ナリ朝ニ學者ト談シ夕ニ學理ヲ考ヘテ隨意ニ勉強スル學生  
 ハ自家ノ窓口ヨリ社會ヲ見下スハミニテ社會ニハ如何ナル危難如何  
 ナル誘惑ノ存在シテ社會ハ如何ナル試験場ナルカヲ知ラザルベシ去  
 レモ一旦社會ニ出テ百般ノ誘惑物ニ際會セバ此等薄弱ナル土塞製ノ  
 人物ハ忽ニシテ拐兒詐欺者人殺シトモナラン人ノ性質ハ長ク同一ハ  
 點ニ止マリテ善ナルカ惡ナルカ不明ノ境遇ニ沈淪スル者ニハアラズ

五



嚴シキ試験場ナル社會ノ淘汰ヲ經ハ速ニ其眞性ヲ現ハシ輕薄狡猾ナル者ハ忽チ「うそつき」トナリ德義ナキ者ハ惡漢放蕩トナリテ失敗零落スベシ

緒

言

其人ノ性質非常ニ完全ナラハイザ知ラズ格段ノ練習ニ由テ德義ヲ高メントスル者ニハ或事業ヲ執リテ困難セシムベシ熟練深キ仲裁者（論争）和鮮ノ事ナリト自稱スル人ニハ自身モ關係シテ一部ノ利ヲ有スル事件ヲ判断セシメ勘定ニハ嚴確ナリト自稱スル人ニハ自身ノ財産ガ關係シ居ル計算ヲ爲サシメ只學文ノミ事トシ事業ニハ才智德義ハ無用ナリト妄想シ金ハ馬鹿ニテモ得ラルベシナド考フル輩ヲシテ長期ノ信用ヲ要スル事業ヲ執ラシメヨ隨分預想ニ反對スル事モ續々起リ來リ一年ヲ經ズシテ死セル書籍ガ生ケル經驗ハ爲ニ埋没セラル、チ見ハ實業ニ鞅掌スルハ學術ヲ學ブヨリ一層六ヶ敷ヲ知ラン實ニ職業ハ人ノ德義ヲ嚴シク吟味スルモノナリ又忍耐心ヲ試ムルモノナリ生

緒

言

活ハ試験ナリ事業ハ德義ヲ完全ニ實行スルノ方便ナリ故ニ宗教家モ文學者モ余リ高尙ナル理論ノミヲ談スルヲ止メテ事業界ニ奔走スル才智モ德義モナキ兒輩ニ實際ノ宗教實際ノ智識ヲ傳授セラレシ望マシケレ

「義ルハルト」氏ハ其著書古代商業史ニ於テ左ノ如ク述ベタリ

一國ノ商業ハ其住民ノ性質ニ屬ス時ノ古今ヲ論セズ洋ノ東西ヲ問ハズ其國其都繁榮ノ一大原因ハ必ス人民ノ智德ニアルモノニシテ其國ノ位置如何ニ便利ナリトモ人民ノ行爲不良ナラハ此便利ハ其効ナカルベシ其國商人カ此等ノ便利ヲ利用シテ確乎ノ業ヲ營マズ或ハ詐偽權謀ノ如キ或ハ賭博潛商ノ如キ卑劣ナル習慣ニ染マハ其身ハ只零落セシノミ

一國ハ繁昌スルハ全ク人民ハ正直勉勵細心忍耐及公共心ノ諸德ニヨル者ニシテ之ヲ應用スル須ク敏捷ナラザルニカラズヨシ其才能



ハ余リ優等ナラズトモ動作ニ於テ敏捷ナランニハ却テ才能卓越ニシテ懶惰ナル者ヨリ世間ニモ多クノ功益アリ從テ自身モ大ニ立身スベシ云々

予輩ハ實ニ此言ヲ信シテ疑ハサルナリ故ニ事業家トナリ商業家トナルニモ徳義ヲ要シ才智ヲ要スルヤ予輩ノ喋々ヲ待タスシテ已ニ明ナルベシ  
熟練シタル勞力者ハ勞力ノ割合ニ大ナル収入ヲ獲ベク獨立ト幸福トハ共ニ職業ヲ正當ニ執行管理スルニヨツテ得ラルベシ去レハ事業ヲ爲サンニハ先ツ事業真正ノ原理智識ヲ貯ヘ其事業ヲ見出スニ都合宜キ道筋ヲ取り機會ノ來ラサル其以前ニ用意ヲ爲シ能ク目ヲ張り詰メテ自身ノ前ニ並列セル社會ノ運動變化ニ注意シ素早ク時機ヲ捕獲セサル可ラス

己ニ金力ノ盛ナルコト金ナクテハ何事オモ爲シ難キヲ其金ヲ得ル

ニハ事業ヲ執ラサルベカラサルヲ述ヘタレバ次ニ事業ノ撰擇ニ關スルヲ論スベシ

### 第一章 事業ノ撰擇

「アデイソン」氏曰ク

今日事業社會ニアリテ自家相當ノ業務ヲ取り得ザル不幸ニ際會スル者甚タ少キハ實ニ事業社會人民ノ大ナル幸ナリ

己ニ丁年トナリテ法律上契約ヲ爲シ得ベキ時ニ達スレハ則チ自ラ事業ヲ營ミ得ベキ人ナリ此際自家ノ性質才能ニ相當シタル地位ヲ得テ完全ナル成功ヲ望フニハ思考力忍耐力ナルベカラズ從テ又強健ナル体力ナルベカラズ  
●人ガ職業ヲ撰ム所以  
●貴賤上下ヲ問ハズ人々カ熱心ニ事業ヲ執リ



テ東西奔走日モ亦足ラサルハ抑何か故ナル哉實ニ自家ノ獨立自治ヲ  
 求ルニアリ、自己ノ使用ニ餘リアル程働シ節ハ富豪ナル土地所有者ト  
 同様ニ獨立シ從テ幸福モ多シ左ラハ如何ニセハ完全ナル獨立ニ達シ  
 得ベキカ曰只毎日定職ヲ取りテ怠ラサル者ニシテ却テ勞力ノ結果收  
 入ニ使用ノ余錢ヲ生スベク從テ獨立シ得ベキナリ職業ハ實ニ人ノ獨  
 立ニ達スル最モ確實ノ道理ナリ又方法ナリ  
 「職業ヲ有スル者ハ乃財產ヲ有スル者ナリ事業アル者ハ利益ト名譽  
 トヲ有スル者ナリ」  
 トハ實ニ吾人ヲ欺カサルノ言ナルベシ  
 古代ニアリテ猶太人ハ如何ニ貴キ者ニテモ學問才藝アル者ニテモ又  
 一ノ職業ヲ執リタリ  
 斯波爾太ニテハ兩親ニ奉養セサル者ヲ罰スルノ規則アリシガ若シ兩  
 親ニ於テ其子孫ニ職業ヲ教ヘサルカ或ハ教授ノ方便ヲ執ラサリシキ

ハ仮令其子が兩親ニ奉養セサルモ不都合ナキモノト定メタリ  
 人々カ正當ナル生活ヲ得ベキ事業ハ何レモ要用ニシテ學問ニハ之レ  
 ハ賤業ナリ彼レハ下等社會ノ業ナリナド區別スル者アレトモ考ヘ深  
 キ人ノ目ヲ以テ見レハ何レモ甲乙ナク只從事シ居ル人ノ精神及ヒ學  
 動ノ如何ニ由テ貴クモ見ヘ又賤クモナルナリ  
 事業撰擇ノ困難 兩親ニシテ事業ヲ指教セサル者ハ少年ハ進ンテ  
 自ラ撰擇スル所ナカルベカラズ少年ハ經驗モ少ク智識モ足ラサレバ  
 事業ヲ撰擇スルニハあかあか困難ナルベク又其肝要ナルヲ知リタル  
 人ニハ愈困難ナルベシ  
 妄リニ高尙ナル事業ヲ撰ミ誤ラノヨリ寧ロ湧キ來ル好機會ヲ取リ  
 逃サヌ様務ムベシ元來好機會ナルモノハ容易ニ來ラズ又人力勝手  
 ニ想像スル如キ機會ノ來ルベキ様ヲシ何ントナレハ人間ノ想像ハ  
 頗ル架空ニシテ圓滿ニ圓滿ヲ重テ十分ニ十分ヲ積メトモ世間ノ事







會ニハ事業社會固有ノ秩序アリテ其階段數十決シテ一足飛ヲ許ル  
 サズ勿論初ヨリ高地位ヲ與ヘザルナリ  
 此際自ラ余リ高ク見積リタル人ハ愈不平ナルベク或ハ堪ヘ兼テ退  
 キ再ビ轉シテハ又去リ轉々其幾回ナルヲ知ラズ信用地ヲ掃フテ又  
 用ユル人ナキニ至ルベシ想像ノ害又戒メサルヘカラズ  
 目的ヲ定メ決斷スルヲ 大業ヲ爲シ遂ニハ能ク見込ヲ立ツルト  
 能ク判斷スルトハ共ニ必要ナリトハ事業家ノ述ブル所ナリ然ルニ今  
 日吾人ノ事業ノ目的範圍ハ甚制限セラレ活潑ナル人々ハ常ニ謂ヘテ  
 シ予ノ豫期スル事物ニシテ豫期スル如ク來ラザレバ予ハ何事ヲ爲ス  
 ベキカ吾人ガ目的ハ實ニ活潑ナル決斷ト相伴フテ初テ成就シ得ヘシ  
 ト如何ニモ尤モナル言ナリ行ハントシテ屢々躊躇スル人ハ到底何事  
 オモ爲シ得サルベク人生ノ幸運ハ變轉不定ノ者ナレバ如何ニ大望ヲ  
 抱キタリトテ適當ナル目的ト活潑ナル判斷トノ一致ナカリセバ僅々

數尺ノ巨離ニ轉々變動シ居ル金玉モ遂ニ握リ得ラレマシ唯タ徒ラニ  
 大金儲ノ夢ヲ見タルト一般ナルベシ  
 故ニ眞ニ事業ヲ爲ントスル者ハ最後ノ如何ナルヤヲ問ハス只此目的  
 ハ宜キヤ若シ宜クハ其ノ方便即之ヲ達スルノ方法ハ如何ト考フヘキ  
 ノミ道路ノ險難之ヲ避ケ得ヘキ方法ヲ聞テ失敗セハ如此困難スルナ  
 ド人心ヲ誘惑薄弱ニスル事ヲハ耳ニセサルナリ斯ル意氣込ニテ着々  
 事ヲ爲スモ固ヨリ失敗スルコトアルヘシ然レトモ失敗シタリトテ其經  
 験ノ價值ハ成功シタルト同一ニ他年世ニ處スルニ當ツテ十分ノ指南  
 車ト爲スニ足ルベシ  
 譯者曰事業撰擇ノ事コソ實ニ人々カ運命盛否ノ分レ目ニシテ少年  
 ノ尤困却スル所從テ失敗シ易キ所ナリ然ルニ「フリードレー」氏ノ著  
 書ハ此點ニ於テ盡サザル所アレハ予ハ以下ニ「ユース」ビシテ「スガイ  
 ド」(書名)ヲ抄譯シテ補フ所アルベシ



其第一章職業ノ撰擇ニ曰ク

兒輩ハ未ダ學材ノ科程ヲ終ラサルニ先チ己ニ自家未來ノ事ニ考ヘテ起シ從テ左ノ如キ疑問ヲ引起スナラン

「予ハ何事ヲ爲シテ社會ニ立ツベキヤ」

如此疑問ヲ起シテ思考ヲ費シ生活ノ方法ヲ得ルコトノ最大要務ナルヲ知リ從テ自己未來ノ成功及幸福ハ大ニ職業撰擇ノ正否ニ關係アルヲ知ルハ兒童ニ取リテ實ニ望マシキ事ナリ

而親後見人等ハ兒輩カ目的ヲ定ムルコトニ大勢力アルモノニシテ其注意ハ兒輩カ將來ノ進歩ニ干係アルコトモアリ又勘考ノ條件トモナルヲアラン乍去吾人ハ而親後見人ノ事ヲハ余リ論辨セズ暫ク兒輩カ全ク一人立ナル事ヲ假想シ專ラ之ニ付テ論スル所アラントス

職業撰擇ノ必要ハ誰シモ知ル所ニシテ今更云フ迄モ無キヲナリ去レトモ吾人ハ屢々他人ハ甘ク自身適當ノ事業ヲ爲スニモ拘ハラズ予ハ

予ノ方向ヲ誤リタリト自信シ若ハ全ク自己ニ不適當ナル事物ニ突キ當リ蹉跌シタリト自白スル人ニ接スルコトモ多キヲナレハ茲ニ撰擇

スル人ノ注意ヲ少ク述ベントス

第一節撰擇ニ關係アル條件 社會ニ立テ一業ヲ爲サンモノハ正當

ニ事業ヲ撰擇センコトノ必要ナルヲ知リ并テ其撰擇ハ自己心身ノ傾向性質ニ屬スルヲオモ知ラレサレハ自身カ天然ノ才能ハ如何ナル種類ノ者ナルヤ如何ナル所ニ横ハリ居ルヤヲ知ラントテ務ムルハ最大緊要ノ事ナルベシ

「シドニー、スミツス」氏ハ嘗テ此類ニ關シ説ヲ爲シテ曰ク

汝ガ爲サン事業ハ天カ汝ニ與ヘタル自然ノ長所ナルベシ然ラハ成功モ大ニ慥ナラン若シ然ラスシテ天賦ノ稟性ニ反對シタランニハ其事ノ成就セサルハ愚カ或ハ爲ニ千百ノ不都合ヲ身ニ反スヲアル



「スウイフト」氏が確説モ亦此意ヲ横張シタル者ニ外ナラズ其言ニ曰  
自身ノ才能長所ヲ認メ得タル者ガ零落セシトモナク天稟ニ反對シ  
テ事ヲ執ル者ガ繁昌シタルトナキハ争フベカラサル事實ナルベシ  
云々

世間多數ノ人民中少年時代教育ノ方針ヲ誤リタルヲモ知ラデ天賦ノ  
性質ニ反對シタル業ヲ取り僅ニ其地位ヲ保テ得テ自ラ満足シ居ル者  
モ亦少ナカラサルカ如シ  
然レモ十分ニ成功セシト望マハ四角ナル性質ノ人ハ四角ノ穴ニ入  
ルベク圓キ者ハ圓キ者ニ從ハサルベカラズ人々ガ天然ニ得タル心身  
ノ有様傾向ハ自身ノ職業ヲ得位地ヲ高ムルニ尤モ安全ニシテ尤モ屈  
強ナル道案内タルベク人が最モ多ク爲シタシト思フ事ハ又其人ガ尤  
モ能ク成功スル事ナルベシ  
●第二節職業之種類  
少年者中或ハ宣教師法律家醫師トナルヲ目的

トシ又陸海軍士官若クハ普通官吏ト爲ランコトヲ務ムルモノモアレ  
凡此等ハ實際容易ナラサルコトニシテ又英國一般ノ風習ニモ非ズ之  
ヲ社會一般幼年者ニ通シテ觀察スレハ大概ハ多ク精神上無形ノ能力  
ヲ要スル「クラッシュ」ト多ク有形ノ体力ヲ要スル「ラフツマン」  
「ツプ」トノ二者ニ分ル、者ノ如シ以下「クラッシュ」ハ精神的勞力者  
ト譯シ「ラフツマン」ハ四肢的  
勞力者ト譯ス去レモ一ハ全ク精神上ノ働キノミヲ要シ他ハ体力ノミニ由ル  
ト信シ一方ハ教育アル人ニ他方ハ無教育ノ人ニ適スルナリ杯思フハ  
固ヨリ謬見タルヲ免レズ二者共ニ精神及体力ノ働作ヲ要スルハ勿論  
ナルベシ然レモ此二者中實際何レカ其人ニ適スルカヲ定メンニハ其  
本人ノ性質ハ果シテ形而上的ニ屬スルカ將又器械的ニ屬スルカヲ知  
リ從テ質地ニ前二者ノ業務ヲ取ラシメテ比較スルモ一方ニ對シ間違  
ナク特別ノ長所アラシトナ知ルハ甚肝要ナル事ナリ教育ニ至テハ  
兩者共ニ必要ナレモ實際一方ハ他方ヨリモ形而上的ノ學問一層必要



事業ノ撰擇

ナリ語ヲ換ヘテ云ヘハ精神的勞力者ハ一段多クノ教育ナカルベカラサルナリ

現時社會ニ於テ精神的事業ノ好尙次第ニ増加シ四肢的ノ事業ヲ嫌フモノ次第ニ數多クナルハ全ク精神的事業ハ優美ニシテ面白ク他ハ甚ク快樂ナキモノトノ誤想ニ基クナラン此思想ヨリ現時經濟社會ニ流行スル尤モ重大ナル謬見ノ一ニシテ斯カル誤想ハ社會ノ教育及禮儀ガ次第ニ進歩シタルヨリ四肢ヲ勞スル如キ有形的事業ヲ排斥スル傾向ニ胚胎シタルモノ、如シ故ニ両親タル者ハ自家ノ地位ハ社會ノ如何ナル種類階段ニアルヤヲ願ミス安リニ兒輩ヲシテ一層高尙ナル地位ニ上ラシメント欲シ兼テ自家職業ノ不沙法ナル點オモ知リ居リ一方ニハ兒童ヲ責メテカ、ル次點無カラシメント希望スルノ余リニ自身ガ經驗シタル失敗ノ轍ヲ再ヒ踏マザラシメント欲シ本來社會萬般ノ事業ニハ何レモ若干ノ不都合若シハ失敗ノ付纏フモノナルヲチ

事業ノ撰擇

モ忘レ馬鹿ラシクモ向フ見ズニ兒輩ノ適否如何ヲ問ハズ風雅ラシキ無形的事業ヲ學ハシメントスルニ至リタリ豈誤リタルモノニアラズヤ

第三節各事業ニハ其々ノ困難アリ 社會ニ立ツ上ハ假令如何ナル地位ニアリトモ若干ノ心配掛念ナキ者ハヨモアラジ大ナル會社及組合等ノ首領ハ一顰一笑モ容易ニ爲スベカラサル者ニシテ其下ニ屬スル事務員等ヨリ一層多クノ心配ヲ有スル者ナルベシ世間並活潑ニ立働ク各人ノ爲サ、ルベカラサル事業ハ其種類コソ異ナレ殆ント同一量ノ者ニシテ或人ハ大ニ遊ヒ或人ハ大ニ苦ミ或ハ樂ミ許リ或ハ苦ミ許リト云フ者ニアラズ總テ社會ノ一人トシテ立ツ上ハ仕事ヲ爲サスシテ可ナル者モナケレバ從テ事業ヲ爲サンニ自身ノ精力ヲ全ク注カスシテ宜カルベキ事モナシ事業尤モ多忙ナル人ハ尤モ幸ニ仕事少キ人ハ幸モ憐レナル者ナルヲハ世俗ノ稱スル所蓋シ吾人ヲ欺カサルナ



社會多數ノ人ハ曰ク如何ナル事業ニテモ別段厭ハサレハサリナカラ四肢ヲ勞スル如キ仕事ダケハ全ク御免蒙リタシトコハ謬見ナルベシ運動遊樂若クハ何事オモ爲サテ只仕事ヲ爲ス「仕事甚タ忙シ」ナド語り居ルコトハ甚容易ナルベケレト之ヲ除キテ假リニモ一種ノ事業トシテ社會ニ存在スル仕事ヲ完全ニ爲サンニハ何レモ皆難キモノト云フベシ總テノ事業ニ關シ假ハ重ナル條約定款等ヲ作りタル者モ其箇條ヲ印刷シ若クハ印刷器械ヲ取り扱フ人ト同ク自家十分ノ精力ヲ用ヒ從テ規則ヲ實行セシニハ一層種々ノ能力ヲ使用セサルベカラス全体或業ハ他ヨリ容易ナラント考フルハ大ナル誤リニシテ社會百般ノ事業ハ何レモ全ク其事業ヲ爲サントスル人ノ精神ニ屬ス豈別ニ勞セスシテ成ルコトアラシヤ故ニ某事業ニ付テ並勝レタル者トナリ完全ナル者トナランニハ必ス忍耐力ニ富ミテ能ク難キニ堪ヘ兼テ事業ヲ永續

格勤スルノ勞苦ヲ忍ハサルベカラサル者ト知ルベシ  
 第四節 精神的勞力ト四肢的勞力  
 今日社會一般ノ人々ハ斧ヲ持シヨリ筆ヲ取ラン方容易ニシテ且愉快ナリト考ヘ又工業若クハ四肢ヲ使用スル手藝職業ヲ爲スヨリ筆ヲ扱フ官吏書記ノ方寧高尙ニシテ雅味アリト思惟スルカ如シ故ニ如此考フル人々ハ皆子弟ヲシテ精神的勞力ニ從事セシメント欲シ中ニハ精神的勞力者ヲ以テ社會ノ位地上ナニカ特別ニ「エキ」者ノ如キ考ヘテナシ幼兒ヲシテ後日其地位ニ立タシメント望ムモノモアリ要スルニ世間一般ノ兩親タルモノハ兒輩ガ脊廣ノ表衣ヲ着ルヲ喜ヒテ塵染ミタル短衣若クハ汚レタル「前カケ」ヲ着ルヲ嫌フ者ノ如ク之ヲ口ニスルモ實ニ馬鹿ノシキ事ナレトハ筒袖ノ短衣ヲ着セヨリ立派ナル表衣ヲ着シテ仕事ヲ爲シタシトハ兒輩カ行末ヲ決定スルニ大關係アル勢力千鈞ノ重ミアル感情ナルガ如シ斯ク向フ見スニ謬信シテハ到定容易ニハ其考オハ絶ヘサルベケ



レ、斯ル風習ハ社會ノタメ少ク矯正スル所ナカルヘカラス  
 其第二章四肢的勞力者ト精神的勞力トノ比較ニ曰ク  
 已ニ前章ニ示シタル如ク吾人カ生計ヲ立テントシテ一生中ニ爲ス事  
 業ノ數量ハ如何ナル業務ヲ取ルトモ其間大ナル差違ナキ者ノ如シサ  
 レハ左ノ如キ問題從テ起ラサルヲ得ズ  
 「如何ナル事業コソ尤モ利益多キ仕事ナルヤ」  
 即之ヲ換言スレハ要スルニ精神的勞力或ハ四肢的勞力中自己ノ働ニ  
 ヨリテ生計ヲ立テントスル幼者ニ取リテ其身上ニ特別ノ事情ナキモ  
 ノトセハ何レカ尤モ都合ヨク從テ金儲ニモナルヤトノ問題之レナリ  
 吾人ハ決シテ精神的勞力假令或學者書記ノ如キ業務ヲ爲スニ緊要ナ  
 ル高尙ノ性質ヲ賤マザルベク商人ノ社會ニ大切ナル工業家ノ必要ナ  
 ル各其關係スル仕事ニハ相違アレトモ社會ニ効益アルヲニ至リテハ  
 毫モ甲乙ヲ見サルナリ左レハ商業的働作ニ尤モ必要ナル手代書記モ

工業的働作ニ欠クベカラサル技藝家手術者モ共ニ大切ナル者ト云フ  
 ベシ要スルニ兩者共ニ社會ニ取リテハ必要ニシテ且何レチ賤シトモ  
 何レチ貴シトモ稱スベカラス社會ノ位地上所謂弟タリ難ク兄タリ難  
 キモノナリ  
 第一節精神的勞力者之普通價格  
 市場ノ物價ハ其需給ニ由テ定マ  
 ル勞力者ノ價格亦此原則ニハ背キ能ハサルベシ若シ社會ニ於テ四肢  
 的勞力者ノ需要大ニ増シタルニモ拘ハラズ其供給ニシテ足ラサレハ  
 一方ニ於テハ却テ精神的勞力者ノ需要ヲ減シ供給有リ余ルニ至リ其  
 結果トシテ精神的勞力者ノ給料ヲ減シ而シテ技術者ノ給料ハ以前通  
 リカ若クハ騰貴スベシ時トシテハ實際精神的勞力者ノ供給ハ甚タ過  
 多ニシテ招聘ノ通知ヲ受クル者ハ甚タ少ク之ニ反シテ技術者工業家  
 ノ需要ハ甚タ増シテ遂ニ其需要ハ精神的勞力者ノ需要ニ二十倍スル  
 ヲアルニ至ルヲアルベシ



第二節四肢的勞力者ノ高給料  
 以上述ブル如ク精神的勞力者ハ今日ニ於テ自家ノ雇口ヲ見出スニ困難ナルノミナラス其給料ニ付テモ少ク考ヘサルベカラス例ヘハ普通ノ手代給料ハ一週間平均二十シリング(「シリング」二十五錢許ナリ)ヨリ三十シリングナレトモ工藝家ハ如何ニ少ナクハ一週間平均三十五シリングヲ得ルハ甚タ容易ニ若シ定期時間外ノ仕事若クハ約定外ノ仕事ヲ勘定中ニ入ルレバ世間大概ノ場所ニテハ一週平均四十シリング乃至六十シリングヲ得ベク世間並ノ人間ナレハ一通リノ修業後一週二磅許リヲ取り得ル技術ヲ學ハンコトハ決シテ六ヶ敷事ニアテサルナリ  
 第三節四肢的勞力者ハ尤經濟主義ニ叶フベシ  
 四肢的勞力者ガ給料二磅(即四十シリング)ハ精神的勞力者カ得タル同額ノ給料ヨリ其消費容易ナラズシテ俗ニ所謂使ヒザアル傾キナリ例ハ技術者ハ必要ナル費用ノ外精神的勞力者ノ如ク衣服ヲ立派ニシ或ハ家内ノ暮シニ万般ノ贅

澤ヲ爲サザルベカラサルノ必要ナシ畜ニ必用ナキノミナラズ却テ眞黒氣ニ垢染ミタル表衣ヲ着クルコソ名譽ニモアレ又眞ニ尊ムベキ事ニモアルナリ四肢的勞力者ハ又精神的勞力者ノ如ク英語ニ所謂シエレトリテイー(即紳士)ラシキトモ云フベキ風致禮儀深キ有様ヲ裝ハン爲メ瑣末ニシテ面倒多キ觀念ノ犠牲トナリテ全ク虚飾ノ泥海ニ吸込マル、トナシ全体此觀念タル甚シキ謬見ニシテ精神的勞力者ヲシテ自家實際ノ直打ヨリハ一層エラキ者ノ如ク裝ハシメントシ從テ外面ヨリ一見スレハ正當ニシテ且德義ニモ反セサルカ如クナレハ其實不都合ナル詭計偽行ヲ爲スノ必要アルヲ感セシムルニ至リ其人ノ此世ニ存ラヘン間ハ常ニ不幸勝ニテ憐レハカナキ境遇ニ呻吟スベシ  
 其他技術家ハ假令自身ニテハ一々其都合宜キヲ感セサルコモセヨ万般ノ事柄ニカケテ精神的勞力者即一寸例スレハ學校教師若クハ官吏或ハ書記ナド云フベキ四肢ヲ勞セザル人々ヨリハ甚タ都合宜キガ如



ク今日ニテハ精神的勞力者ニ於テモ時々自身が職業ノ方向ヲ誤リシ  
 事ニ付テ覺悟スルニ至リタリ然レモ其時ハ己ニ自ラ或技術ヲ知り得  
 ベキ機會ノ全ク過ギ去リタル頃ニシテ其覺悟後悔モ何ノ用ニモ立  
 タズ故ニ少年時代ニ於テ能ク一職業ヲ撰擇スルコソ實ニ肝要ナリ  
 ト云フベシ

第四節 四肢的勞力者ハ尤獨立ノ位地ヲ保テ得ベシ  
 精神的勞力者  
 ハ一週一磅許リノ極少ナル給料ヲ受クル位地ヲ求ムルニ付キテモ一  
 般ニ身元証書ヲ出シ又身元保証金オモ出ササルベカラサルカ如シ隨  
 分面倒ナル事ナリ

之ニ反シテ技術者ハ斯ル厄介ナル手續ヲ要セズ若シ事業ニアリ付ン  
 トスレハ先ツ給料ハ精神的勞力者普通價格ノ二倍ト自ラ定メ工作場  
 ニ行クトセンニ其場ニテ仕事ノアリタランニハ直ニ雇ヒ込マルベシ  
 只其際何處ニテ職業ヲ習ヒ今迄某所ニ働キ居リシヤノ二點ヲ雇主ニ

告ケ并テ主人ニ對スル義務自身専門ノ事業ニ暗キ事ナク能ク理解シ  
 居タランニハ事業ノ委託モ早速ニ爲サレ契約モ之ニテ完結シ其後ハ  
 只一隨ニ仕事サヘ爲セハ其レニテ事足り其他何等ノ手續ダニ要セズ  
 至極簡便ナルモノト云フベシ

世間一般ノ幼年輩ニシテ別段力強キ聲援モナク相當ナル資本モナキ  
 モノガ四肢的勞力者ト爲ラントスル理由蓋シ少カラズ然レトモ茲ニ  
 詳説センハ紙葉ノ許サバル所ナレハ今其一ヲ述ヘテ終ラントス

今日書記手代輩ニシテ若シ自己ノ務ムル商社組合等破産セハ他ノ地  
 位ヲ求ムルコト甚困難ニシテ全クブラツキ者トナラサルベカラサルコ  
 多シ如何ニモ手代書記輩ハ數年某所ニアリテ某事業ニ關係シタレハ  
 一種特別ノ性質ヲ得タルコトナラン然レモ斯ル性質ハ其他ノ事業ニ  
 ハ全ク必要ナキコトモアレハ一朝ノ不幸ハ從來從事シタル事業ヨリモ  
 全ク反對ナル業務ヲ取ラザルベカラザル場合ニ立チ至ランカ嘗テ一



擇 撰 ノ 業 事

事業ニ從事シ千百ノ經驗上積ミ固メタル性質ハ毫モ其利アルヲ見サルベシ故ニ一旦他業ニ轉スレハ今迄ハ何業オモ爲サザリシモノト同様全ク新ラシク手始メセザルベカラズ從テ事業見習ノ數年ハ余リ役ニモ立タサレハ其給料モ少カラシ

之ニ反シ技術家ハ大概ノ所ナレハ仕事ヲ探シテ仕事ヲ得ベク機械家工匠左官等ハ其業ヲ執ル長キニ割合シテ熟練モ積ミ給料モ高カルベク又技術家ハ自ラ取ル業務ト同一種類ノ事ニシアレハ自家ノ都合次第ニ任テ他ニ移轉シ得ルノ利アリ此レ即精神的勞力者ノ常ニ窮シテ四肢的勞力者ノ常ニ仕事ノ口ヌル所以ナリ(此所小商人手代等ハ破産ナリ日本ト西洋トハ國狀ノ差モアレハ或ハ都合セサルコトヲ述ヘタザル所モ)

各人未來ノ進歩ハ自身ノ判斷勝手ニアルモノナレハ何所迄モ以上ノ諸點ヲ四方ヨリ觀察シ少シモ落度ナキ様深ク注意スベシ世ニハ全ク

擇 撰 ノ 業 事

手術ノ事業ヲ嫌ヒ或ハ兎ニ角ニ此ノ業ニ適合セサル人モアラン身体ノ健否モ亦事業撰擇ニ尤モ干係アリ故ニ是モ亦勤考ノ中ニ入レザルベカラズ又祖先傳來ノ引續ヨリ勢ヒ官吏ト爲ラサルベカラサル者モアリ又時ノ都合ニヨリテハ自家ノ勢力若クハ親族杯ノ干係ヨリ會社等ノ上地位ヲ占メ得ル望ミアル少年モアリ旁々以テ各人其々特別ノ事情モアルコトナレハ予ハ決ノ精神的勞力仮令學者書記官吏等ニ爲ラントテ只管勉強シ居ル青年ニ對シテ一概ニ止メ立スルモノニアラズ只敢テ一言シ置クベキハ學者若クハ官吏ト爲ラント心ヲ決定セシニハ單ニ立派ナル衣服ヲ着テ樂ヲ爲シ世間一般ニ對シテハ紳士ラシクシテ体裁善シナド云フ淺ハカナル考ヨリセテ其外ニ特別ニシテ而モ有益ナル道理ナカルベカラズトノ一點ニアリ吾人ハ決シテ婚姻ニ干スルハウヅク氏ノ忠告ヲ茲ニ説明スル様モナク又ドント氏ノ精神的勞力ニ干スル注意ヲ述フルニモ及ハシ只吾人ハ事業ノ適否如何ハ幼



事 業 の 撰 擇

年者ガ後日ノ運命ニ大關係アルモノナレハ決シテ一夕ノ考ニ之ヲ決スルヲナク精神的勞力ト四肢的勞力ト相方ノ利益ヲ能ク注意シ靜ニ觀察シ正當ナル比較ヲ爲シテ後其方向ヲ定メテ主張シテ止マサルノミ

當時ニテハ一般ノ風習モ以前ノ如クニ技術者職人ト爲ルヲ厭ハス世間多數ノ父兄モ兒輩ヲシテ四肢的勞力者ヲシムルノ利アルヲ感シタルカ如シ元來万般ノ事業何レモ勞セスシテ成ルモノニハアラズ然レ其間又多少難易ノ度ナキニアラズ苦痛ニモ若干ノ差等アリ殊ニ職人社會ナドニハ劣等ナル風習馬鹿ラシキ慣習モ多ケレハ兩親タル者ガ兒輩ヲ職工社會ニ入レテ粗末ナル言語濫リガマシキ行爲ニ染マシムルヲ好マサルモ強チ答ムヘキ事ニアラスサレドモ斯ル風習ハ反掌ノ間一舉手一投足ノ勞ニ由テ改良シ得ル者ニアラズ普通教育ノ度ヲ高メテ一般ニ及スヨリ他法ナシ教育者タル者又須ク風俗改良ノ事

事 業 の 撰 擇

ニ注心セサルベカラズ又兩親ガ兒輩ノ弟子入口ヲ求ムルニ當リ思ハシキ口ナキ事モアラン社會ニヨリテハ大ニ束修月謝ヲ要スル所モアラン又職業結社ノ都合ニヨリ職人ノ此上ニ増シテ給料ノ減スルヲアリテハ不都合ナリトテ子弟ハ當分ノ内取ルベカラズナド申合スルヲモアラン四肢的勞力ヲ學ハントスル者其時代々々ニ由テ又多少ノ障害アルヲハ兼テ覺悟スベキ事ナルベシ

●人ハ必ス職業ニ從事スベキ者ナリ ● 事業者ノ品位決シテ賤シカラズ其昔猶太人ハ子弟ニ教ユルニ必ス一ノ四肢的職業ヲ以テシタリトイフ如何ニモ遠慮アル事ト云フベシ現時猶太人ノ子孫各國ニ散在スルモノ昔時ノ如ク此規則ヲ守ラザル様子ナレドモ今日歐洲人中事業ニ鋭敏ニシテ生計モ豊ニ世渡リモ上手ナリナド賞メ囃サル者ハ多クハ此規則ヲ採用シ從テ尤利益アル結果ヲ得タルモノ、如シ日耳曼ニテハ上帝皇室族ヨリ下庶民ニ至ル迄一ノ職業ヲ習フトノヲニテ現在ノ



曼國皇太子(過日ウイレルム皇帝死去シタレハ此皇太子カ印刷工夫トナリ活字ノ揃人ト爲リタル事ハ誰レモ知ル所曼國カ今日世界ヲ睥睨スルニ至リタル其因遠ク又無理ナラズ事ト云フベシ前代ト現世トナ問ハス國ノ東西ニ論ナク尤モ考ヘ深キ賢者ハ各人ガ一ノ職業ヲ手ニ心得居ルノ非常ニ必要ナルヲ主張シタリ

嘗テ印刷工夫タリシ米國有名ノ著述家ハ此事ニ關シ左ノ如キ利益アル勸告ヲ爲シタリ

予ハ予ノ体力續カシ限リハ何所迄モ屈スルヲナク決シテ他人ノ世話トナリ世間ノ厄介物トナラズトノ心掛チハ今茲ニ喋々セサルベシ

若シ予ノ筆(著述家ナレバ)ニシテ用ナク若クハ失敗セバ予ハ後戻リシテ文字ヲ取扱フモノトナラン兼テ印刷事業ヲ學ヒ置キタレバ新聞屋ノ活字拾ヒトナルモ本屋ノ職人ト爲ルモ別ニ不都合ナシ予ハ

實ニ予カ善キ職業ヲ心得居ルヲ喜フ斯ル職業ハ其需要ニ絶間ナク其儲ナル恰モ巖石ノ上ニ立テルカ如シ

正當ニ職業ヲ爲サンニハ必ス身体精神共ニ壯健ニシテ且勇氣ナカルベカラスコハ一人前トシテ世ニ立タン人ノ尤モ堅固ニシテ尤モ頼ミ多キ點ナリ故ニ中學若クハ一科ノ専門學校卒業者モ一時印刷所ニ行キ或ハ工人ノ腰掛ニ坐スル様ニナリテハ如何若シ自ラ好マハ商社組合ニ入ルモ妨ナシ實ニ真正ナル會社組合ノ事務員ハ堂々タル一ノ職人ニシテ尤モ學ムベキモノナリ斯クアリテコソ初テ社會ニ立テ完全ナル一人前トナル堅固ノ土臺ヲ得タリト云フベク以後ハ數年其業ニ從フモ若クハ一生從フトモ其人ノ隨意ニシテ其間ニハ財產モ出來世ニモ多少知レ渡ル次第トナレハ他ノ事ニ手ヲ出スモ亦容易ナラン又思フガマ、ニ他ノ事業オモ企テ見ラルベシ

讀者諸君ハ定メシ少年ヨリ壯年ニ至ル迄正直一方ニスラフエン、ギラ



「ド」氏ニ使ハレタル手代ノ話ヲ聞キシナラシメテ二十一歳ノ始メ該手代ハ「キラード」氏ヲ問ヒ普通ノ學門智識モ大概備ハリテ略一人前トナリシヲ告ゲ以テ氏カ家ニアリテ商業ニ于スル重要ノ地位ニ置カレシコトヲ豫期シタリ去レテ「キラード」氏ハ該少年ニ告テ云ヘル様

「君ハ行テ一種ノ事業ヲ學ビ來ルベシ」

「少年ハ之ニ答ヘテ何事ヲ學フベキヤ」

ト問ヒタルニ「キラード」氏ハ再ヒ告テ云フ様

「桶ハ生活ヲ送クルニ必要ナレハ銅器商ニ行キ桶ヲ作クルヲ習ヒ

十分ナル物ノ出來タランニハ予ノ所ニ持テ來ラルベシ

少年ハ命ノ如ク「バイレル」ヲ作ルヲ精々勉強シ其後遂ニ光輝燦然タル一ケノ「バイレル」ヲ「キラード」氏ノ許ニ持テ來リタリ

シクテ「キラード」氏ハ之ヲ吟味シケルガ其完全ニ出來居ルヲ認メケレ

ハ大ニ満足シタル面持ニテ二千弗ヲ與ヘナガラ少年ニ告テ曰ク

「君ヨ今ヨリ以後君ハ予ガ店ノ帳場ニ居賜フベシ去レテ予ガ心持ニ  
依頼スベカラズ君ハ己ニ手ニ一業ノ覺ヘ最後ノ用意アレハ只正直  
ニ勤メテ運命ノ來ルニ任せハ可ナラン」  
少年ハ之ヲ聞テ其忠告ノ大ニ無理ナラヌヲ知り其談話中ニ伏在スル  
諷意ヲ解シ大ニ悟ル所アリテ之ヨリ後チ夜チ日ニ繼テ勉強シタリト  
イフ  
四肢的勞力者ノ位地ヲ以テ精神的勞力者ノ位地ヨリモ下等ナリトナ  
スハ實ニ仙人メキタル馬鹿ラシキ觀念ナリ文學科學ニ於テ優等ナル  
位地ヲ得タル人々モ手藝者工人ト爲ルノ決シテ賤シカラヌ事ヲ認メ  
斯ク高地位ヲ得ル其始メ少年時代ニ於テ勞力社會ニ入ルル決シテ之  
ヲ賤モセス蔑リモセテ積雪螢光ノ結果トシテ初メテ尊敬ヲ受ルニ至  
リタルナリ予ハ今此性質ニ干スル好例トシテ現世紀ニ尤モ功益アリ  
タル古物學者及發明者ナル博士「スキイルマン」氏ノ談話ヲ摘要スベシ



博士スキイルマン氏一日倫敦ノ雜貨商社ニ招待セラレ社長ガ賞詞ヲ述ヘテ氏が健康ヲ祝シ該社総員ガ種々ノ贈物ヲ爲シタル厚意ニ答ヘテ

主人「ウアーデンス」君並ニ滿場列座ノ紳士諸君予ハ諸君カ一方ナラサル厚意ニ由テカ、ル鄭重ナル饗宴ニ臨ムヲ得タルノ榮ニ對シ茲ニ熱心ナル感謝ヲ表スルト、共ニ予ハ其初メ雜貨商ナリシト并ニ今此席ニケリテ雜貨營業ヲ賞賛シテ諸君ガ厚意ニ答フルハ之レ即取リモ直サス予ガ二十八年間瞬時モ撓マズ從事シタル商賣ヲ自ラ賞ムルモノナルヲ考フルニ及ンテ予ノ胸中ハ實ニ限りナキ愉快ヲ感ズルモノナリ予ハ十二歳トナルヤ否ヤ「メリレン」ハルク「州名」ニ於ケル田舎ノ小店ニ入り雜貨商ノ弟子トナリテ最初五ケ年間ハ咖啡ハツター、砂糖、鹽、大麥酒、鮮ナドヲ「半ペンニー」(一磅ノ四百八十分一)ニテ賣ルモノニシテ別ニ之レグト云フ團リタル取引トモ云フベキ

擇 撰 ノ 業 事

擇 撰 ノ 業 事

者ハ少シモ之レナク其商賣ノ甚々小ナリシハ當時予ガ一日ニ二磅ノ賣捌ヲ爲シタル也今日ハ大當リナリトテ主人ガ喜ヒ噪キシヲ見テモ知ルベク實ニ喘々焉トシテ絶ヘザルヲ糸ノ如シトモ云フベキ有様ナリシ(一磅ハ大略我五圓)暫クシテ予ハ如此名譽多キ地位ヨリ「アムステルダム」(和蘭國ノ有名ナル商業都會ナリ)ニアル或雜貨商會ノ門番ト轉スルコトトハナリタリ當時予ハ如何ニ不運ナル所ニ墮落シタルヤト歎キカコナシ「モア」リシガ今日ヨリ之ヲ見レハ斯ク門番トナリシハ我身ニ取リテ大ナル仕合ノ來ルベキ萌芽ナリシトコソ考ヘラル斯クテ予ハ其新ラシキ地位ニアリテ二年間幼時ニ學ヒ置カサリシ教育ヲ專務ト爲シ居ル中幸ニモ同シ都會ノ「ビー、エイチ、スクル」「商會」ノ通信者兼帳簿方計算掛ニ迄取り用ヒラレ二年間熱心其業ヲ執リテ交際ニモ行き届ク丈ノ注意ヲ拂ヒタルニ後該商會ハ遂ニ予ヲ以テ代人ト爲シ「セントペートル」スボルク(魯京)ニ送りテ雜貨



才賣ラシムルトナレリ其後一年ヲ經予ハ自身ニテ獨立ノ雜貨商  
 トナリ自ラ其商賣ヲ始メ十八ケ年半ノ間該所ニ於テ同業ヲ營ミ次  
 第々々ニ擴張シタリ  
 カク東西ニ轉々シテ商業ニノミ時間ヲ費シタルカ如ク見ユレ予  
 ハ其間傍ラ學問ニ從事スルノ閑ヲ偷ムヲ怠ラサリシ千八百六十四  
 年三月ニ至レハ予ハ己ニ予ガ十數年貯ヘタル財産ハ餘リ多カラサ  
 ルニモセヨ今該商業ヲ止ムルトモ無論生計ニハ差支ナシト考ヘ付  
 キ且予ハ今後「ホノリツク」派古物學ノ研究ニ從事シ得ル程ノ推理的  
 才智オハ備フルモノト自信シタレハ遂ニ全ク該商業ヲ止メテ專ラ  
 古物學研究ニ從事スルコトトハナリヌ  
 前後ヲ辨ヘスニテ妄リニ事ヲ企ツルコトナク一事ヲ爲サントスレハ  
 必其事物ヲ直接ニ觀察シ熱心ト忍耐トヲ以テ之ニ繼クハ實ニ必要  
 ナル事ナリ予ハ斯ル「眞習慣」ヲ幼時ヨリ千辛万苦レテ雜貨商ヲ務メ

ナガラニ拾集シ得タリシガ此習慣ハ古物學者ト爲リシ後モ其學研  
 究ノ爲ニ無量ノ利益アリタル者ノ如シ故ニ予ガ今日如此饗宴ニ招  
 待セラレ、如キ榮譽ヲ受クルヲ得ルモ全ク雜貨營業ノ結果ナレハ  
 賤業語ルニ忍ヒズト云フ如キ卑劣ナル感情ヨリ少年ノ有様ヲ諸君  
 ニ告ケザルハ予ノ潔白ナル心ノ敢テ爲シ得ル所ニアラズ予ガ「ト  
 イ」或ハ「ミシニ」ニ於ケル王家ノ墓所五ケヲ見出シタル大功モ雜貨  
 商ノ時ニ得タル此習慣ナカリセバ恐ラクハ立テ難カリシナラン  
 己ニ述ヘタル如キ譯柄ナレバ他ノ事業ヲ取リテ商業ト同様ニ稱セ  
 ンハ少ク賞メ過タルコトナルベク商業ナクパーノ面白キ希望大願モ  
 起ルマシク一ノ希望ダニ起ラザリセバ熱心モ忍耐モ生シ難クシテ  
 科學研究ナドノ大事ハナカナカニ覺束ナカルベシ斯ク論シ來レバ  
 予ハ茲ニ商業的思想ナキ人々ハ到底何事モ爲シ得サルマシト斷言  
 スルモ敢テ過言ニアラズト信シテ疑ハサルナリト



第二章 事業者之習慣

相應ノ教育ヲ受ケタル後其學ヒ得タル所ヲ以テ實地ノ事業ニ從事シ、  
成功セント欲セバ平生居家ノ際處世ニ必要ナル習慣即事業的習慣ヲ  
養ヒ置カサルヘカラス凡ソ習慣ナル者ハ久キニ及ンデ心身ニ固リ付  
ケハ勞セスシテ心身之ニ伴フ者ナレト其始ニハ少ク困難ヲ感スベシ  
今其重ナルモノヲ舉レバ

第一●勉強 人ノ成功如何ハ此習慣ノ有無ニ大關係アレバ此慣習コ  
ソ實ニ人間事業ノ資本ト云フベシ大資本モ好機會モコレナクンバ却  
テ妄リニ事業ニ干渉シテ失敗零落ノ媒介トナルベシ  
大陽ヲ射ントスル者固ヨリ正鵠ニ適中シ能ハスト雖モ數ヲ目的トス  
ル者ヨリ高ク射ルノ習慣ヲ得ベシ勉強ノ習慣ヲ得ントスル者ハ須ク

嚴確ナラサルヘカラズ人ヲシテ巖石カト疑ハシムル埃及ノ「ピラミド」

（三角堂）モ万里ノ長城モ皆勉強ニヨリテ成レリ

「クラレントン」氏曰ク

總テ事物ニ關係シタルトキ猶豫ナク之ヲ爲シ終ラント常ニ心掛ク  
レハ勉強ノ習慣ヲ得ベシ如何ナル學文技藝ニテモ勉強ニ由リテ爲  
サレサルコトナク勉強ニ由ラズシテ成ルコトモ無シ人ガ萬國ノ言語ニ  
通シ數年萬里ノ荒浪ヲ超ヘテ交易スルモ其他百般ノ強敵ニ打勝ツ  
モ皆是レ勉強ナル一語ノ結果ナリ

第二●整頓 コハ俗ニ云フ極リノヨキコトナリ之ヲ商店ニ例スレバ  
貨物ハ各其所ヲ得帳簿ハ帳場ニアリ算盤ハ机上ニアリ記載スベキ事  
ハ記載スヘキ帳簿ニ記載シ番頭ハ番頭丁稚ハ丁稚ノ坐ニ居リ事務ヲ  
取扱フ人ニ各其掛リヲ分チ少シモ遣リ放シニ爲サザルヲ云フ  
正當ニ整頓セラレタル方法ニヨリテ働カハ其事業ノ成功完全ニシテ







事業者之習慣

元來用心深キハ判斷ノ宜シキヨリ起ルモノナリ若シ判斷心ニシテ不完全ナレバ又據ン所ナシ若シ此點ニ欠グル所ナクンハ注意次第大ニ發達シテ非常ニ精密用心深キ人ト爲リ得ベシ

第五●守約 ● 約束ヲ違エサルナリ

約束ニ三種アリ

一 時間ニ干ス

二 金錢ニ干ス

三 仕事ニ干ス

此事タル誰レシモ非難セサル所ナレトモ之ヲ實行シ得ル人ハ甚タ少シ約束ヲ守ル者ハ即言語ヲ重シ他人ノ便利ヲ重ニスルモノナレバ他人ニモ愛セラルベク尊敬セラルベシ之ニ反シ此習慣ナキ者ハ他人ノ事業ヲ妨ケ時間ヲ費シ不快ノ感ヲ故ナク他人ニ起サシメ他人ヲ輕蔑スル者ナレバ大ニ不信用ト爲ルベシ

事業者之習慣

日本商人ニ違約者多ク時間ニ遲參スルナドハ何ントモ思ハス欠席ノ斷リオモ爲サ、ルハ實ニ未開ノ遺風ナルヘケレモ其事ノ大ナルニ從テ他人ノ迷惑ヲ醸スヲモ亦多ケレバ十分ニ注意スヘキ事ナリ

第六●固執 ● 一旦事業ヲ始メタル上固ク其業ヲ守リテ執念深クモ容易ニ其業ヲ轉セサルヲ云フ尤モ明ニ拙策ナリ失敗スベシト預知シタルモ猶ホ改メズシテ全敗ヲ招クハ感心スヘキニ非ス故ニ事業ヲ手

始メシ者ハ先ツ正當ニ判斷セサルベカラズ已ニ判斷シテ可ナリト認メタル上ハ容易ニ動クベカラズ人言ニ惑ハサルヘカラズ此ヨリ彼ニ東ヨリ西ニ朝夕轉業スル者ハ到底成功ノ望ナシ

「ウヰリヤム、ウアート」氏ハ曰ク

二ノ事業ヲ見テ何レヲ眞先ニ爲サンカト狐疑躊躇スル者ハ遂ニ何事オモ爲シ能ハサルヘシ

蓋シ知言ト云フ可シ



以上ノ六箇條ハ商業家ハ勿論工業家農業家ニモ大切ニ其人ノ貴賤貧富ヲ問ハズ緊要ナル者ナリ  
人間ノ能力ハ各其類ヲ以テ具リ非常ニ相違シタル習慣ハ之ヲ一身ニ集メ難ケレモ以上ノ六ヶ條ノ如キハ其性質的相近似シ最初ニハ少ク困難ナレモ數年ノ注意ニヨリテハ之ヲ兼備スルモ強チ望ムベカラザルコトニアラズ故ニ事業家タルモノ能ク能ク注意スヘキナリ

### 第二章 實業的智識ヲ得ル方法

各事業ハ研究ニヨリテ理解セラルベキ學理ト經驗ニヨリテ得ラルベキ技倆トヲ含ムモノニシテ商業ニ取リテハ此二者共ニ必要ナリ近時五十年間ニ起リシ破産ノ多數ハ實ニ此欠點ヨリ起リシト云フ其變遷ハ實ニ著シキ者ナレモ其原則ニ至テハ古今同一ニシテ今日社會格段

ノ進歩モ亦商工業ニ關スル學理技術ノ非常ナル發達ニ起因スルモノナリ如此智識ハ人ノ性質ニ堅固チ加ヘ一時ノ變事ニ此原則ヲ犧牲ニ供スルコト妨ケ日用ノ細務ニ至ル迄總テ体裁ヨキ有様ヲ與フルモノナリ  
●學理 去ラハ學理トハ如何ナル者ゾ曰ク或事物ノ起リタル由之レハ如何ナル所ヨリ來リシカ之ニ次テハ如何ナル事物ノ來ルヤヲ判スル尤モ高尚ノ理論ナリ百般ノ事實普通性質變化ノ狀態ヲ摘拔シタル正味ナリ人間百般經驗ノ論理的結果ナリ  
●學理ヲ知ル根源 觀察讀話讀書等何レモ緊要ナリ近時ハ見ルヘキノ書モ大ニ増加シタレド未ダ事業ニ干スル學理ノ書ニ完全ナル者少シ故ニ殊ニ商業ヲ學バントスル者ハ活潑ニ立廻ハリテ探知セサルベカラズ各事業ニ關スル書籍ハ實ニ吾人ヲ各事業ニ紹介スル媒介人ナリト云フベク各人經驗ノ一致シタル結果ヲ示スモノニシテ百種ノ注



意皆其中ニ存シ之ヨリ得ラルベキ教訓ハ千金ノ價アルベシ  
 歴史及事實原理ヲ示シタル書籍ハ實ニ價値多キモノニシテ實際家ヨ  
 リ見レバ愈價値多カルベク推理力ヲ増シ困難ナル境遇ニ際シ安全ナ  
 ル方法ヲ指示スベシ  
 各事業ニ通スル普通原理ノ存スルコトハ吾人ノ信スル所ナリ例ヘハ戰  
 争ト投機業、政治家ト會社ノ管理者、技藝家ト學者トハ其間自ラ一致ス  
 ル所アルガ如シ  
 實業ノ知識ヲ得ルニハ五感ノ發達ト精神ノ開發トニヨルヲ尤宜シト  
 ス  
 五●官●ノ●發●達● 五官ハ百事ヲ觀察シテ種々ノ經驗ヲ得自己ノ能力ハ  
 如何ナル事ニ適スルカヲ發見スル器械ニシテ人間ガ事業ニ於ケル長  
 所モ其過半ハ五官ノ精密ナル効力ニ歸セサルベカラス印度人が曠野  
 ニ自身ガ最初ノ足跡ヲ再ビ踏ミ返ヘシ盲人ガ婦人ノ音聲ヲ聞テ其ノ

醜美ヲ知ルナト皆習慣ニヨラサルハナシ  
 五●官●ノ●習●練●ハ●兒●童●ニ●ハ●自然愉快ナル節ナレバ幼年ヨリ心掛ケテ五官  
 能力ヲ使用スベシ其機會ハ日常少カラサレバ容易ニ發達シテ敏捷ト  
 ナルベシ此等ハ至テ両親ノ注意ヲ仰クヲ宜シトス  
 精●神●上●諸●能●力●ノ●開●發● 注意力概括力聰明習慣力判斷力等ノ諸性質  
 ハ相互ノ關係モ密ニ之ヲ發達センコトハ大ニ骨折ナラザルベカラス然  
 レモ人ノ才能ハ無限ニ發達シ得ル者ニシテ己ニ蓄積シタル智識ハ又  
 未來發明具進ノ土臺トナリ次第ニ積ミ上ゲ得ベキ者ナレハ能ク平生  
 注●意●シ●テ●諸●能●力●ノ●開●發●ヲ●務●ム●ベ●シ  
 書籍館ヲ作りテ實際的著書ヲ備フルコト 書籍ノ澤山ナルノミ固ヨ  
 リ貴ムベキ事ニアラズ一卷ノ書モ推考布延セバ大ニ悟ル所アラソ書  
 物ハナルベク事業立働ノ才智ヲ引起シ社會生活ノ明白ナル目的及事  
 業ノ目的ヲ與フル者ヲ讀ムベシ學生ハ先書物ヨリ事業ニ關スル最初







以上ハ各般ノ事業ニ通シテ實際ノ智識ヲ得ベキ方法ナリ

以下特ニ商業的實際ノ智識ヲ得ル方法ヲ述ベシ

其一●商館 教育ノ功ハ謹慎及勤勞ノ習慣ヲ得ルニアリ才能ヲ研  
キ學識ヲ貯フル唯一ノ定法ナキハ己ニ述ヘタル所從順ナル性質蓄  
積シタル智識其他百般ノ脩業皆其人自習ノ結果ニシテ書物教師學  
校教育等ハ只脩業ノ困難ヲ少ク減スル者ト知ルベシ殊ニ實業教育  
ニテハ有爲實用ノ人ヲ作ルニアリテ深遠ナル學識ヲ有スル先生ヲ  
求ムルニアラズ自身ニ直接ノ功能ナキ名譽ヲ得ントニ向テ身体ヲ  
害シ實業ニ縁モナキ智識ヲ得ントテ精神ヲ害スルハ馬鹿氣タル事  
ナリ斯ク論シ來レハ實業社會ニ立タン者ガ専門ノ學校ニ入ルハ甚  
ダ不適當ニシテ己ニ普通ノ智識ヲ得ル學校ヲ終リタラシニハ直ニ  
商館へ入ル方却テ可ナラン事業ヲ爲スノ秩序方法從順ナル性質生  
活ノ智識職業光陰ノ價值金錢ノ價值モ亦商館ニヨリテ能ク學ハレ

得ベシ

若シ茲ニ二少年アリテ同時ニ同一ノ普通教育學校ヲ出テ一ハ大學  
ニ入り一ハ商館ニ入ルト假定セヨ大學ノ授業ハ甚ダ高尚ニシテ且  
ツ澤山ノ文學ヲ學ベトモ同時ニ心身共ニ疲レ又學校生活ノミ事ト  
シタレハ風姿ハ不作法ニ談話ハ不熟練ナルベク常ニ傲慢ニシテ自  
己ノ反對說ニハ少シモ忍ビ得ズ獨立判斷ノ習慣ハ少シモ無ルベシ  
之ニ反シ商館ニ入りタル者ハ多人數ノ間ニ陶冶サレタルヲナレハ  
自ラ得タリ賢シト思フ事モナク傲慢ノ風習オハ總テ脱却シ從順ニ  
シテ忍耐ニ他人ノ非難オモ怒ルヲナク愛嬌ヲ以テ應接シ判斷モ活  
潑ニ耳目共ニ銳敏一時間ハ實ニ六十分一弗ハ實ニ百錢ナルヲ即時  
及金錢ノ大切ナル事オモ能ク知リ社會百般ノ誘惑ニモ抵抗シ非行  
ヲ勵ムスル惡心オモ打倒ス風習アリ斯クテ獨立心モ立テ世渡リ  
ニハ大ニ熟練スベシ



商人ハ教育、豈商人ニ可ナルハミナラシヤ、農業家、工芸家各種ノ業ヲ執ル人ニ事業ノ秩序整頓方法、管理方法、簿記實際ノ價值自家ノ諸缺點ヲ救正スル諸方法ヲ教フ其利少々ニアラザルナリ

其二、幼時ヨリノ弟子入 事業ニ關スル學理的ノ智識ハ技術ニ關スル「巧しや」ヲ教フルモノニアラス、事業ヲ爲サンモノハ如何ニシテ自家ノ事業ノ爲シ遂ラレザルカヲ知ルノミナラズ、又如何ニシテ爲シ遂ラヘキカヲ知り應用ノ實力原則適用ニ于スル技術ヲ備ヘサルヘカラスコハ次第々々ノ操練幾度トナク實行スルニ及ンテ初テ得ラル、モノナリ而シテ其方法ハ弟子入スルヲ以テ尤上等トス

弟子トナリテ知ルベキ尤モ大切ナル問題ハ物品ノ判斷ナリ

貨物ノ鑑定 花主ヲ欺キ若クハ賣方ニ欺カル、トテ避クニハ此性質ナカルベカラズ、若シ此ナクハ望ミ多キ貨物オモ見誤リテ價ナキ者ヲ買ヒ過キ、花主ノ好意ヲ害シ遂ニ心ナキ不評判ヲ受クルニ

至ルベシ此性質ハ務メテ幼年ニ於テ養成スベシ去スレバ既ニ得タル所モ忽チ失ガタキ、少カラシ老後ニテハ兎角困難ナルモノナリ

弟子入ノ目的 弟子入ノ目的ハ即特別ノ事業ヲ完全ニ學ブニアリ、貨物ノ鑑定ニ脱漏ナキノミニテハ完全ニ或事業ノ智識ヲ得タリトハ云ヒ難シ、物品ノ製造セラル、場所其原材料製造費該品賣買ノ好適地運送費、船賃、保險料、諸課税(例ヘバ入港税、海關税ノ如キモノ)手數料等モ亦知ラサルベカラズ、此等ハ決シテ容易ナル事ニアラザレ、志アレハ方法モ亦自ラ存スト云ヘル如ク知り得サル所ニアラザルベシ

小賣商ハ商業上ノ智識ヲ得ルニ甚便利ナリ 諸木綿毛織物、絹布等ノ物品ヲ賣買スル商業ノ智識經驗ヲ得ルニハ小賣商コソ尤モ都合ヨキ學校ナルベシ

元來卸賣商ハ製造家ヨリ若クハ外國貿易商ヨリ保証付又ハ商標等



ナ信用シテ一纏ニ物品ヲ買フモノナレバ争フ所ハ價格ニアリ品質ノ良否ニアラズ又小賣商ハ卸商ニ行クモ自己ノ勝手ニシテ氣ノ合フタル者ノミ持チ去リ卸商ハ別ニ關係セサレバ物品ノ良否ヲ知ルニ由ナシ去レバ小賣店ニアリテハ然ラズ買ニ來ル客人節儉風ノ妻君嚴格ナル主命ヲ奉スル下女ノ輩ナレハ小言ヲ述ヘスシテ買ヒ去ル等モナク此他朝夕出入スル花主モ數多ケレバ心掛ヨキ手代ハ大ニ物品吟味ニ慣ルベシ

最初ニ物品良否ヲ見次ニ其等差ヲ知り何故如此價ノ異ナルヤヲ探リ遂ニ貨物ノ價值ニ關シ善良ナル判斷ヲ得ルニ至ルベシ

二三種類實業ノ智識ヲ備フルノ必要

ベーコン氏ハ廿一歳ノ時書ヲ叔父「パーレー」侯ニ送リテ曰ク

「予ハ予ノ職分ナル百般ノ事業ニ當リタリ」

實ニ商人タル者ハ自家ノ商賣ニ尤モ親密ノ關係ヲ有スル事業ヨリ總

第四章 實業者ノ學フベキ普通學科

テノ商業事業ニ干スル一般ノ智識ヲカルベカラズ長々シキ世渡リニ於テハ自身事業外ノ人ニ接スルノモ多カラシク戰爭鎖港新發明激烈ナル競争ニヨリテ商賣替セザルベカラサル事モアラシク要スルニ事業各般ノ智識ヲ備フルノ甚ダ必要ナリ

那翁第一世カ大陸條例ヲ以テ英國ヲ苦シメタルノ當時英人ハ

「人ハ少クトモ二種ノ業務ヲバ知り居ラサルベカラズ」

ト唱ヘタリシガ如何ニモ尤ナル言ナリ

今日ハ閉天鎖地ノ封建時代トハ事變リ日進文明東西競争ノ世ノ中ナレハ事業ヲ爲サン者ハ當ニ其内國ニ於テ優者タル位ニ甘ンゼズ平生ヨリ心掛テ普通ノ智識ヲ蓄ヘ社會ノ大勢ニ通ジイザ事アラハ直ニ裝



東シテ打テ出ツルノ覺悟ナカルベカラス殊ニ外人ハ我ヨリ先ニ進歩シタル者ニシテ我ニ智識ヲ傳フル主位ニアル者ナレハ主從自然ノ勢智愚ノ懸隔ヨリ有形ニハ損失ヲ來シ無形ニハ戮辱セラル、ト多カルベシ此際一步モ退カス飽迄對等ノ位地ヲ保タンニハ先ツ其智識ノ根本ヲ固メ余勇ヲ養ヒ素力ヲ貯ヘサルベカラズ

今事業ヲ爲ス人々ノ必ス學ヒ置カサルベカラサル學科二三ヲ學ン

數學 理化學博物學數學等ハ注意秩序推理ノ習慣ニ力ヲ與ヘ同時自然力有形物体ハ如何ニシテ研究スベキカ其干係ハ如何造物主カ人間ノ爲ニ造リタル實物体性質等ヲ説明スル力ヲ與フルモノナリ

殊ニ數學ノ研究ハ人ニ愉快ヲ與ヘ板ヲ目ナキ注意ヲ事物ニ施スノ習慣ヲ與フルモノナリ人ハ固ヨリ其長所ニ由テ働カサルベカラズト雖モ總テ事業ヲ爲スニハ精密ナル注意ト胸算トヲ要スル事ナレハ先ツ學問研究ノ序トシテ數學ヲ學ハント尤モ便利ナルベシ

●理化學 從來百般利益ノ泉源ハ追々競争其他ノ原因ニヨリテ乾涸スベケレハ理化學ヲ研究シテ利源ヲ他方ニ求メサルベカラズ飯ヘハ豊饒ナル土地已ニ滅シ如何ナル耕作法如何ナル肥料ヲ用テ良品ヲ澤山ニ収獲スベキヤヲ知ントセハ理化學ヲ應用セサルベカラズ染物ニ關スル新法ヲ見出サンニモ理化學ニ依ラサルベカラス

●佛國ハ第一革命ノ初ニ於テ貿易場ヲ閉鎖シ硝石ノ供給全ク絶ヘ工業衰ヘ兵士彈藥欠乏シ大ニ困却セシカハ之レカ救正法ヲ化學家ニ問シニ忽ニ牛乳屋ノ渣滓ヨリモ鳥籠ノ「のす」ヨリモ硝石ノ得ラルルヲ見出シテ遂ニ彈藥モ出來工業モ大ニ發達シタリ

●博物學 之レ亦普通學ノ一科ニシテ動植物ノ性質効用大略金石礦物類ノ性質功用一斑ヲ知ランコトハ尤モ必要ナリ

●法律學 商業學者ハ法律大体ノ原則ト自國ノ法律就中自身ノ事業ニ關係アル法律ヲ知ルベシ別シテ契約法代理法組合會社法賣買法保



科學通普キベフ學ノ者業實

險法等ハ必ズ之ヲ知ラサルベカラズ商人ニシテ自店ノ物品ニ關スル  
 習慣律各物品ノ租稅荷物手形等ノ法律其他自家商賣ニ關係アル百般  
 事件ノ法律ヲ知ラサル程危險ナルヲナシ之レト同ク間接ニハ取引ス  
 ル所ノ各物品及ヒ各國ノ法律オモ知サレハ思ヒ掛ナキ大不便ヲ蒙リ  
 失敗ヲ招クコトアルベシ  
 又法律學ニ通スレハ平生上等社會ノ人々ト交際シ兼テ將來ニ援助ト  
 モ爲ルベキ友人ヲ求メ得ベシ  
 經濟學 富資ノ性質其生産分配ヲ規定スル理論貿易ノ原理市價及  
 價格ノ原理需用供給ノ有様ヲ教ル學問ニシテ事業ヲ爲ス者殊ニ商人  
 ニハ一日モ無ルベカラサルモノナリ實ニ經濟學ハ物價ノ變動物品需  
 給ノ投合「あんばい」ヲ教ユル晴雨計ニシテ其必要ハ又予ノ言ヲ待タサ  
 ルベシ  
 日本人ガ普通學術ニ對スル觀念 日本人ハ未ダニ封建ノ遺風ヲ脱

科學通普キベフ學ノ者業實

セサルモノニヤ學術ハ商人ト爲ルニ不用ノモノナリトテ大ニ之ヲ擯  
 斥スレトモコハ甚シキ心得違ナリナルホド直接ニ商法經濟學ヲ知ラ  
 サルヨリ如此損害ヲ受タリト云フコトハ少カラシナレト斯ル商業大体  
 ノ原則ヲ知ラデハ間接ニハ大ナル損害ヲ招クカ或ハ一層利益ヲ受ク  
 ベキ時ニモ左様ニ大利ヲ得サルハ勿論直接間接ノ不利澤山ナルベシ  
 只日本ノ商人輩ハ無學文盲利アレハ運強カリシト稱シ損スレハ實ニ  
 天命據ン所ナシト唱ヘ其失敗ハ果シテ救正スベカラサル者ナリシカ  
 將タ自身ノ不注意即チ智識學術ノ不足ヨリ來リシカ此邊ニハ少シモ  
 思ハ及バズ少シモ自覺セサルナリ嗚呼内地雜居ノ後「あつばれ」外人ト  
 馳驅競走スルノ曉ニ至リテ猶如此ンハ其レ日本國チ如何セシ予輩ハ  
 今日ヨリ商人諸君ガ向フ見ズニ天然ノ腕一本ノミチ堅城鐵壁ト依頼  
 スルチ止メテ少ク學識アル商業家ト爲ラレンコトヲ希望セサルチ得ズ  
 商業地理 商業的地理ニ於テ學ブノ要點



- 其一 或商業ノ根本ナル場所並ニ固有ノ產物ヲ出ス各地
- 其二 緊要ナル市場ニ持テ出ス巨離道筋及運送ノ諸方法
- 其三 本國商業ノ諸制度例ハ種々貨幣重量尺度等ト他國諸制度トノ比較

商業地理ハ之ヲ廣キ意味ニスレハ其地商業自然ノ歴史並ヒニ天然粗生品(五穀材木等)ヲ正當ニ分類シ商業ノ實用ニ適用シ得ル所ノ智識ヲ備フルニ必要ナル科學ヲ包含スルモノナリ少年ハ先ツ自國ト干係アル國々ノ地理ヲ學フベク就中外國人ノ性質、風議、好尚、各大都會ノ名人民ノ種族生産物製造物并ニ輸出入品等ヲ知ラサルベカラズ今日地理書ハ多ク初ニ世界大體ノ地理次ニ各大州次ニ自國ト一般ヨリ順次特別ニ及ス教方ナレトモコハ甚ダ不都合ナレバ宜ク自家ノ鄉里町村名近隣山河都邑ヨリ始メ次ニ自國ノ大商業都會一國全體ノ地理ニ及シ最後ニ世界ノ地理ニ及ス如キ所謂格段ヨリ一段ニ及ス方法ヲ取ルベシ

自身ノ居間ニハ常ニ自國ノ地圖ヲ始メトシ諸外國ノ地圖ヲ掲ケ置カシテ又地理ヲ學ブノ一法ナルベシ

●商業歴史 ●コレハ人民カ勉強及正業ノ結果及一國商業上ノ有様其波及ノ様子ヲ記シタルモノナリ中ニ商工業及百般事業ノ進歩シタル有様各國一人ニ對スル租稅負擔額各國資本全額并ニ各業投入ノ資本高キ記載シ又技術及文學ニ干スル人員一國政府ノ歲入及國債輸出入品ノ総額ヲ挿入ス

又特ニ英國ニアリテハ海外ノ所有地屬國ノ商工業ノ狀態ヲ知ルノ必要ナリ

歴史ヲ學フ者ハ務メテ先ツ大事件ヲ記憶シ且ツ事件ノ最初ニ起リタル同日次ニ起リタル時并ニ各事件ニ干係アル他事件ノ時日オモ能ク順序正ク記憶シ百般ノ事實ヲ混同シ去ラサル様務ムベシコレ一國ノ歴史ヲ切々ニ離レサル様記憶スルノ要訣ナリ



左ノ一章ハ少ク些細ニ過クル事實ノ如クナレドモ余リ堂々ト手代  
番頭ナドヲ使役セズ自身ニテ獨立ニ商賣ヲ營ムモノ及ビ手代番頭  
ニハ甚有益ナル注意ナレバ特ニ茲ニ掲ゲテ數業ヲ填ム

第五章 普通商人若クハ特ニ商店ニ入ル節ノ

知ルベキ學科

故バルマルストーン侯(英國大宰相)ハ嘗テ  
「政府ノ書記中充分ニ英語ヲ話シ讀ミ或ハ書シ得ル者甚タ稀ナリ」  
ト云ハレタリ今此言ヲ借リテ商業的書記及手代等ニ適用セシモノ不都  
合ナカルベシ今日英國ニテハ性質モ善良ニ經驗モ多キ少年ニテモ事  
業ヲ爲ス土臺タル談話ニハ長ケサル者アリ若シ果シテ談話ノ致シ方  
ニシテ不完全ナレハ社會ニ地位ヲ得ルハ甚タ困難ナルベシ故ニ書記

ノ位地ヲ得若クハ維持セントスル人ハ必ズ事業ニ尤モ必要ニシテ且  
ツ格段ナル此等諸資格專業智識ヲ持タサルベカラサルコト明ナリ  
出過キタル考ヲ避クベシ 商家ノ書記手代ト爲ラントスル者ハ極  
メテ明瞭ニ自身ノ有様ヲ示サザルベカラズ文字ヲ上手ニ書スル算術  
ノ智識ヲ備フル何レモ緊要ノ事ナルニ新ニ學校出ノ書生ハ之等ヲ以  
テ却テ馬鹿ラシク思フベク大切ナル筆記讀方數學オモ輕蔑シ己レハ  
却テ既ニ十分教育セラレタリト思惟スルガ如シ然レトモ此等ハ全ク  
「自惚」ニシテ愈ヨ其境遇ニ入リテ事業ヲ執レハ前述ノ必要ナル經驗智  
識ハ少シモ之レナシ羅旬語ノ生知リ佛語ノ小兒肌ナル智識ヲ有スル  
一群ハ多ケレトモ完全精密ニ英語ヲ讀ミ盡シ并ニ話シ得ル少年ヲ見  
出サシハ實ニ難キ有様ナリ  
又世間多數ノ人が陥リタル一種ノ誤想アリ即チ少年輩ガ營業的社會  
組合ハ事務員手代ト爲ルニハ其以前ニ秘密奧妙ナル特別ノ才藝ナカ



ルハ、カ、ラ、ズ、ト、ハ、觀、念、之、レ、ナ、リ、然、レ、凡、其、實、決、シ、テ、然、ラ、ズ、少、年、輩、カ、商、業、  
 會、社、ナ、ド、ニ、入、リ、シ、其、初、二、年、間、許、リ、ハ、其、本、國、ノ、言、語、ヲ、精、密、ニ、書、ス、ル、ト、  
 加、減、乘、除、ヲ、間、違、ハ、サ、ル、様、活、潑、ニ、計、算、シ、得、レ、ハ、他、ニ、望、ム、ベ、キ、事、ナ、シ、若、  
 シ、如、此、事、務、ヲ、命、セ、ラ、レ、ス、レ、テ、却、テ、少、年、者、ニ、ハ、爲、シ、ガ、タ、キ、他、ノ、仕、事、ヲ、  
 命、セ、ラ、レ、タ、ラ、ン、ニ、ハ、其、人、ハ、外、面、大、ニ、信、用、ヲ、受、ケ、シ、カ、如、ク、見、ユ、レ、ト、モ、  
 實、ハ、然、ラ、ス、シ、テ、大、概、ハ、尤、モ、必、要、ナ、ル、前、述、ノ、諸、條、件、ヲ、能、ク、心、得、サ、ル、ニ、  
 起、因、ス、ル、モ、ト、知、ル、ベ、シ、  
 事、業、社、會、ニ、入、リ、シ、當、時、ノ、心、得、  
 事、業、手、始、ノ、際、學、校、ニ、テ、得、タル、智、識、  
 ナ、幾、何、ク、其、業、ニ、適、用、シ、得、ル、ニ、至、ラ、サ、ル、間、ハ、安、リ、ニ、他、ノ、事、ニ、干、渉、セ、サ、  
 ル、コ、ソ、望、マ、シ、ケ、レ、運、筆、モ、自、由、ナ、ラ、ズ、文、章、モ、早、速、作、リ、得、ス、勘、定、モ、活、潑、  
 ト、ナ、ラ、サ、ル、間、ハ、專、一、ニ、自、身、業、務、ニ、勉、強、シ、兼、テ、此、等、諸、事、ニ、熟、達、ス、ル、様、  
 熱、心、ニ、務、ム、ル、コ、ソ、可、ナ、ラ、ン、斯、ク、テ、其、中、ニ、ハ、學、校、ニ、テ、勉、強、シ、タル、事、柄、  
 ト、事、業、ト、ノ、間、ニ、密、接、ノ、關、係、モ、起、ル、ベ、ク、之、レ、ヨ、リ、シ、テ、ハ、大、ニ、役、ニ、モ、立、

テ、進、步、モ、見、ラ、レ、得、ヘ、キ、ナ、リ、  
 筆、記、之、方、法、  
 綴、字、文、法、ニ、正、シ、キ、ト、共、ニ、規、則、正、ク、筆、ヲ、取、ル、コ、ト、ハ、最、  
 上、要、務、ニ、シ、テ、少、年、ガ、未、來、ノ、進、步、ニ、干、シ、尤、モ、儲、ナ、ル、助、力、ヲ、與、フ、ル、ト、疑、  
 ナ、シ、初、メ、テ、商、家、ノ、手、代、ナ、ド、ト、爲、ル、者、ガ、此、點、ニ、干、シ、不、出、來、勝、ナル、ハ、全、  
 ク、學、校、ニ、ア、ル、片、手、習、草、紙、ニ、書、取、リ、セ、シ、外、他、ニ、注、意、深、キ、書、方、ヲ、習、ハ、サ、  
 リ、シ、ヨ、リ、起、リ、シ、モ、ト、知、ラ、ル、之、ヲ、改、良、セ、ン、コ、ハ、宜、ク、商、業、新、聞、ノ、章、句、  
 ナ、筆、記、練、習、ス、ベ、シ、此、事、タル、又、商、業、上、ノ、文、章、及、熟、語、ヲ、知、リ、得、ル、ノ、便、商、  
 業、上、ノ、學、語、若、ク、ハ、略、語、ノ、意、味、ヲ、覺、リ、得、ル、ノ、利、アリ、而、シ、テ、筆、記、稽、古、ヲ、  
 爲、ス、始、ニ、尤、モ、心、掛、ク、ベ、キ、事、ハ、假、令、十、分、ニ、明、瞭、十、分、ニ、迅、速、ナ、ラ、ス、ト、モ、  
 極、メ、テ、注、意、深、キ、書、方、ヲ、爲、ス、ト、之、レ、ナ、リ、系、線、ナ、キ、紙、ニ、規、則、正、ク、明、ニ、字、  
 形、ヲ、寫、ス、ト、テ、務、ム、レ、ハ、數、月、ニ、シ、テ、体、裁、ヨ、ク、書、キ、得、ル、ニ、至、ラ、ン、斯、ク、爲、  
 リ、タル、上、ハ、自、然、ノ、結、果、ト、シ、テ、書、方、モ、活、潑、ト、ナル、ベ、シ、文、字、ヲ、妄、ニ、長、ク、  
 引、キ、延、ハ、シ、無、益、ナル、虛、飾、的、ノ、書、方、ヲ、爲、セ、ハ、遂、ニ、規、律、正、ク、寫、ス、能、ハ、サ、



ル惡弊ニ陷ルモノナレハ務メテ各文字ノ正當ナル摸形ヲ保ツベシ若  
 シ一旦此惡習慣ニ取付カレタラシニハ矯正モ覺束ナク百般ノ取引日  
 用ノ事務上文字ノ間違ヨリ大ナル不都合ヲ醸スニ至ルベシ  
 圖寫物ヲ讀ム熟練 粗雜ナル圖寫物ヲ一見難ナク讀ミ下スハ甚タ  
 要用ナル事ニテ熟練ナラデハ出來難シ今日學校ニテハ此教育ヲ忽ニ  
 スレ庄之レ又宜ク後進者ガ心掛クベキ事ナリ  
 數學 算術ハ筆記ニ次デ大切ナル事ニシテ其重ナル目的ハ數學ハ  
 四大原則加減乘除ヲ活潑ニ爲シ得ルノ熟練ヲ得セシムルニアリ尤モ  
 分數比例百分算方程式等モ必要ニシテ事業ニヨリテハ加減乘除ニ熟  
 練シタルノミニテハ足ラサルイモアレハ四則應用ニ熟達シタル上ハ  
 自身ノ事業ニ必要ナル計算方法ヲモ學ブモシ  
 暗算 此法ハ時ニヨリテモ若クハ紙ナキ時直ニ計算ヲ爲シ時間  
 ノ節減方モ計リ得ベキ者ニシテ曰ク之ニ上達シタラシニハ學文上ノ

一資格タルベシ此法ハ街道ニ於テモ家中ニテモ爲シ得ベク之ヲ爲ス  
 ベキ折ハ日々散見スル所ナリ皆宜ク取テ以テ利用スベク左スレハ熟  
 練ノ望ミモアラン  
 簿記 手代書記等ニハ簿記法程必要ノ者ナシ今日一般ニ行ハル、  
 ハ所謂復式簿記ニシテ簿記ニ干シ勉強スベキ問題ハ左ノ如シ  
 其一 商家ニ用ユル簿記ノ性質及利益  
 其二 諸帳簿記入ノ方法  
 其三 出納表ノ編輯即出納一覽表ナリ  
 速記法 大抵ノ場合ニテハ外國語ヲ知り居ルヨリ寧ク速記法ニ通  
 スル方却テ用立ツト多シ今日速記法ニ長シタル書記手代ハ其需要普  
 日ヨリモ盛ンニ社會ニ地位ヲ得ルト甚タ易シ然レ庄如何ニ速記法ニ  
 上達シタリトテ文章學ニ關スル十分ノ智識ヲキモノハ此限リニアラ  
 ズ



今日速記法ノ世ニ行ハル、者一ニシテ足ラズ其一般ニ用ヒラル、ハ「ピットマン」氏ノ方法ニシテ其法ハ文字ヲ略書スルニアラテ文字ノ發音ヲ他ノ簡單ナル符號ヲ以テ速記スルナリ従前ノ方法ハ之ニ反シ多ク「タイロル」氏「グーチー」氏及「オテル」氏ノ方法ニシテ全ク隨意ナル符號ヲ書シ文字學ノ原則ニ叶ハズ點ノ打テ誤リ線ノ引違ヒナドニテモ遂ニハ大ニ筆記者ヲシテ惡習慣ヲ生セシムルノ恐レアリテ非常ナル精密ヲ要スル容易ナラサルヲナレハ通例根本ノ原則ヲ知り得ル迄十分ニ忍耐シ注意深ク學フ者ハ甚タ少ケレトモ此順序オハ決シテ改ムベカラズ「ピットマン」氏ノ方法ハ完全ナラサルニモセヨ今日ニテハ多用ラル若シ能ク此法ニ上達セバ諸速記法中尤早速ニ且規則正ク書シ得ヘキモノナルベシ活潑ニ述ベ立ツル演說モ一點ノ間違ナク筆記シ得ベシ

要論ノ「ト」ニシテ「コ」ハ實際ノ音聲畧筆法ヲ論シタルモノナリ著者ハ簡單ニ其功用ヲ述ヘテ曰ク「此書ハ規則正ク簡單ニシテ學校兒童ノ「ウ」ハ「オ」ハ「ビ」ニモ適スベク商業通信ニモ利用スベク簡速ナル演說ヲ筆寫スルニモ十分ニ畢竟ベシ「一」打ハ文字ノ綴ヲ表示スルニ足ル」

蓋シ溢美ノ言ニモアラサルベシ予ハ實ニ少年ニ對シテ之ヲ學ブ様勸告スル者ナリ毎日仕事ヲ爲ス其間二時間乃至三時間ヲ此術ニ用ヒ十ニヶ月勉強シタランニハ一通リノ演說ヲ筆記スルニ至ランハイト易キヲナラン

譯者曰ク速記法ハ實ニ必要ナル一種ノ技術ニシテ今日漸ク日本ニモ採用セララルトナリタレ別ニ之レソト云フベキ譯書モナケレバ茲ニ西洋有名ナル速記者ノ名ヲ掲ケテ諸君カ原書ヲ求メラルハ節ノ參考トモ爲サント欲シ斯クハ詳記スルコトトナリス



外國語 二三ノ外國語ヲ知ルコトハ甚タ價值アルコトニシテ幼時學校ニテ少々學タル佛語若クハ日耳曼語ヲ忘レサル様心掛ケ一層上達セシコトヲ望ムベシ

歐大陸ノ諸國語中尤モ大切ナルハ佛語日耳曼語ニシテ次ニ西班牙語以太利語モ今日大ニ外國貿易上ニ用ラル、ニ至レリ魯國語モ亦國大ニ人多ク關係多ケレバ學ビ置ク方大ニ都合宜シカルベシ

禮式等ニ關シテハ佛語ハ尤モ廣ク用ラレ日耳曼語之ニ次ク外國貿易取引ノ範圍ニ由リテ益々諸國語ヲ知ルノ必要アリ又知ルニ從テ大ニ都合善カルベシ故ニ初進者ハ外國語ヲ修メ得ル機會ヲ利用スルハ勿論之ヲ讀ミ得ル機會オモ利用スベシ

●國語 此問題ニ干シ研究スベキハ作文及解剖等總テ文法學ニ干スルコトナリ如何ナル問題事件ニ際スルモ直ニ文章ヲ作シ得ベキ能力ヲ有スルコトハ實ニ大切ナルコトナリ國語研究ノ際注意スベキ諸點ハ

一 明瞭ナルコト

二 禮儀ノ体裁ヲ備フルコト

三 冗長ナル語句ヲ用ヒサルコト

四 贅語ヲ省クコト

五 文法ノ欠點ナキコト

又國語ノ歴史即チ成立發達ニ干スルコトモナルベク研究スベシ間接ニハ其功少カラサベシ長ク且ツ混雜シタル文章ヲ意味ヲ欠カサル様簡單ニ書ク改メンコトハ非常ノ手際ニシテ又務ムベキコトナリ

英國語ヲ勉強シ筆記讀方ニ於テ精密誤リナカラシムコトヲ欲セハ左ノ諸點即チ

一 言辭ノ發言法

二 言語ノ綴方

三 言辭ノ意味







運轉ヲ止メ其不便不利實ニ枚擧スヘカラスシテ普通正直ナル人ノ考  
 ニハ思ヒ付カサル程特別僥倖ノ好機天運到來スルニ非ザレハ借用資  
 本ヲ以テ成功セシムハ實ニ覺束ナカルベシ  
 資本ト事業トノ割合 資本ト事業ノ範圍トノ割合ハ實ニ大切ナル  
 問題ニシテ吾人ハ之ニ付テ非常ニ勤考セサルヘカラズ  
 義ルハルト「氏ハ其著トリイティース、オン、パンキンク」(銀行原論)ニ於テ  
 「銀行ノ義務責任ハ各店ニ於テ多少ノ差コソアレ大概現有資本ノ三  
 倍迄ハ事業ヲ擴張スルモ可ナラシト  
 述ベタリ  
 新英蘭ニテハ大概二倍ヲ以テ限リトス  
 之ヲ要スルニ其商賣非常ニ大ナレハ先ツ二倍位ニ止マルヲ可トスル  
 ハ(即資本ノ二倍迄事業ヲ擴張スル也)歐州著明ナル銀行家ガ一致シタ  
 ル所説ナリ

其安全ナル程度 物價ノ急變若クハ不意ノ出來事ニ由テ利益一事  
 ニ減少シ或ハ損失スルモ非常ナル事ニ非レハ大概ハ負債ヲ返却シ得  
 ル程度ヲ以テ商賣擴張ノ最極度ト定メ置クベシ  
 商賣ニ由テ資本ニ差異アリ 自家賣買ノ物品ニシテ其賣レ能ク一  
 且仕入レタル貨物モ大概一ヶ月内外賣捌ケ終ル時若クハ其物品ノ賣  
 買ニ長月日ヲ要セサル性質ノ商賣ナレハ資本ノ循環運轉活潑ニ且ツ  
 自由ナレハ資本ニ應シテ事業擴張ノ程度ヲ高メ得ベシ  
 若之ニ反シテ一旦仕入レタル物品ガ三月四月半年乃至一年ヲ經サレ  
 ハ賣リ終リ難キ商賣(假令書肆ノ如キ)ヲ營ム者ニシテ大ニ物品ノ買入  
 ニ資本ヲ投スレハ其後至急資本ヲ用スル節到來スルモ物品ハ思フ程  
 ニ賣レズ急ニ賣リテ資本ニ引替ントズレハ捨賣損失セサルヘカラス  
 殊ニ書肆ノ如キハ書物ノ需用ハ急ニ起ルモノニ非レハ一度ニ澤山ノ  
 書物ヲ仕入レタランニハ大ニ困却スルヲモナルベシ







英國ニテ或ル少年帽子商ヲ營マントシ近所ニ帽子屋ナキ所ヲトシテ  
 開店セシニ來客甚タ少ク當初ノ預算ハ全ク喰違ヒタリ由テ其原因ヲ  
 探リ見ントテ一日中央ノ市街ニ至リ見ルニ數軒ノ帽子屋軒ヲ並ヘテ  
 商賣頗ル盛ナル様子ナレハ始テ悟ル所カアリケン直ニ其片側ニ移轉  
 シテ數多ノ帽子商ト競争ヲ始タリ斯クテ此方ニテハ先方ノ品ヲ高シ  
 ト云ヒ先方ニテハ此方ノ物品ヲ劣等ナリト云ヒ互ニ吹聴シテ以テ客  
 ナ引カンヲ勉メシカ客ハ隨意ニ物品ヲ評價シテ双方ノ店ニ出入シ  
 遂ニ双方共ニ繁昌ノ幸運ニ到達シタリト  
 コハ如何ニモ由縁アル事ナリ  
 建物物品ヲ餘リおま々々しく併列スレハ客ノ目ニうるさく優等ノ物  
 品モ左程ニ見ヘサレハ店ハ餘リ狹隘ナルベカラズ  
 家屋ヲ余リ美ニスレハ甚タ馬鹿氣タル事ノ如ク見ユレハ決シテ然ラ  
 ズ商店ハ多人數ヲ引寄せサルベカラサルモノナレハ之ヲ立派ニスベ

商

店

ク其費用ノ如キハ客數多クレハ直ニ取り返シ得ベシ  
 尤モ此事タル自家カ資本ニ相應セサルベカラズ家屋費トシテ全資本  
 ノ二分ノ一或ハ三分ノ一等ヲ投スルハ全ク極端ナリ  
 商店ハ清潔ニシテ且ツ空氣ノ流通宜シカルベシ  
 物品ヲ視察シ居ル際空氣ノ流通惡クシテ蒸シ暑ク不潔ニシテ臭氣ア  
 ルハ客ニ不快ヲ感セシムベク殊ニ夜間ノ如キハ燭光ノ燃燒ヨリ空  
 氣ノ腐敗甚シケレハ客ハ買ハントスル者ハ買ハスシテ立チ去ルニ至  
 ルベシ  
 光線 夏季ニ於テハ冬季ヨリモ事務ノ誤謬少シトハ倫敦各銀行家  
 ノ能ク知ル所ナリ蓋シ光線透入ノ都合惡ケレハ室内明ナラスシテ物  
 品ノ性質ヲ見分ケ難ク且ツ過失ヲ脱セント常ニ心掛ケサルベケレハ  
 手代ノ舉動自ラ不活潑ニシテ空ク客ヲ待タシメ或ハ勘定ヲ違ヘ或ハ  
 贖造紙幣不良ノ偽物ヲ受取ルヲアラン又余リ暗ケレハ人ノ竊盜心ヲ

商

店



誘起スルコトモアラン

「室内ノ光明ハ心ノ上ニ迄光明ヲ與フ」

トハ實ニ吾人ヲ欺カサル言ナリ

物品ノ排列方法 總テ同種ノ物品ハ其產地ノ何所タルヲ論セス價

ノ高低ニ由リテ一齊ニ並列スベシ

例ヘハ絹ナル同種類ノ物品ハ甲地ノ産ト乙地ノ産トヲ問ハス一部内

ニ置クベシ第一段ノ一方ニ甲地産ノ尤モ上等ナルモノヲ置キ第二段

ノ同地位ニ乙地ノ尤モ高價ナルモノヲ置キ第三段ハ丙地四段ニ丁地ト次第ニ

段ヲ異ニシテ同等品ヲハ縦線ニ一見シ得ル様并列シ次ニ其次位ノ價

アル物品ヲ置キ序ヲ逐フテ等ヲ下シ異等品オハ横目一見シ得ル様同

地産ノ絹ヲ并列スベシ

又第一段ニハ產地ノ如何ヲ問ハス只第一等ノ物品ノミヲ并ヘ二段目

ハ二等品ノミニ三段ハ三等品ノミト横目一見シテ同一品位ノ物品ヲ眺

商

店

メ得ル様ニ爲スモ亦一法ナリ

物品ノ精粗決否對照用ノ場所及器械等ヲ別室ニ備ヘ置クベシ 貨

物ニ由リテハ器械ノ力ヲ假リテ良否ヲ鑑メント望ム客モアレハ斯ル

事ヲ爲シ得ル別室ヲ備ヘ諸般ノ觀察道具ヲ揃ヘ置クベシ

客ガ此品ハ其内ニ來テ買フベシナド云フ事アルハ多ク其品物ハ概テ

可ナリト認メタレモ其眞偽良否ノ儘メ完全ナラサレハ能ク勘考シ他

人ニモ問ヒ合セント欲スル者ナルベシ若シ此際觀察ノ道具アリタラ

シハ直ニ其良否ヲ點檢シテ買ヒ去ルベシ若シ然ラスシテ去レハ或

ハ再ヒ來テサルコトモアラン是レ予ガ特ニ此目ヲ設テ其必要ヲ設ク所

以ナリ

商

店

第八章 信用



信

社會一般ノ形勢ニ由テ造物主ノ天意ヲ察スルモ吾人カ意想ニ由テ考  
 フルモ人生ノ目的ハ幸福ニアリテ其幸福ヲ得ンニハ須ク事業ヲ取ラ  
 サルヘカラサルコトハ己ニ緒言ニ於テ述ヘタルカ如シ  
 斯クテ吾人カ社會ニ立テ事業ヲ爲シ職業ヲ執ル上ハ多少ノ差コソア  
 レ少モ他人ニ關係ナキハ決シテアルマシ去レハ勉テ他人ニ害ヲ與ヘ  
 ザル様心掛クルハ人間ノ德義タルベク此德義アリテ始テ完全ナル社  
 會ヲ組織シ得ベシ

用

信用ノ起原 故ニ自己ノ言語所爲ニヨリ他人ヲシテ或ル行爲ヲ起  
 サシメ又ハ或ル行爲ヲ起サシムベキコトヲ爲シタラシムニハ其人ノ言行  
 ハ即チ約束ト同一ニシテ若シ其事ヲ履行セズ之ヲ信シタル他人ニ害  
 ナ與フルハ實ニ不都合不道德ナリ必ス履行セサルベカラサル者ナリ  
 トス世ニ所謂信用即チ相互ニ信用スルトハ此事ナリ此事アリテ始テ  
 人々ガ安全ニ事業ニ從事シ得ルナリ

信

用

信用ハ自然ノ事實ナリ 大ハ數十年ヲ要スル巴那馬地峽ノ開鑿ウ  
 ノタートルーブリツシ「英國世界最長鐵橋ノ名」ノ工事ヨリ小ハ瞬間ニ成  
 功スル茄菲ノ「カツプ」ニ至ル迄之ヲ成功シ若クハ賣リ終ル迄若干ノ時  
 間ヲ要スルコトナルヘク百事人々相互ノ關係連續ヲ以テ成立スル現今  
 ノ社會ニ於テ暫時ニ成功スル事業ヲ執ル者ガ數年ヲ費ス事業ヲ信用  
 贊助セスンハ到底大工事ハ成就セサルベク長久ノ日月ヲ要スル事業  
 ハ成リ立タサルベシ故ニ信用ハ人爲ノ發明ニ非ルナリ自然ニシテ而  
 モ必要ナル結果ナリ天然ノ事業ナリ  
 業務ト信用トハ二者相隨伴スベク決シテ離ルベカラサル者ナリ故ニ  
 誠實ナル心掛ヲ以テ信用ヲ利用シ兼テ尤モ高尚ナル名譽心ニ由テ保  
 護セサルベカラズ然ルモ必ス不運ノ襲來ヲ免レ得ベシ彼レハ余リ  
 正直過テ只普通ニ確ク務メ居タレハ却テ失敗セリト云フハ實ニ世人  
 ノ考ヘ違ナリ



法律ノ制裁ナケレハ不正ニ非ストハ謬見ナリ 不正ナル金儲チ非

信

用

難スルハ只一ノ名譽心ノミ其不正ヲ禁スル文字ハ一々法典ニ乗ラサル  
ナシ全ク將來正キ人ノ心底ニ存スルナリ書類ナキ澤山ノ取引ト商業  
ノ日ヲ逐ッテ次第ニ擴張シ得ルハ全ク信用ノ勢力名譽心ノ結果ナリ  
名譽心ナクンハ如何ナル取引モ一切書類ヲ用ユルトナリ疑惑ノ重  
荷恰モ甲冑ノ如ク百般ノ企業ハ全ク斷絶スベシ  
名譽心正直心ハ實ニ事業ノ世ニ成立スル看護人ナリ護國神ナリ若シ  
他人ノ手ニ財産ヲ信託セハ必ス法律ニ由ラサレハ恢復シ能ハサルカ  
何人モ正金ニ對スル外ハ取引セサルベシ人言ニシテ少モ目宛ナクン  
ハ誰レカ他人ノ爲ニ働ンヤ斯クテハ社會ノ事業全ク止ミ商業ハ只僅  
々タル物品貿易トナリ社會ハ再ヒ野蠻暗黒時代ニ退戻スベシ  
實ニ名譽心ノ商人ニ於ル猶ホ勇氣ノ兵士ニ於ル熱心ノ代言人ニ欠ク  
ベカテサル公平ノ裁判官ニ必要ナルカ如シ此心ナクンハ人ハ只肢體

信

用

ヲ備フル奇怪ノ振テ殻ニ過キサルベシ  
今人カ不信用ヲ働ク場合ヲ列舉セン  
其一他人ヨリ或事件ヲ述ヘテ教示ヲ求メタル時 此場合ニハ其事  
業ヲ爲シ遂クル尤モ善キ方便ヲ教ユベク問ハレタル點ニ對シテ思考  
ヲ全ク注入スベシ他人ニ告グルニハ非常ニ不完全ナル返答若クハ却  
テ害ヲ引起スベキ方法ヲ告ケ以テシ實ハ自ラ先キ廻リシテ他人カ未  
タ及ハサルニ早ク已ニ其利ヲ奪ヒ去リ恬トシテ顧ミサルハ實ニ不信  
用ノ限りナリ  
他人ノ不熟練無經驗法律學ヲ知ラサルニつけこみ借金ヲモ拂ハス殊  
更ニ競争者同業者ノ名譽ヲ害シ若クハ妨害シ殊更ニ物價ヲ引上クル  
方法ヲ運フシ殊更ニ安賣シ他人買付ノ商家ヲ非難シテ其花主ヲ奪ヒ  
手代番頭ニ對シ如何ニ商買ノ繁昌ナルトモ給料ノ外少シモ賞與セザ  
ル等總テ他人ヨリ擯斥セラレ普通人間ノ好マサル事ヲ爲スハ不信用



信

用

ノ始ナリ  
 其二詐偽 道德ノ原則ヨリ推スモ法律上ヨリ見ルモ言行不一致ノ  
 宜シカラサルハ己ニ明ナリ店舗ニ來リテ貨物ヲ買フ人ニ對シ直接ニ  
 虚言ヲ吐テ其性質品位等ヲ誇稱スルハ勿論此物品ハ如此性質如此品  
 柄ナリト信シテ買フ者ニ對シ其想像ノ誤謬ナルヲ知リナカラ之ヲ告  
 ゲズ又知り得ル方法オモ悉ササルハ詐偽ナリ  
 懸價 特別專賣品ニ非ル上ハ其物品普通ノ市價ハ即相當ノ價格ニ  
 シテ猶ホ多キヲ貪ラントスレハ即チ懸價ナリ詐偽ナリ此レハ全ク買  
 方ガ申出ノ價ヨリ幾何ニテモ減スレハ其レ丈ハ利益ナリトノ利欲深  
 キ考ト商賣人カスク云ハレタル際幾何カ減セサレハ体裁モ惡シ又全  
 ク賣レサルコトモアレハ初ヨリ物品ニ余計ノ價ヲ附シ置クニ如カズト  
 ノ「するさ」心ヨリ起リシモノナラン然レモコレハ甚ダ不都合ナリ  
 己ニ懸價アル習慣ト定レハ買フ者モ必ス減價ヲ求メサルヘカラス賣

信

用

ル人ハ常ニ増價シ置カサルベカラス減價ヲ求メラルレハ幾何ナラハ  
 賣リ得ヘシ幾何以上ハ減シ難シト云フコト定メ置カサルベカラス賣  
 方買方相方共ニ面倒ナリト云フベシ  
 其三不能力者ニ對スル場合 買方ハ多ク一般消費者ナレハ其物品  
 ニ付キ商賣人程明ナラサルハ勿論殊ニ視力耳官口官ノ銳キ者白痴少  
 年等ハ物品ノ優劣ヲ辨ヘサルベシ此等ニ對シ不正ニ高賣スルハ又詐  
 偽ト云ハサルヘカラス  
 之ヲ要スルニ或ル店舗ヲ開キ若クハ或ル方法ヲ以テ物品ヲ公衆ニ賣  
 捌ク者ハ即チ買方ニ對シテ普通市價ヲ以テ如此物品ヲ賣ルト默約ス  
 ル者ナリ客ハ既ニ其物品ヲ信シテ來ル者ナレハ此預想ニ反對スルハ  
 詐偽タルヲ免レサルナリ例ヘ別ニ証書ヲ以テ証明シタル文字ハ之レ  
 無クトモ亦不正ナル事ナリ  
 其四他人ヨリ一層都合宜キ特別ノ事ヲ知ルノ正否 他人ト特別ナ











賣方 商人ハ人間ノ性質ニ關スル普通ノ智識禮儀深キ舉動并ニ種々ノ買方ヲ遇待シ得ル用意ナカルベカラズ是レ即普通人民ナル買方ト異リテ商人ガ應對ニ熟セザル可ラサル所以ナリ

商人ハ自家ノ商賣ニハ明ニ且ツ其貨物ヲ最初購求スル際能ク注意シ置キタルコトナレハ買方ニ其物品ヲ推薦スルニハ躊躇ナカルベク若シ客ヲ求メアレハ固ク保証スベシ其目的即公衆ノ信用ヲ得ルニ合フ事アラハ如何ナル事ニテモ屈セズ機マシ行フベシ

妄リニ物品ヲ保証スベカラズ 正直ハ信用ノ根元ナリ若シ自ラ確實ナリト保証シ得ベキ證據物ヲ有スルニ非スレハ大概確實ナリト思フトモ此レハ如此彼レハ何々ナリト明言スルコトハ見合スベシ保証ノ一言ハ後日ニ關係アルモノナリ若シ其偽リナルコトノ明白トナリタラシニハ實ニ不信用ノ限リナリ

花主ノ思フ所ハ早速ニ推知セサルベカラズ 何人ニ對シテモ同一口氣ヲ以テ各物品ヲ批評スルハ得策ニ非ス先ツ花主ノ思フ所ヲ推察シ花主ノ嗜好ニ投スル様推薦スヘシ

客ガ即座ニ物品ヲ買フ能ハサル場合 此際妄リニ買ハサルベカラサル様強ヒ付ルハ甚々宜シカラズ若シ少シニテモ之ヲ強ユレハ即假令直接ニ強ヒズトモ其物品ノ完全ナルコト頻リニ稱スルカ或ハ「いやみ半分ニテ待遇スルコトアラシカ之レ又客ノ心ヲ傷フベシ客モ買ハズシテ還ル爲メ自ラ氣ノ引ケ居ル時ナレハ只体裁能ク應接シテ客ノ再ヒ來ル様取り計フベシ

譯者曰ク兎角日本ノ惡風習ニヤ買ハサル客ト見レハ甚々不あしら「ニテ甚シキハ客ノ顔ヲにらみつけテ「おひやかし」テスカナト云フニ至ル此等ハ一旦ノ怒ニ空ク客ノ足ヲ遠ザケ引テ自店ノ評判迄ヲ害スルモノナリ戒メサルベカラズ



婦人ニ對スル心得 婦人貴女ノ來リタル時何ニカ親シキ風体ヲ裝  
ヒ妾ニ多言シテ敬禮ヲ失フベカラズ

「マダム、セルナート」氏ノ著書ニモ

快口ニ喋々スベカラズ婦人ニ無禮ナルベカラス自家ノ貨物ヲ濫賞  
シ金持ラシキ客ナリトテ頻リニ腰ヲ屈シ貧乏臭キ客ナリトテ振向  
キモセサルヲ妾ニ客ニ話シテ仕掛ケ客ノ問モナキニ妾ニ貨物ヲ讓  
ミ上ラ「うるさく」思ハシムルヲハナルベク避ケサルベカラズ  
ト見ヘタリ何ニ致セ客ニハ總テ鄭重ナラサルベカラズ殊ニ婦人ナハ  
敬禮スベシ

（此一段花主ヲ得ル方法ヲ述ヘタル第十一章ノ第一法ト對照スベシ  
割引ニ關スル明瞭ノ智識 或金高ヨリ其何割若クハ何歩ヲ減スル  
ヲ本割引ト云フ一例ヲ舉テ之ヲ証明センニ  
金百圓ニ加フルニ其二割ヲ以テスレハ百二十拾圓ナレトモ其加ヘタル

買賣ニ關スル注意

買賣ニ關スル注意

百貳拾圓ヨリ其二割ヲ成シタリトモ以前ノ百圓トハ爲ラサルナリ九  
拾六圓トナルナリ  
又甲某百圓ノ貨物ヲ八十圓ニテ買ヒ乙某ハ同一品ヲ七十圓ニテ買ハ  
ハ乙ノ廉價ニ求メタル金高十圓ハ甲乙價格ノ比較上壹割二分半ナリ  
倫敦經濟雜誌ハ嘗テ割引ニ干シ有益ナル注意ヲ爲シタリ  
或工業家アリ百磅ノ製造品ヲ小賣商ニ賣リテ三割乃チ三十磅ヲ利  
シ百三十磅ヲ受取り居リシカ後之ヲ卸賣商ニ賣渡ストナリ百三  
十磅ヨリ其二割(即二十六磅)ヲ減シテ猶壹割ヲ利シ居ル積リニテ賣  
リ居レリ然ルニ其實ニ二割割引セハ殘ル所ハ四磅即一割ニ非スシテ  
只四分ナルヲ知リ大ニ豫算違ヘシテ失敗零落シタリ  
或原價ノ何割ト或原價ニ其何割ヲ加ヘタル者ノ何割トハ其原價ニ對  
スル割合ヲ異ニスルヲ能ク知ラサルベカラズ是即割引ノ智識  
ナカルベカラサル所以ナリ







(六)人ハ外面ヨリ想像スル通りニ富貴ナラズ伶俐ナラズ正直ナラサル

トモアレハ能ク注意スベシ

(七)仕拂期限ヲ經過シタル手形ハ成ルベク受取ルベカラズ

(八)立派ナル衣服ヲ着ケ体裁ヲ飾リタル者或ハ不正ナルコトアリ偽善ノ

風ニまかしノ体ヲ以テ何事ニモ此レニテハ神ノ御教ニ叶フ此レハ

天命ニ背クナト如何ニモ徳義深キ有様ヲ裝フ者ハ聊カ疑ナキ能ハ

ス從テ注意スル所ナカルベカラズ

(九)看板ニ自身ノ名ヲ示サズシテ他ノ文字ヲ筆太ニ立派ニ記載シテ客

ヲ欺クハ不正ナリ

(十)偽物ヲ賣リ混合物ヲ賣ルハ實ニ宜カラズ

例ハ砂糖ニ小砂ヲ交ヘテ賣リ茄非ナリトテ「いり豆」ヲ賣ルノ類又

箱入或ハ紙包等ニテ他方ニ送り出ス荷物中實物ヲ入レスシテ空箱

若クハ他物即瓦石炭塊等ヲ入レ其重量ヲ以テ一時人心ヲ誑カス等

何レモ不正ナリ

殊ニ外國ヲ以テ花主トスル物品ナドニ關シテハ尤モ注意スル所ナカルベカラズ生糸箱ニ瓦石ヲ入ルナドハ其魁ナル者爲ニ貿易上幾何ノ不信用ヲ來スヤモ計ラレザルベク折角積年ノ辛勞モテ積ミ上タル信用モ一朝水泡ニ歸シ去ルベシ能ク注意スベキ事ニコソ

以下特ニ賣買契約ノ事ヲ論スベシ

賣買契約ノ二種

第一 明言契約

第二 黙諾契約

トノ二種ニ分ル 契約ノ要素 法律上有効ナル契約ト爲ルノ條件ヲ備ヘサルベカラズ

一 契約ヲ爲シ得ル人



二 契約ハ自由意思ノ希望ナルコト

三 契約ノ目的タル事物

四 契約ヲ爲スニ至リテ完全ナル契約因

五 契約一致ヲ云ヒ現ハス明瞭ナル言辞

六 契約者相方ノ承諾

等ナリ然レモ此等ノ條件ナハ假ヘ欠ケタルコトアリトモ其意思ニ由テ察セラレ得ベキ場合ニハ當初ノ契約ト見ナスベシ

契約ヲ爲スベカラザル人 幼者已婚婦白痴瘋癲等ハ一般契約ヲ爲シ得ヘカラサル者ト定ム尤モ國ニヨリ重大ナル罪ヲ犯セシ者モ此權利ナ一時若クハ永久剝奪セララルコトアリ

又契約者ノ一方カ非常ニ酩酊シタルモ其契約ハ無効ト爲シ得ベシ

賣渡スベキ權利ナキ人ヨリ求めタル物品 コレハ正當ナル所有者ニ由テ取り戻サルベシ盜品モ亦然リ購求者ハ固ヨリ其盜品ナルヲ知

ラズ相當ナル代價ヲ以テ求めタルニモセヨ物品ノ正當所有者ハ之ヲ取り戻シ得ベシ故ニ割安ナリトテ不正品ヲ買フベカラズ

賣買シタル物品 コレハ現ニ成立スル物体ニシテ授受シ得ベキ者ニアラサルベカラズ

例ヘハ甲者アリ乙者ニ對シ馬或ハ家屋ヲ賣渡シノ契約ヲ爲シタリ然ルニ其節己ニ馬死シ家屋燒失シタル後ナランニハ相方其事實ヲ知ラズシテ契約ヲ爲シタルニモセヨ契約ハ無効ナリ

約因 捺印契約(相方捺印シタル契約證書)ノ外諸契約ニハ必ス約因ナカルベカラズ只爲替手形約束手形ノ商業取引上轉々シテ期限前ニ其手形ヲ出サレタル後原因ヲ知ルニ由ナキ他人ノ手ニ渡リタル後ハ其手形ノ最初造リ出サレタル節約因ナキモ無効トハ爲シズ

約因トハ一方(爲約者)ノ得タル權利若クハ便利利益又ハ他ノ一方(受約者)又ハ第三者ノ負フ所ノ義務若クハ其受クル損害不便ヲ云フ







賣買ニ關スル注意

ハシメ得ベキ様契約ヲナシ取引スベシ去ラハ事ノ間違モ少ク買方モ故ナク損失ヲ蒙ルコト少カルヘシ

賣買契約上ノ注意

- 一 賣買取引ニ於テ物品ハ此方ヨリ送り届クルカ又ハ先方買方ヨリ取りニ來ルカ明ニ定メ置クヘシ
- 二 契約上ノ期日ハ成ルベク何日後何日迄等ノ言語ヲ避ケ何年何月何日ト明記スベシ
- 三 總テ證書ハ完全ナルベシ法律上ノ保護ヲ受ケ得ベキ様ニ作ルベシ即捺印印紙貼用等ニ於テ欠クル所アルカラズ
- 四 物品ノ授受ニハ總テ受取証讓渡證等ヲ以テスベシ
- 五 平生主命ヲ帶テ掛買スル者ノ來リタルキト雖モ其果シテ主命ナラヤ或ハ自身ノ用ナルヤ能ク儘ムベシ只例ノ如ク主命ナラント推察シテ妄ニ掛賣スベカラズ

手形ニ關スル注意

第十章 手形ニ關スル注意

今日日本ニテハ手形取引ノ事甚タ盛ナラサレモ商業次第ニ隆盛トナリ殊ニ内地雜居トモ爲テハ手形ノ授受從テ増加スベシ此際余リ躊躇セサル爲メ今日ヨリ少ク手形ノ事ニ注意センハ日本商人タル者ノ宜ク務ムヘキ所ナリ

手形ノ種類中其重ナル者ハ爲換手形ト約束手形ナリ

爲換手形トハ或ル金高ヲ拂フヘントノ命令書ニシテ自ラ取ルベキ金高アル者ガ自身ニ對シ負債アル者ニ其負債ヲ自身ニ返却スル代リニ自身ノ指圖シタル人ニ拂フベシト命令スル證書類ナリ

約束手形ハ自ラ或金額ヲ拂ヒ出スベシト約束證書ナリ即何月何日ニハ此證書持參者ニ對シ券面記載額ヲ渡スベシト云フ約束書類ナリ







印紙

一金一千圓也

1000

右金一千圓ハ請求次第雪月屋花作殿又ハ同人名差人ニ御拂渡被下度候

二十一年八月二十七日

東京堀留町

大黒屋福助印

神戸元町

松竹屋梅二郎殿

爲換手形約束手形ノ要素

一金額 前ニ記シタル數字ト本文ト金高ニ於テ相違アルキハ本文ヲ

以テ正當トナス

(二)印紙 印紙ハ必ズ印紙貼用規則ニ從テ用ヒサルヘカラズ然ラサレ

ハ法律ノ保護ヲ受クルニ由ナシ

(三)仕拂期限 何ヶ月後ト云フハ普通ノ曆ニ從フモノトス

(四)日付

(五)振出人

(六)仕拂人

(七)受取人

(八)仕拂ノ場所 コハ必ズシモ確定スルニ限リタル者ニ非ス現ニ前條

形ノ如キ仕拂ノ場所ハ別ニ確定シ居ラサルナリ

以上ノ八條件ハ手形ニ必要ノ者ナリ就中第一及ヒ第二三五六七ハ必

ズ欠シベカラザルナリ苦シ此要件ニシテ足ラザレバ手形振出人ハ振

出後再ヒ手形ノ戻リ來リテ受取ラサルベカラサルコアリ彼此面倒ナ

ルベク受取人ハ猶々注意セザルベカラズ何ントナレバ振出人若クハ







●手形ノ眞偽ヲ鑑定スル方法

金融必迫シテ金ヲ借り得ベキ所ナク

銀行ニテモ容易ニ貸金セサルキハ商人ハ困却ノ餘リ

世間ニ信用多キ人ノ名ヲ借ル

遠キ地方ノ人ニ宛ツル

等ノ方便ニ由テ實際取引ナキ手形ヲ發行スルコトアリ斯ル手形ヲ受取

ルキハ其仕拂甚タ不確實ニシテ大ニ失敗スルコトアレハ能ク注意

セサルベカラズ

此場合ニ標準トスベキ事ハ其手形カ商業自然ノ順序ニ適合シ居ルヤ

否ヲ見ルコアリ

然ラバ自然ノ順序ニ合ヘル手形トハ如何ナル者ナルヤ曰ク左ノ四種

ナリ

(一)生産者カ卸賣商ニ宛テタル手形

(二)卸賣商カ小賣商ニ宛テタル手形

手形ニ關スル注意

手形ニ關スル注意

(三)小賣商カ消費者ニ宛テタル手形

(四)或ル物品ノ販賣者カ其物品ヲ已レノ事業ノ材料トシテ用ユル他

ノ生産者ニ宛テタル手形

(十)同業者中ニ宛テタル手形

等ナリ

今以上ノ手形カ自然ノ順序ニ合フ所以ヲ例證セシニ

例ハ米ヲ産出スル者ハ必ス之ヲ問屋ニ賣ルヲ以テ米ノ産出者ハ米

ノ問屋ニ貸金アリテ隨ツテ爲替ヲ引クコトアルハ當然ノ事ナリ又米ノ

問屋ハ米ノ小賣商ニ信用貸ニテ賣ルコトモ平生ノ事ナレハ問屋ヨリ小

賣商ニ爲替ヲ引クモ又當リ前ノ賣ナリ又米ノ小賣商カ一般ノ消費者

ニ米ヲ賣ルモ通例ノ現象ナレハ其間ニ爲替ヲ發行スルコトモ全ク怪ム

ヘキコニアラズ然レトモ一般ノ消費者ハ大概現金ニテ米ヲ買フカ或

ハ通帳ニテ大抵一ヶ月拂位ナレハ小賣商ヨリ消費者ニ宛タル三ヶ月



四ヶ月拂ノ手形ハ全ク事實ニ遠ルモノト云フベシ即チ其消費者ハ金廻リ惡キ者ニ非スヤト考ヘサルベカラズ

次ニ第四番目ノ手形ハ如何ナル者カト問フニ假ヘバ建築家ガ已カ職業ノ材料トシテ石屋ヨリ石材木屋ヨリ木材ヲ買入レ又ハ麵包屋カ麥粉ヲ麵粉屋ヨリ買入ル、トアレバ此等粗生品ヲ供給スル者ガ建築家麵包屋ニ宛テタル手形ハ正當ナル者ナルベシ

又卸賣商ト卸賣商小賣商ト小賣商トノ間ニテハ物品ノ不足チ生シタルキ同商賣ノ好ミ近隣ノ都合ヲ以テ取り寄スルコトアレハ又正當ナルトアルベシ尤モ注意スル所ナカルベカラズ

以上ハ安否ノ差コソアレ先ツ大概手形ノ順序其宜チ得テ安全ナルモノト見テ差支ナク此序ニ反對シタル者ハ即チ商業上自然ノ順序ニ反對シタル手形ニシテ危險ナル者ナリ但シ第三第五ハ尤危險ナルベシ然ラハ手形ヲ受取りテ失敗セザランチ欲セバ即チ自身ト平生手形ヲ

授受スル人ノ性質商賣ノ種類商況卸賣商ナルカ小賣商ナルカ等能ク注意シテ探知シ手形ヲ受取ル場合其手形カ順ナルヤ將タ逆ナルヤチ對照判斷セサル可ラズ尤モ手形表面ニ記セラレタル振出人カ仕拂人ノ中一人ノ性質即チ卸賣商ナルカ又小賣商ナルヤチ知リタランニハ又々其一方ノ對手ヲ慥ムルニ容易ナルベシ大ニ都合宜カルベシ

花主ノ事情ヲ知ル爲ニ設ケタル花主通信簿商家ノ記録ヲ述ヘタル章下ニアリ花主事業分類表同上ハ手形ノ正否ヲ慥メ順逆ヲ知ルニ相當ノ効チ與フベケレバ其章下チ參照スベシ

不都合ナル手形ニ對スル所置

先ツ不都合ラシク見ユル手形ハ受取ルベカラズ若シ誤リテ受取リタル後其不都合ナルチ發見セバ直ニ他人ニ渡スカ或ハ裏書人ニ返ヘスカ或ハ仕拂人ニ呈出シテ其安否ヲ慥ムベシ

金高チ記載スル時ノ注意



手形ニ關スル注意

手形ニ記載セラレタル文字ニシテ變更改竄セラル、トアラハ能ク注意スベシ六七八九等ノ文字ハ其下ニ十ノ字ヲ(〇)ヲ添加スルコトニ由テ容易ニ變化シ得ベク又十磅以下ナルキハ其數字ノ前ニ少ク空地ノ存シタル爲メ他文字ノ記入セラル、トアリ現ニ倫敦ニテハ數年前三磅ノ手形ニ六ノ字ヲ記入シ爲ニ六十三磅ノ手形トナリ銀行家ハ全ク六十磅ノ損失ヲ受タルコトアリ(西洋ニテハ第二位ノ數ハ拾位ナレバ日本六ノ字キ只一字加フレハ六十三トナルナリ即六三三ト(〇〇)ノ如ク日本字ナレハ六三ニシテ洋字ナレハ六十三トナルナリ)

手形ニ用ユル紙ニ由テハ最初記入シタル額ヲ全ク拭ヒ去リ他ノ金額ヲ記入スルコトアリ即チ金額ノ金高ヲ記入シテ其差額ヲ(ひまかす)ナリ故ニ手形用紙ハ化學之原理ヲ應用シテ染上タル色紙ヲ用フルチ宜シトス左スレハ別ニ拭ヒ去ラル、憂ナシ

第十一章 花主ヲ得ル方法

花主ヲ得ル方法ハ性質上分テ二種ト爲スベシ

- 第一 一度來リタル客ヲシテ以後ハ此店ニテ物品ヲ買フベシトノ觀念ヲ起サシムルコト
- 第二 未ダ見モ知リモセサル新ラシキ客ヲシテ自己ノ商店ニ尋テラシムルコト

之レナリ

尤モ一度來リタル客ニシテ再三自家ヲ訪ハントノ感ヲ抱カハ又他人ニモ自家ヲ訪フベク勸ムルモノナレハ第一策コソ商人カ尤モ勤ムベキ政略ニシテ且ツ尤モ確實ナルベシ

今予ハ第一ヨリ論スベシ  
先ニ商店ノ章下ニ於テ其位置建築及物品排列法等ヲ述ヘタリシカ其多クハ花主ヲシテ再ヒ來ラントノ觀念ヲ抱カシムルモノナリ故ニ予

花主ヲ得ル方法



ハ其複雑セシテ厭フテ只條目ノミチ列記シ置クベシ  
其一●商店

(一)商店ハ廣濶ニシテ清潔ナルベシ

(二)室内ハ光明ナルベシ

(三)空氣ノ流通可ナルベシ

(四)物品ノ排列其序ヲ失フヘカラズ

其二●勘定ヲ精密ニスベシ 第一ノ四目ハ已ニ商店ノ章下ニ述ヘタ

レ其其二ニ至テハ別ニ述ヘタル所ロナケレハ一言スベシ

勘定ヲ違ヘサルノ大切ナルハ又予ノ言ヲ待タサルベシ客ガぼんやり

ナリトテ或ハ客自ラツリ錢ヲ幾何ナラント明言シタリトテ其誤算ナ

ルヲ知リナカラ其儘ニテおまかすハ實ニ忌ムベキナルハ勿論故

意ニ違ヘタルニ非ストモ大ニ人ノ感觸ヲ害スベケレハ能ク注意

セサルベカラズ又少許リノ間違ニテモ之ヲ送り届クルハ面倒ニシテ

花主ヲ得ル方

花主ヲ得ル方

且ツ損失ナレハ客ノ場所サヘ分明ナラハ必ス返却スベシ之レ信用ヲ

得ル一方便ナリ

其三●客ニ對スルノ親切 職業生活中殊ニ商人ニ於テハ他人ニ快キ

感覺ヲ與フルヲ甚ク肝要ナリ若シ商家ニシテ人跡稀ナランカ最早其

店ノ運命ハ之ヲトスルニ敢テ難カラサルナリ

商店ニハ多人數ノ出入スルヲナレハ其内ニハ無論未識ノ人來ルベシ

之レゾ實ニ該商店ガ親切ニ丁寧ナルヲ現ハス一時千金ハ機會ナリ

其間ヒ掛ハ必スシモ自家ノ物品ニ限ラサルベシ或ハ全ク關係ナキヲ

若クハ自家ニテ賣買セサル物品ノ事モアラン去リトテ決シテ不親切

ナル答ヲ爲スベカラズ不注意ナル商人ハ直接ニ利益ナキ事ナレハ

るさきモノカナトノ風情ニテ甚シキ厄介ナリトノ有様ヲ示スベシコ

ハ實ニ大ナル心得違ナリ商人ノ生活ハ全ク公衆ノ評判如何ニ由ルモ

ノナレハ自身ノしるべ花主ヲ増シ得ベキ機會ヲ失ハサランヲ務ル



花主ヲ得ル方

ハ實ニ肝要ナリ  
 其四客ニヨリテ取扱ヲ異ニスベカラズ  
 立派ナル洋服ヲ着ケ八字  
 形ノ髯ヲひねる者ヲ見テハ頻リニ頓首シ叩頭シ粗末ナル風ヲ爲シテ  
 店前ニ至ル者ニハ「ろく々々」物價ヲ告サル如キ様子アルハ日本今日  
 ノ弊習ナレトモ此欠點ハ勉テ去ラサルベカラズ  
 立派ナル人ハ如何ニモ上等ノ物品ヲ澤山買フモアリテ固ヨリヨキ  
 御客様ナルベシ去レテ商人ハ多數人ヲ相手トスル者ニシテ而ソ社會  
 多數ノ人民ハ立派ナル上等社會ニ非ルナリ汚衣ヲ着クル人ノ言ハ却  
 テ割合ニ勢ヒヨク速ニ傳ヘテ一般ノ評判ヲ作り以テ商店ノ運命ヲ動  
 スヘシ決シテ來客オハ侮ルヘカラズ  
 殊ニ今日ノ社會ハ日夕變轉極リナキ有様ナレハ本月親密ナル人モ來  
 月ニハ側目ノ間柄トナリ今日未識ノ人モ明日ハ昵懇トナルベシ如何  
 ナル事カアリテ今迄賤カリシ者ガ不意ニ富貴ト爲ラントモ云ヒ難シ

花主ヲ得ル方

自身ヨリ劣等ノ地位ニアル者ナリト侮ルベカラズ又一且知り合ト  
 ナリタル人ノ歡心ヲ破ルハ決シテ得策ニアラサルナリ  
 第二法 新客ヲ集ル事  
 商人ハ單ニ店舗ヲ開キ物品ヲ并列スルノミコテハ不十分ニシテ自家  
 ノ商賣品ヲ社會一般ニ告グルノ甚タ大切ナルコト能ク知ルナラ  
 ン之レ即所謂廣告ナリ  
 殊ニ今日ハ日進競争ノ世ノ中ナレハ嘗ニ從來取引シタル花主ノミチ  
 以テ満足スベカラズ少ク注意ヲ怠ラハ全ク他人ノ爲ニ花主ヲ奪ヒ去  
 ラルハニ至ラン  
 今花主ヲ得ルノ法ニ必要ナル廣告ノ事少ク述ブベシ  
 廣告ノ自由 廣告ノ自由ヲ束縛スルモノ法律ノ力ノミナラス社會  
 ノ輿論又與テ大ニ力アリ以前封建時代ニハ自家ノ貨物ダニ上等ナレ  
 ハ客ハ自ラ集リ來ルベシ妄リニ自家ノ物品ヲ吹聴スルハ卑劣ナリ不







野新聞ノ如キ大新聞又ハ地方新聞ニ廣告スルヨリ寧ロ東京都人ガ愛  
讀スル改進新聞やま新聞若クハ繪入朝野新聞東京朝日新聞等ニ廣  
告スル方甚タ利ナルカ如シ

(其四)廣告セントスル物ト同一類ノ目的ヲ取ル新紙ニ掲載スルノ例ハ  
ハ日本ニテ農業書ヲ賣ラントスレハ津田氏ノ農業雜誌カ若クハ此頃  
發刊ノ蠶業雜誌日本之殖産等ニ廣告シ政治經濟上ノ書物ナレハ時事  
新報毎日新聞朝野新聞報知新聞等雜誌ナレハ國友之友日本人日本之  
時事政論等ノ政治新聞雜誌ニ又女子向ノ書物ナレハ女學雜誌婦人矯  
風會雜誌貴女之友いらつめ日本之女學等ニ廣告スベシ

(其五)廣告ノ文章体裁 世ニハ甚シキ滑稽ノ言語をうけ文句ヲ以テ  
或ハ大ニ他人ヲ罵詈シタル語氣ヲ以テ廣告スルモノアリ爲ニ一笑喝  
采ヲ得テ或ハ客ノ増加ヲ見ルヲモアランカナレハ先ツ之ヲ普通ニ論  
ズレハ廣告文ハ

花主ヲ得ル方

花主ヲ得ル方

第一嚴確

第二明瞭

ナルヲ宜シトス

体裁ハナルベク注意ヲ引クヲ目的トスベシ然レハ殊更ニ文字ヲ轉  
倒スル等ハ余リ感心スベキ事ニアラス

(其六)前後ノ廣告矛盾スヘカラズ 拙者事來ル何月ヲ限リ何商賣相  
止メ候ニ付キ安賣致シ候「ナト」やかましく廣告シ後數月已ニ一般世人  
ハ其商賣ヲ全ク止メタリト思ヒノ外豈圖ランヤ依然トシテ其商賣ヲ  
爲シ甚シキハ又々大安賣ナトノ廣告ヲ爲スモノアリ

廣告ハ多數ノ人ヲ集ル爲メトハ云ヒナガラ僅々數月ノ内ニ斯ル矛盾  
ノ事ヲ爲シテハ世人ノ疑惑ヲ引起シ不信用ノ限リナレハ客ヲ得ント  
テ態々廣告シ却テ客ヲ失フモノナリ信用ヲ擴張セントシテ信用ヲ一  
掃スルモノナリ豈少ク心アル者ノ爲スナランヤ



花主ヲ得ル方

(其七)廣告ノ度數 之ハ云フ迄モナク數多クスベシ少ケレハ其効少ク二三回ナレハ全ク廣告損ナルヘシ一度ニ四五日乃至壹週間引續キテ廣告シ其機ヲ見テ少クトモ二三回ハ必ス如此クスベシ

(其八)廣告之時機 「時節はづれ」ノ廣告ヲ爲スベカラズ寒風凜々タルノ冬日夏物ノ廣告炎暑人ヲ冒スノ夏日冬向ノ廣告ハ時ヲ得サルノ極端ナル者ナリ物品ヲ必要トスル期節ノ來ル少ク以前ニ廣告スベシ廣告シタル時ト其物ノ入用時節ト其間長ケレハ即要スルニハ時節はづれナリ

物價變動ノ際ニハ能ク人ノ注意ヲ引ク様廣告スレハ大ニ利スル所アルベキナリ

- (其九)是非廣告スベキ人
- 一 新ニ商業ヲ始メントスル者
- 二 從來成立セサリシ新發明ノ事業ヲ爲スモノ、物品ヲ賣ル者、外國輸入

花主ヲ得ル方

品ヲ賣捌ク者

三 競争者多キ者

四 特別廉價ヲ爲ス必要ニ際會シタルモノ

等ハ諸商賣人中尤モ廣告ヲ利用スベキ者ニシテ又必ス其功益良果ヲ收メ得ベキ者ナリ

廣告ハ一國ノ文明ニモ利アリ 都會百般物品便益學術ノ廣告ハ日進文明ノ智識ヲ幾何カ地方田舎ニ分派傳送スベシ西洋文明國ノ廣告ハ東洋未開國ニ文明ノ分子ヲ傳フベシ廣告ハ實ニ文明運送ノ代理人ナリ

日本從來ノ商人ハ廣告ヲ利用セズ 予ハ嘗テ日本從來ノ商人カ甚ク廣告ニ不熱心ナルヲ訝リ物ずきも時事新報本年五月二十一日ヨリ三十日ニ至ル十日間ノ廣告ニ付キ從來行ハレタル商人(飯ハ酒屋反物屋筆墨屋旅籠屋日用道具屋ノ如キモノ)ト學校書林等日進當世向



ノ商人等トノ廣告トニ二分シテ一寸計算シ見タリシニ果セルカト實ニ左ノ如キ結果ヲ得タリ

學校書林等 百九十五件

從前來ノ商人向 百〇八件

以上ハ固ヨリ精算數ニアラサルナリ然レモ諸君ハ以上ノ狀態ヲ見テ如何ニ感セラル、カ今日ハ實ニ「くだらぬ」書籍ノ廣告多ク學校モ甚ダ繁昌ノ時節ナレハ學校書林等ノ廣告多シトテ強チニ訝ルベキニ非ルナリ然レモ前表ニヨレハ實ニ普通商人ノ廣告ハ甚タ少クシテ學校書林等ノ殆ント三分ノ一ナリ

嘗テ聞ク西洋ニテハ學事向ノ廣告ハ先ツ他商業向ノ三分ノ一ニ過キサルベシト然ルニ今ヤ之ヲ日本ニ見ルニ學事向ノ廣告ハ多クシテ二倍ナリ三分ノ一ナルベキ者カ二倍ナリ故ニ之ヲ改算スレハ即チ六倍ノ轉倒ト爲ルベシ予輩ハ日本從來ノ商人カ廣告ヲ信用セサルニ驚カ

花主ヲ得ル方

サルヲ得ズ之レト同時ニ今少ク廣告ヲ利用セラレノコトヲ望マサルヲ得サルナリ

第十二章 商家之記錄

商業家ハ自ラ帳簿ヲ抱テ一切ノ記錄ヲ爲サスモ必用ニ臨ミテハ何時ニテモ其用ヲ欠カサル爲メ常ニ諸記錄ヲ保存スルヲ要ス

其重ナル者如左

其一 總括出納簿

之レニハ數年前若クハ自ラ事業ヲ始メタル以來

ノ商況ヲ一週間十日間等一定ノ期限ヲ定メ其平均出納等ヲ順次記

載スベシ

其二 日々出納簿

之レハ日々ノ取引出入高ヲ記載シタル者ナリ

其三 貸借期限簿

コレハ毎月末ニ來月ニ於テ仕拂フベキ金高受取

商家之記錄



商 家 之 記 錄

ルベキ金高ナ日別ニシテ記載シ自家ニ平生備へ置クベキ平元金高  
 ナ多クシ若クハ少クスル方針ト爲スナリ  
 其四●秘密通信簿 ●コレニハ商業家が取引上秘密大切ニ屬スル通信  
 殊ニ他人ニ見セシムベカラサル者ヲ一纏ニ綴リ常ニ錠付ノ匣中ニ  
 秘藏シ置クベシ  
 其五●花主事業分類表 ●コレニハ花主ヲ穀物商雜貨商小賣商代言人  
 内國商貿易家等ノ項ヲ設ケ各花主ヲ分記スベシ  
 商業家ハ此帳簿ヲ備へテ一覽セハ其分表中ニ尤モ客多キ項目ハ即チ  
 自己ガ取引上尤モ干係多キ種類ノ人民ニシテ若シ此類ノ商賣ヲ營ミ  
 居ル商人ガ社會ノ事變ニ由テ影響ヲ受クベキ事アレハ該商業家ハ之  
 ニ從テ注意スル所ナカルベカラズ即米價非常ニ下落スレハ米屋ノ花  
 主多キ商人ハ其心持ニテ取引スベシ左スレハ大ナル失敗ヲ招クナリ  
 ナカルベシ

商 家 之 記 錄

其六●花主通信簿 ●花主万般ノ事狀ヲ記載スル帳簿ナリ  
 商人ハ花主殊ニ掛買ヲ望ム花主ガ資本ノ有様地位等ヲ知ルナリ甚タ必  
 要ナリ此事仲々容易ナラスシテ多クノ人ハ失敗シタリ人ニ由リテハ  
 一切他人ヲ信セサルナリトシ今迄長ク交際セザル人ニハ一切掛買セサ  
 モアリ又大概ナレハ貸付ル人モアリ去レテ余リ嚴確ナルキハ確實ハ  
 即確實ナレトモ客ノ心ヲ害スルナラシムテ妄リニ貸付レハ体裁ハ即チ可  
 ナレトモ失敗スルナラシムテ其掛引ハ仲々困難ナルベク花主ノ様子ヲ精  
 ク知リテコソ始メテ失敗モセズ又客ノ心オモ損ハサル様爲シ得ヘシ  
 今其事狀ヲ知ル方法ヲ擧クレバ  
 (其一)花主ガ今迄買付タル商人ニ問フベシ尤モ之レハ甚タ不確ナルベ  
 シ該花主ニシテ以前買付ノ商人ニ負債アリ仕拂ヒ能ハサルハ新シ  
 キ商人ヨリ掛買ヲ爲シ其代價ヲ以テ以前ノ商人ニ支拂ハントスル  
 ナリ以前ノ商人モ又其レヲ見込テ新シキ商人ニ該花主ヲ確實



商 家 之 記 錄

ナリト詐稱スルコトアレハナリ

(其二)客ノ同業者ニ問フベシ 抑モ同一ノ同業ニ従事スル商家ハ相互ニ能ク知ルモノニシテ問屋ハ能ク自家ト取引スル卸賣商ノ性質ヲ知り卸賣商ハヨク自家出入ノ小賣商ヲ知ル大ナル商店ニテハ其花主中同業者モ少カラサルコトナレバ亦一方便ナリ

譯者按スルニ「シヤ」ノ道ハ蛇之ヲ知ルノ道理ニシテ異業者ニハ隠シ得ルコトモ同業者ニハ中々包ミ得サルモノナレバ此法又大ニ利用スヘキナリ故ニ米屋ナル客ノ性質ヲ知ラント欲セバ宜シク黷商ニ問フベシ官吏ノ状態ヲ詳ニセント欲セバ同僚ニ問フベシ

(其三)同一地方ノ商人ニ問フコト之レモ前ト同一理ニテ如何ナル事モ近隣ニ知レ渡ラサルコトナケレバ其隣人ニ問フモ亦一方ナルベシ

(其四)確實ナル保証人ヲ立テシムルコト 新ニ花主トナリテ掛賣ヲ求マル者アルキハ自家ノ信用シ居ル商人若クハ其他ノ人ヲ保証人ニ

商 家 之 記 錄

立テシムベシ此際若シ新客ニシテ余リ評判宜シカラサル者ナソニハ該商店ニ關係アル人ハ斯ル客ノ保證ヲ爲シテ後自家ノ取引スル商店ノ不信用ヲ來スコトアラシク恐レテ容易ニ保證人トナルマシク從テ新客ノ事情ヲハ詳ニ知り得ベシ

(其五)花主ニ直接應對スルコト 主人自ラ客ニ接シテ其様子ヲ察シ其人ノ狀況ヲ問フベシ請求者本人ニ其状態ヲ問フテ眞實ナル事情ヲ知ラント欲スルハ少ク馬鹿氣タル希望ノ如シト雖モ其問ヒ方ニヨリテ強チニ少モ知り難キコトニ非ズ其人ノ姿容ト風体トハ其性質ヲ現ハスニ若干ノ功アルベシ

手ニ一錢モナキ者が萬金ヲ有スル様子ヲ裝フコトアリ殊ニ其人ニ直接應對セシテ他人ノ通信報告ニ依頼シ失敗スルコト多シ

ギルハルト氏ハ其著書銀行論ニ於テ述テ曰

若シ花主ガ正直ナルカ狡猾ナルカ投機家ナルカ謹慎家ナルカ結局



一定ノ見議判斷ノ立タザル際ニハ銀行家ハ如何ニシテ可ナルカ曰ク宜ク該花主ニ接シテ自家カ尤モ最初ニ引起シタル感覺推定ニ從フベシ吾人ハ吾人ノ際會スル場合中十ノ八九ハ其最初ノ感覺ノ誤謬ナラサルヲ知ル然ルニ若シ之ニ反シ銀行家ニシテ取引上應接スル人ノ性質ヲ判斷スルニ適セント欲シ人相學ニテモ學ハンカ實ニ無用ノ骨折ニシテ其成功ヲ待ツ猶ホ河ニ臨ンテ其清ルヲ望ムカ如クナラシ

第十三章 通信

商家ニ取リテハ往復通信ノ事亦甚ダ必要ナリ通信不注意ナレハ他人ヨリ不信用ヲ招クアルベシ通信書類ノ保存完全ナラザレハ爲ニ証據ヲ失フアルベシ他人ニ通知スベキ事ハ一切注意スベシ

通信

今其通知スベキ事ヲ分類スレハ大略左ノ如クナルベシ

- (其一) 自身ヨリ長者若シハ朋友隣人トシテ通知スベキ事
- (其二) 本人代理人ノ關係ニ由テ通知スベキ事
- (其三) 組合商人トシテ通知スベキ事
- (其四) 同一ニ働ク事件ニ付テ通知スベキ事
- (其五) 自身ト他人トノ關係ヲ變スベキ事件 (例ハ某事件起リテ他人ニ損害ヲ與フル場合) 起

手紙ノ認メ方

- (一) 要點ノミ書スベシ
- (二) 簡單ナルベシ
- (三) 文字ハ明瞭ナルベシ
- (四) 通俗流行ノ諺等ヲ用ユベカラズ
- (五) 異業者ニ送ル手紙ニ同業者間ニ行ハル符号等ヲ用ユルハ大失策



通

信

ニシテ事實ノ誤リヲ來スベシ  
 (六)通信ノ事實若クハ對手ノ如何ニ由テ文体ヲ異ニスベシ  
 返信ヲ出スノ必要 書信中返詞ヲ要スルモノナルヤ否ハ少ク注意  
 セハ明瞭ナラン返信ヲ要スル書ニ對シ之ヲ出サ、ルハ勿論遅延スル  
 モ亦失禮ナリ  
 世人ハ少ク地位ヲ得レハ直ニ傲慢ノ氣ヲ生スル者ニヤ些事何ソ答フ  
 ルニ足ラソナド稱シテ返信セサル者アリ之レ誤リナリ如何ニモ自身  
 ニテ思ヘハ左程大切ナラサルニモセヨ手紙ヲ送り來リタル人ニ取テ  
 ハ肝要ナレハコソ手紙ヲ送りタルナレ何ゾ全ク用モナキニ手紙ヲ送  
 クル者アランヤ然ルニ他人ノ事ヲ輕シテ物ノ數トモ爲サズ返信ヲ  
 出サズ又面會スルトモ其事ニ付テ何トモ一言ダニ語り及ハサルカ如  
 キハ非禮ナリ信用ヲ得ル所以ニ非ルナリ  
 殊ニ他人トノ關係ニ由テ全ク成立スル商業ニ從事スル人々ハ此點ニ

通

信

欠クル所アリテハ自ラ不評判ヲ招ク者ト云フベシ  
 書簡ノ保存 商家ニアリテハ手紙ヲ保存スルコト又要事ナリ而シテ此  
 事亦容易ナラズ西洋ニテモ完全ノ手紙ヲ保存シ得ル人ハ殆ント之レ  
 ナシト云ヘリ蓋シ左モアリナン今少ク手紙ノ事ニ付テ述ヘンニ  
 受取リタル書簡 先方ヨリ落手シタル書簡ハ一旦披見シタル後其  
 日付ニ從テ之ヲ一纏ト爲シ月々各別ニ束ヲ置クベシ尤モ取引盛ニ  
 一ヶ月ノ書信百通以上余リ多數ナレハ毎十五日若クハ上旬中旬下旬  
 ト三別スルモ妨ナシ  
 端書ト封書トハ別々ニ爲スベシ  
 取引ノ種類ニヨリテ別々ニ一纏ト爲スモ可ナリ  
 或ハ非常ニ取引多キ花主ハ一人毎ニ一纏ト爲スモ可ナリ  
 全ク前後ニ關係ナキ單一ノ書類ハ捨ツルモ可ナリ又三四ヶ月保存シ  
 テ後片付クルモヨシ



通 信

或書面ニシテ以前ノ手紙ト干係アリ何レカ其一ヲ保存セハ足ルナラ  
 シニハ最近日附ノ書ヲ殘シ置キ他ハ片付クベシ  
 斯テ多クノ取引ヲ爲ス各人ノ書信悉皆束テラレタラハ堅固ノ紙ヲ以  
 テ之ヲ包ミ其上ニ紙片ヲ貼リ付ケ其手紙ノ總名例ハ何々氏何月取  
 引ノ部若クハ何々業部何月取引ノ部ト記シ別ニ小紙片ヲ一邊ニ付シ  
 同一ノ標記ヲ記スベクコレハ積上タル後垂レテ探クリ易カラシメメナリ已ニ標記モ付シ終リ  
 タラハ外部ニ標記ノ見ヘ得ル様柵若クハ箱等ニ入レ最近日附ノ書ヲ  
 尤モ頂上ニ積ミ置クベシ  
 カクテ其致シ方ニ誤リナキ上ハ何カノ煩雜モナク千百ノ書中ヨリ望  
 ミ通りノ書信ヲ見出シ得ベシ  
 手紙取扱方法ニ慣レシハ内外ノ書信ヲ活潑ニ通覽スルノ能力ナカ  
 ルベカラズ初ニハ早速其題目ヲ探リ得サルトモ漸チ以テ熟練シ後ニ  
 ハ手紙ノ要領ヲ標記シ又探索センコト反掌ノ間ニアルベシ事務ノ能ク

餘 剩 資 本

〳 整頓シタル商家ニアリテハ決シテ抽斗或ハ机上ニ書類ヲ堆積ス  
 ルコトナシ  
 送り出シタル書類 前ニモ述ヘタル如ク之レハ印刷シテ副本ヲ取  
 リ置クベシ其他總テ受取りタル書簡取扱方法ニ從フベシ

第十四章 餘剩資本

餘剩資本ニ二種アリ

(一) 永久餘剩資本

(二) 當坐餘剩資本

之レナリ

而シテ此章下ニ論スル所ハ即チ第二種當坐餘リタル資本ノ事ニシテ  
 又永久餘剩資本ニ付テハ固ヨリ分リ切タル話敢テ問フニ及ハサルナ



餘 利 資 本

リ只此ニ一言注意シ置クヘシ  
 ●永●久●餘●利●資●本●ノ●所●置● 商業上突然大利ヲ得タルカ或ハ遺産ヲ受テ  
 大ニ動産ヲ増加シ別ニ之ヲ用ユル所ナクハ其大分ヲ以テ永久餘利資  
 本即チ老後ノ手當死後ノ遺産トナス様年々確實ナル収入アリ商況ノ  
 變動社會ノ變化ノ爲ニ左右セラレサル者ニ投シ置クベシ  
 即チ土地ヲ買ヒ永期公債証書ヲ買ヒ總テ利子ハ少クトモ其確實ナル  
 標準トシテ資本ヲ投ズベシ左レハ商況ノ爲ニ万一非常ナル失敗ヲ  
 爲スモ其確實ナル資本ノ幾分ハ存スベク路頭ニ轉輾スルノ苦痛オハ  
 免レ得ン  
 之レヨリハ更ニ當座餘利資本ノ事ニ移ルベシ  
 事業ノ利益中別ニ事業ヲ廣ムル用モナク諸費ヲ引去リテ急ニ要用ナ  
 キ資本ハ即チ所謂當座餘利資本ナリ  
 ●財●産●ニ●二●種●アリ● 一チ固定資本ト云ヒ一チ流通資本ト云フ固定資

餘 利 資 本

本トハ一度金ヲ投スレハ其物ハ依然トシテ存シ其レヨリ生スル利益  
 即チ地代利潤ナド稱シテ年々資本主ノ囊中ニ入ルモノナイヒ流通資  
 本トハ一度金ヲ投シテ之ヲ求メ再ヒ他人ニ賣渡セハ其投シタル額ヲ  
 ケハ勿論返リ來ルモノナイフ  
 ●當●座●餘●利●資●本●ノ●所●置● 急用ニ應シ得ル爲メ商家ナトニテハ餘利資  
 本オハ成ルベク金錢ニ交換シ易キ者即チ賣買ニ容易ナル大藏省証券  
 評判宜キ株券交換手形銀行短期預ケ金當座預ケ金仲買人貸付金等ト  
 ナシ所謂流通資本ト爲シ置クベシ英國等ニテハ此類ノ資本甚々多シ  
 ●輸●出●入●品●ニ●對●ス●ル●貸●付● 資本ヲ賣買シ難キ固定資本ニ投スルハ事  
 業家機械師工業家ノ尤モ避クベキ所ナリ即チ賣買シ易キ物品等ニ投  
 スルチ宜シトス  
 其國ヨリ輸出スル或ル物品ニ對シテ其物品ヲ自ラ抵當様ニ取り前貸  
 スルハ失策ニ非ス若シ先方ニテ拂ハサレハ直ニ物品ヲ取り押ユベシ



外國ヨリ送り出シタル輸入品ニ對シテ前貸スルモ亦然リ貸金滯レハ其物品ヲ賣却シ得ベケレハナリ然レモ此際外國輸出品ニ前貸シタル者都合ニヨリテハ其物品ヲ自ラ外國ニ送り出シテ賣捌カサルベカラサルヲモアレハ前貸高ハ其物品總價ノ何割カニ止ムベク余リ多額ヲ貸付クベカラズ然ラザレハ意外ノ損失ヲ受クルヲアルベシ

精製品ニ對スル貸付 要スルニ法律ノ保護アル者ニシテ市場ニ持出ス迄ニ最早如何ナル製造手入ヲ爲サズトモ賣捌キ得ル物品ニ資本ヲ投スルハ得策ナリ其ノ故ハ若シ間違フテ抵當流レトナルモ之ヲ賣ルニハ只市場ニ送り出スノミニテ其他製造拵上等ニ干スル注意ナド自身ノ少モ知ラサル事ニ干係シテ失敗スルノ恐ナケレハナリ

諸手形ヲ買入ルノ事 以上僭一步ヲ進ムレハ荷積證券船渠諸券諸交換手形ヲ受取リテ貸付ケ買込ムモ亦一策ナリ但シ資本投入安危ノ程度ハ其手形ノ賣買シ易ク正金ニ換ヘ易キト否トニアリト知ルベシ

餘 利 資 本

成ルベク相場ノ變動シ易キ者ト非常ニ下落スル性質アル者トテ避クルヲ宜シトス總テ此等種類ノ手形ヲ受取リタルキハ只金融ノ余リ必<sup>ひつ</sup>追セサル間ニ之ヲ正金ニ交換シ置クヲ宜シトス

資本運轉ノ迅速 資本運轉ノ迅速ニヨリ資本ノ増殖ニ大關係アリ今予ハ簡短ニ其實例ヲ示シテ以テ其影響ノ如何ニ大ナルヤヲ説明スベシ

今一千圓ノ元金アリ壹割ノ利子ニテ四ヶ月毎ニ改算シ元利蓄積シテ六年ヲ經過スレバ

五千五百五十九圓九十一錢

トナリ六ヶ月毎ニ改算スルトスレバ

四千百〇九圓八十九錢

トナルベシ

又一千圓ノ元金一割ノ利子ニテ一年毎ニ改算スレハ六年ニテ

餘 利 資 本



餘 利 資 本

一千七百七十壹圓五十六錢  
 トナリ十八ヶ月トナレバ  
 一千四百六十四圓十錢  
 トナリ廿四ヶ月トスレバ  
 一千三百三十一圓  
 トナルベシ  
 又元金千圓利子二割トシ二年毎ニ改算シ六年ヲ經過スレバ  
 一千七百廿八圓  
 トナリ十八ヶ月トスレバ  
 二千〇七十三圓六十錢  
 トナリ十二ヶ月ト定ムレバ  
 二千九百八十五圓九十八錢  
 トナリ六ヶ月ト定ムレバ

餘 利 資 本

八千九百拾六圓十錢  
 トナリ四ヶ月ト定ムレバ  
 二万六千六百廿三圓三十三錢  
 トナルヘシ  
 豈驚キ入りタル次第ナラズヤ同シ一千圓ノ元金利子ノ割合モ同一ナ  
 レ其貸借ノ期限ニ只長短アルノミ即元利結算ノ期ノ長短ニ由テ一  
 ハ僅々  
 一千七百圓餘  
 ニシテ他方ハ  
 二万六千六百圓  
 以上タリ  
 以上ノ事實ヨリシテ利子ノ割合ハ仍令少クトモ其決算期ニシテ短ケ  
 レバ利子ノミ多クモ其期ノ長キ者ヨリ結局利益ノ多キ事アルヘシ餘



利資本ヲ運轉スル人ハ此點ニ關スル明瞭ノ智識ナカルヘカラズ  
以下危険ナル資本投入方法ヲ陳ブヘシ  
土地ヲ抵當ニ取ル時 土地ナドヲ抵當ニ取リテ機械土地ヲ買フ者

或ハ土地ノ改良ヲ計ル者ニ貸付クルハ取リモ直サス商人ニハ矛盾シ  
タル資本即チ固定資本ニ投入スルモノナリ

自家ト取引干係アル者ニ貸付ル場合 自身ニ製造品粗生品ヲ供給  
スル製造家生産者ニ對シ巨多ノ資本ヲ貸與セバ借方ハ貸方ニ對シテ

ひけ目ナルヘキ筈ナルニ何ソツ計ラン借方ナル生産者製造家ハ却テ  
氣強クナリテ貨物ヲ高ク賣ラントシ貸方ハ却テ資本モ減シテ氣弱ク

ナリ買フ者ノ勢ヒ賣ル者ヨリ弱ク金ヲ借リタル者ノ勢ヒ金ヲ貸タル  
者ヨリ強ク主客轉倒貸方ハ大ニ損失ノ地位ニ立ツ者アルヘシ

故ニ自家ト物品取引ノ關係アル者ニハ第一ニハ貸付サルヲ宜シトス  
ヨシ貸付タリトテ決シテ多額ナルヘカラズ若シ多額ヲ貸付ケ借方ガ

餘 利 資 本

餘 利 資 本

容易ニ拂ハサルキハ借方ノ物品粗惡ナルモ又不用ナル量額迄モ其貸

金ノ差引トシテ之ヲ受取ラザルベカラサル事アルベシ

金ヲ借ル人ノ事業如何 借方ノ事業非常ニ競争多クシテ今一層資

本ヲ増サザレハ成功ノ望少ク且ツ借方ヨリモ頻ニ請求セハ遂ニ再ヒ

貸出サザルベカラサルニ至ルベク若シ貸サザレハ全ク失敗シテ以前

ノ貸金オモ取ルコト能ハザルニ至ル場合其レモ残念ナリ今一度貸シテ

事業ヲ成功セシメ以テ一切ノ貸金ヲ返却セシメント思ヒ込ミ遂ニ三

度モ四度モ貸出スヘシ此際借方ガ成功セハ大ニ可ナレトモ若シ失敗

セハ其貸金ハ到底返濟セラレマシク又失敗セズトモ急ニ金融必迫シ

テ其金ヲ要スルトモ急ニハ調達セサルヘシ爲ニ他ノ賣買シ易キ貨物

證券ニ投シ置ケハ何ニ憂モ無キニ如此拙策ヲ取リシヨリ非常ノ困

難ヲ受テ或ハ自ラ破産スルニ至ルベシ

英國ニ於テ一千八百四十七年ノ恐慌ニメツセルス、レイド、アービーグ



餘 利 資 本

會社及ヒ「ゴウアー、ブラザース」會社其他大商業家カ破産セシハ皆之カ爲メナリ容易ニ賣買シ易キ物品證券等ニ資本ヲ投セサルノ結果ナリ  
 ●生命●保險●證書●ニ●對●ス●ル●貸●付● 生命保險證書ハ其證書所有者ガ何不都合ナク完全ニ保險金ヲ拂込ノテ始テ其功アル者ナレハ安リニ抵當ニ取ルベカラズ殊ニ貸付高ハ尤モ少クスベシ若シ被保險人ニシテ無届ニ旅行シ自殺シ保險金ヲ一月ニテモ怠リタルキハ爲ニ其證書ノ功用ヲ失スベク之ヲ受取リタル者全ク損失ヲ受クルコトアルベシ能ク

注意スヘキ事ナリ

●滯●貸●ノ●生●ス●ル●原●因●

●富●豪●ノ●人●ニ●貸●金●ス●ル●場●合● 左程財産ナキ人ハ返金ノ見込ナキ金才ハ容易ニ借用セサルベシ何ントナレハ若シ之カ爲ニ不信用ヲ享ルルハ將來ノ事業ノ上ニ甚タ不都合ナレハナリ然ルニ財產家ハ如此遠慮ヲ爲サズ或ハ家ヲ建テ或ハ土地ヲ改良シ或ハ製造所ヲ擴張シ自ラ云

餘 利 資 本

ヘラク今少ク金廻ハリ惡ケレハ他人ヨリ借ルトモ後ニ早速返却スベシト貸ス人モ又其貸金使用ノ目途ヲモ問ハス妄信シテ貸出スナリ然レハ富人ハ借貸自由ナリ少シノ損ハナドト云フ心モアレハ其爲大事業モ余リ確實ナラサルヲアリテ遂ニ失敗シ事最初ノ考ヘトハ全ク反對ニシテ延テ資本主ニモ損失ヲ及スヲアルベシ

●合●本●會●社●ノ●株●券●ヲ●買●ハ●ン●ト●ス●ル●人●ニ●貸●付●タ●ル●場●合● 合本會社ノ株券ヲ買ハントスル人々ハ初ニハ己ノ財産ヲ以テ株金ヲ拂込ミ若シ不足ナレハ安キ利子ヲ以テ借金セント欲スルナリ然レハ會社株金ノ請求益々甚クナリ自己ノ資本ハ盡テ金ヲ借りントスルモ會社流行ノ時代ニハ何所ノ會社モ同ク株金ヲ請求シ安リニ株主タルヲ申込タルモノガ諸所ニ金ヲ借り廻ハス際中ナレハ金利ハ騰貴シ株券ヲ賣ラントスルモ其價ハ非常ニ下落シ或ハ全ク賣レサルヲアリ遂ニ借方ハ進退全ク窮リテ容易ニ其負債ヲ返却シ得ザルベシ



借方カ屢々證書ヲ書キ換ユル場合 初二ヶ月若クハ三ヶ月仕拂  
ノ約ヲ以テ借金シ其期日ニ至リ金融都合悪ク返却スルヲ得スシテ又  
書換ヲ爲シテ三ヶ月四ヶ月期拂トナシ期日ニ至リテ又々書換ヲ爲シ  
殊ニ書換毎ニ其仕拂期ヲ長クセント望ム者ハ貸金ノ滞ルベキ原因ニ  
シテ借方ハ大ニ不手廻リノ者ト知ルベク相當ニ注意シテ一層借方ノ  
事情ヲ探知スルカ早ク催促スルカ兎角損失ヲ蒙ラサル様所分スル所  
ナカルベカラズ

第十五章 事業失敗之原因

事業失敗ノ原因一ナラズ從來章ヲ逐フテ陳ヘタル所ハ事業ノ成功ス  
ル諸要素ヲ列擧シタルナレハ一言以テ之ヲ蔽ヘハ事業ノ失敗ハ以上  
ノ諸要素ニ從ハサルニアリ逆戻シタルニアリト云ヒ得ベシ然レモ以

上ノ諸要素ニハ自ラ輕重アリ假令商店ハ其章下ニ述タル如クナラズ  
トモ物品廉價ナレハ商賣ハ先ツ繁昌スベク屢々客ヲ不取扱ニ爲シ不  
信用ノ事ヲ爲セバ商店ハ立派ニシテ記録ハ能ク備ハルトモ失敗スル  
コアルベシ  
殘ル限ナキ注意ト探索トニ由ルモ金儲ノ機會ハ知り得サルコアルベ  
ク不意ノ出來事ニ由テ迅速ニ金ヲ儲クルノ方法ハ大概見出スベカラ  
サル者ニシテ昨日ノ纒纒モ今日ハ素封トナルコアルベシ  
然レモ人ノ零落スル原因ニ至テハ大ニ前知スベク適當ニ注意スレハ  
避テ得ベキ者ナリ假令両親ノ注意ハ兒童ヲシテ社會ノ上位ニ立タ  
シムルコト能ハサルニモセヨ道傍蔽袍ヲ纏フテ食ヲ乞フノ苦境ニ沈淪  
セシメサルヲ得ヘシ  
失敗ノ原因ヲ知レハ則チ成功スベシ  
ボーリエン子氏ハ



「六ヶ敷戦争ニ打勝タル後陣營戰場ヲ通覽スルハ拿破翁第一世ノ習慣ナリ」

ト述ヘタリシカコハ随分容易ナラサル事ナリ拿破翁一世ニシテ初テ爲シ得ベキ事ナルベシ予輩ハ商業上ノ大勝利者拿破翁トモ云フベキ人々ノ事ニ付テ種々ノ話ヲ聞キ及ヒタリ今其人等カ商業ノ戰場ヲ通觀シ志ノ遠大ニ希望ノ高尙ナル者カ何故ニ失敗セシヤヲ知ルハ吾人ノ義務ナリ吾人若シ方針ヲ明コシ安全ニシテ眞ニ頼ミトスベキ要點ヲ發見スル又難キニ非ルベシ

汝富貴ナラント欲セハ富人ニ問ハンヨリハ寧ロ失敗者破産者ニ其ノ破産シタル理由ヲ聞クベシ吾人ガ將ニ爲スベキ者ヲ知ランヨリハ寧ロ爲スベカラサル者ヲ避ケサル可ラサル事ヲ知ルコソ一層宜シカラソ

事業失敗之原因

トハ實ニ服膺スヘキノ言ニシテ一利ヲ起スハ一害ヲ除クニ如カサルナリ  
今事業失敗ノ原因ヲ少ク數ヘ見ソ  
（其一）事業撰擇之誤謬 事業ノ撰擇ヲ誤リ自己ノ心身ト不適合ナル事ヲ執ラハ遂ニ失敗スベシ時ニ或ハ資本ノ巨額ナル時評判ノ調子宜キヨリ暫時ハ榮エルモアルベク又直接ニ此原因ヨリ大失敗ヲ現出スルコトナキニモセヨ到底自家上達昇進ノ幸運ニ達スベキ者ニアラサルナリ事業撰擇ノ大切ナルハ己ニ第一章ニ於テ縷々陳述シタル所ナレハ別ニ言ハサルベシ  
（其二）事業ノ智識ナキヲ 之レ又余リ丁寧ニ陳ブル迄モナキ事ナリ如何ニ事業ノ撰擇丈ハ友人ノ注意爾親ノ訓戒ニテ誤ラサリシニセヨ其後其事業ニ關スル完全ノ智識ナクハ到底成功ノ望ミ無カルベシ己ニ事業ノ智識ナクハ重ニ他人ヲ雇ヒ他人ニ頼リテ爲サ、ルベカ



事業失敗之原因

ラズ事業ノ細大ノ要務ハ舉テ他人ニ任セサルベカラズ自ラ自身ノ事業ヲ執ル程他人カ親切周密ナル管ナケレハ隨分不都合ノ事ヲ爲スベク去リトテ之ヲ見出スノ能力ナキハ一寸云へバ「まかされ」ルト云フ有様ニテ損失ヲ受クルハ勿論ナリ又自ラ干涉スレハ事業ヲ運轉スルニ無智無判斷ノ人形ヲ以テスルヲナレハ忽チ失敗スベシ或ハ富人ハ如何ニシテ金儲シタリヤトノ問ニ對シ「予ハ予ノ事業ヲ能ク理解セリ又能ク注意セリ」ト答ヘタリ  
其三●身●ノ●定●職●ヲ●屢●變●更●ス●ル● 自家ノ事業ガ速ニ利益ノ具ヘサレバトテ之ヲ不滿ニ思ヒ他人カ他ノ商賣ニ由テ金儲シタリトノ話ヲテ仄カニ聞込ミテ事業ヲ變更セントスルモノアリ然レモ世間ノ事業中何人ニテモ成就シ能ハサル者ト定リタルモノナシ妄リニ他人ノ成功ヲ羨ミ他人カ如何ニ辛苦シ如何ニ勉タルヤヲ忘レテ妄リニ他業ニ

事業失敗之原因

轉セシトスル者ハ一生ノ大概ヲハ轉業ノミニ費シテ何事オモ爲シ得サルベシ  
事業ヲ始ル少年ハ宜シク節儉ト勉勵トヲ結合シテ事業ヲ爲シ遂クル孤然タル決意ナカルベカラズ若シ然ラサレハ失敗ハ踵ヲ旋サズシテ至ルト心得ベシ後日機會ヲ得テ富ヲ致シ完全ナル獨立ヲ爲サントノ愉快多キ希望ハ沈着シテ事業ヲ執ルニ足ルベキ管ナルニ相應ナル教育ヲ受タル少年カ此點ニ心付カサルハ實ニ「けしからぬ」次第ナリ  
其四●信用ノ濫用● 此場合ハ數種ニ分テ論スベシ  
一●花主ニ對シ余リ信用ヲ置キ過キ安ニ澤山ノ品物及ビ希望セサル程ノ物品ヲモ賣リ付ルキ  
二●買方ガ目下余リ必用ナラサル程物品ヲ求メタル時ハ又不都合ナリ元來消費者ガ需用ナル物品ニ需要頻繁ナル者ト肝要ナル貨物アレモ需要ノ余リ頻繁ナラサル者モアレハ消費者ガ即日々需用



事業失敗之原因

スル者ナリト思フベカラズ故ニ需用頻リナラサル物品ヲ余リ澤  
 山買込メハ又失敗スルノ恐レアリ  
 三●借金ヲ妄ニ増加スル  
 故ナク借金ヲ増シ贅澤ヲ爲スハ信用ノ  
 濫用中尤モ賤ムベキ事ナリ失敗破産ノ統計上少クモ三分ノ二ハ自  
 身カ得タル利益ノ余リ少カラサルニモ拘ハラズ其適度ヲ超テ浪費  
 シタルヨリ起レルヲ知レリ現ニ英蘭ノ如キハ破産數七十六ノ中  
 四十九ハ贅澤ヨリ失敗シタル者ナルヲ見タリ之ヲ右手ニ得テ之  
 ナ左手ニ失フ者ニ到底蓄積ノ殘ルベキ筈ナク自家ノ收入ヨリ多ク  
 費スノ者ハ到底破産ノ外無ルベシ  
 博士シヨンソン氏曰ク  
 自身ニテ拂ヒ能ハサル程借金シタル者ハ益々借金シテ其利子ヲ拂  
 ヒテ以満足セシメサルベカラサルニ至リ尙ホ其上ニモ借金シタル  
 御恩ノ報ヒトシテ不用ナル者オモ高價ニテ買込マサルベカラサル

事業失敗之原因

様ニナリ次第ノ無用ノ負担ヲ増シ大概救上ケ得ベキ身代モ彼  
 此貸方ノ爲ニ踏ミ荒サレ遂ニ些少ノ不運ニ際會シテモ他人ノ爲ニ  
 負ハセラレタル重荷ノ爲メ負債ノ爲メ全ク破産シテ庭園モ家宅モ  
 土地モ財産モ一切貸方ノ爲ニ取押ヘラルハニ至ルベシ  
 (四)自由ナル信用借ニ由テ未識ノ事業ニ干渉スル事 借金スルヲ  
 自由ナレハ自ラ知ラサル事業ニモ人言ニ浮惑セラレテ干渉スルニ  
 至ルベク遂ニ失敗スベシ又自家ノ本業ニ非ル商賣ニ關係スレハ他  
 人ノ知ラレントチ恐レテ之ヲ秘密ニナスヘク成ルベク他人ノ知ラ  
 サル内ニ甘ク其業ニテ儲ケ終ント思ヘハ不正モ爲シ偽計モ運ラヌ  
 ナラン斯クテ干渉ノ他業成功セサレハ其余波引テ本業ニ及フベシ  
 (五)信用借ニ由テ商賣ノ定度ヲ踰ルヲ 前ト同一様ニ自身ノ商賣  
 オハ愚ニシテ輕卒ナル投機ヲ試ミ或ハ自家ノ商賣ヨリ一層高尙ナ  
 ル學識能力ヲ要スル商家ト合併スルノ余之カ管理ニ苦ンテ自家成



事業失敗之原因

敗ノ運命ヲ代理人若クハ他人ニ全任セサルベカラサルコアリ且ツ己ニ高尙ナル事業ニ干係スルトノ名義ナケレハ自身カ全ク事業ニ執掌スルト否トニ拘ハラズ其業相當ノ生計ヲ爲サザルベカラズ斯クテ次第ニ如此山師ノ威嚴ト事業トハ共ニ腐敗シテ遂ニ自身ヲ信用シタル他人ニモ破産ノ害ヲ與フルニ至ルベシ

(六)信用膨脹ノ結果流通固定資本増加ス 信用非常ニ擴張シテ金ヲ借ルコト自由ナルニ從テ金錢夥ク資本余レル有様トナルキハ頗ル見込ナキ不適當ナル事業殊ニ一度企業ニ卸シタル資本ハ容易ニ償還セラレサル事業ニ投シ所謂流通資本ヲ變シテ固定資本ト爲スノ恐レアリ而シテ其固定資本ト爲スコトハ即前章ニ資本使用ノ方法ヲ得タル者ニ非スト述ヘタル所ナリ

(其五)不良ナル慣習 大功ハ細瑾ヲ顧ミズト東洋ノ豪傑ヲ氣取レバ暴飲暴食乱暴等其他不節制ノ慣習ハ別ニ仔細ナキガ如クナレトモ

事業失敗之原因

直接間接ニ事業ヲ失敗スル原因ト爲ルベシ 其實例ハ吾人が日夕見聞スル所今又予ガ説明ヲ要セサルベシ

(其六)事業管理ノ不當 事業ノ管理方法ニシテ其宜キヲ得ザレハ事業ノ撰擇誤ラズトモ事業ノ智識十分ナリトモ資本十分ニ備ハルトモ不良ノ習慣ナシトモ遂ニ失敗ヲ免レサルベシ失敗セントスル場合ノ處置之ヲ要スルニ事業失敗ノ原因ハ實ニ枚擧ニ違アラズ今一々云ハズ只一言萬事注意深クアルベシト書キ殘スノミ

(其七)失敗セントスル場合ノ所置 百難衝來ノ曉ニハ先ツ自ラ沈着シテ事業ノ成否ヲ推考シ次ニ決斷シ傍ラ友人ノ勘考ヲ求ムベシ尤モ自家ノ考ヲ定メスシテ妄リニ他人ノ考案ヲ求ムベカラズ左スレハ却テ愈ヨ紛雜ノ源トナリ一條ノ光明ダニ見ル能ハサルニ至ルベシ失敗センハ必定ナリ



第十六章 手代番頭

手代番頭

會社組合及ビ大資本ヲ以テ自ラ商業ヲ爲ス者等ハ勿論通常ノ商家ト雖モ手代番頭雇人ナド様々ノ被役者ナキ者ハナク此等ハ直接客ニ接シ他人ニ對シテ取引掛ケ合スル者ナレハ手代番頭ノ性質舉動ハ商家ノ繁榮如何ニ關係スルヲ少カルマシ予ハ今此ニ聊カ手代番頭ニ關スル注意ヲ述ヘテ實際商人ノ參考ニ供スル所アラントス

先ツ手代ヲ採用スル時ノ標準ヲ述ベシ

(第一)年齡 年ハ先ツ丁年以上ナルベシ年弱ケレハ實驗少ク伶俐ナル様ニテモ又一方ニ抜目アリ人ノ信用モ薄ク且ツ現ニ自己ノ代理トシテ使用スル場合ナドニハ丁年未滿即チ二十歳以下ニテハ甚ダ不都合ナリ

且ツ手代ノ務タル單ニ物品ヲ授受スルニ止マラズ若シ惡漢ノ爲ニ物

手代番頭

品ヲ奪ハル、カ如キ場合ニ於テハ之ヲ取り返スノ勇氣体力ナカルベカラズ又自身ノ責任ハ如何ニ重ク自己ノ一言一行ハ如何ニ主人ニ影響スルヤ等ノ考ナケレハ物品ヲ取り扱フニ粗暴ナルベク客ヲ不親切ニ間接ニハ店ノ不繁昌ヲ引起ベケレハ先ツ二十歳以上ヲ可トス

尤モ幼少ヨリ自店ニテ注意次第淘汰シ得ル様入りタル小僧即チ日本ニ其類多キ丁稚小僧ハ特別ナリ

(第二)其人ガ社會ニ於ル階級 商家ノ手代ニハ商人ノ兒孫ヲ以テ尤モ宜シトス商家ノ子弟ハ幼ヨリ商機ニ習熟シ且ツ自ラ生計ノ道ヲ得ント欲スル者ナレハ商店ニ雇ハレタルヲ幸トシテ熱心ニ眞面目ニ働クベケレハ商人ニモ大ニ都合宜カラシ

(第三)其人ノ父母ノ性質 德義ヲ重ニスル者ハ從テ信用責任ヲ重ニスル者ナレハ手代ハ道德ヲ重シ善良正直ナル性質ヲ備フル者ナラサルベカラズ蓋シ人間ノ正不正ハ家系血統ニ關スルヲナシトズルモ



善長ナル兩親ハ必ス其子孫ヲシテ善長ナラシメント注意スベクヨシ  
兩親ハ殊更ニ手ヲ取リテ導カズトモ日常居家起臥ノ間兩親嘉言善行  
ヲ見聞シ自ラ正直ナル習慣ヲ養成スベシ殊ニ今日學者ノ議論ニヨレ  
ハ兩親ノ性質ハ大概其兒輩ニ遺傳スルモノナレハ尤モ兩親ノ性質ヲ  
問ハサルベカラズ

有名ナル學者ヘンリイタイロル氏ハ其著書中實ニ左ノ言ヲ爲セリ  
人ニシテ性質善長ナル上ニ高尚ノ德義ヲ備ヘタランニハ仮令才能  
ハ少シト雖モ暗ニ智識ヲ有スルカ如シ如何ントナレハ智識德義ノ  
關係固ヨリ復雜ニシテ相伴ハサルベカラサルモノナレハ單ニ智識  
アリテ而シテ善長ナルニ非ス善長ナル性質ヲ有スル人ハ又自然ニ賢  
者タルヲ得ベシ其關係ハ唇齒ノ如シト云フモ過言ニ非ザルナリ  
故ニ假令單ニ善長ナリト云ヘハ固ヨリ万般ノ智識ヲ含有スルニ  
アラサレモ内ニ智識ニ干スル尤モ緊要ナル元素ヲ含ムニ相違ナシ

手代番頭

從テ自家天賦ノ能力範圍中ニアリテハ其人ノ性質サヘ善長ナレハ  
相當ニ事物ヲ判斷スルノ力アル者ナリ

手代番頭

(第四)品行証書ヲ視察スベシ 英國ニテ職業ヲ求メントスル少年ハ  
數多ノ身元保証狀ヲ示シ以テ上等ナル地位ニ上ラントス又紹介狀ヲ  
示シテ採用ヲ望ムモノアリ此等ハ何レモ手代性質ノ如何ヲ知ルニハ  
都合宜シケレト之ヲ信センニハ其品行証書ヲ與ヘタル人紹介狀ヲ書  
シタル人ハ其志願者タル手代ニ特別ノ緣故例ヘハ親戚若クハ師弟等  
特別ノ關係アル者ニ非ルヤ否ヲ見サルベカラズ若シ緣故アル者ナル  
キハ自ラ不正ニ其人ヲ賞メテ書ス積リナラズトモ人情ノ自然カ強迫  
スル所其証書類ハ事物ノ眞ヲ寫サザルコトアレハナリ  
又其証書紹介狀等ヲ眞正ナリト認ルモ猶ホ其文言ニ由テ手代ヲ求ム  
ル者ハ其性質長所欠點ヲ推察セサルベカラズ  
例ヘハ此少年ハ「事務ニ精勵ニシテ正直ナリ」トアレハ天稟ノ才能ニ







手代番頭

ナクテハ勤マシ始ヨリ澤山ノ給料ヲ與フルニハ及ハザレトモ全  
 ク與ヘサレハ残酷ナリ又壯年者ニ對シテ成立ツベキ事ニ非ズ故ニ宜  
 ク相當ノ昇級階段ヲ立テ置キ各手代ノ技倆働キ「あんばい」ニ應シテ給  
 與スベシ  
 給料ハ公平ナルベシ  
 給料ヲ定メ昇降スルニハ頗ル公平ナラサル  
 ベカラズ一點ノ疑惑ニテモ存スレバ其昇級ハ大ニ他手代ノ氣ヲ害シ  
 却テ勉強心ヲ妨ケ間接ニハ昇級ヲ受タル者ニ迄不利ヲ及スアルベ  
 シ主人タル者能ク注意セサルベカラズ  
 手代ヨリ身元保証金ヲ取ルベシ 己ニ給料ヲ與フル上ハ其職務ヲ  
 怠リ若クハ不正ナルヲ等ヲ爲シ其場凌ニテ逃ケ去ラレテハ主人ノ迷  
 惑少カラザレバ其給金ノ多寡在位ノ高下如何ニヨリテ若干ノ保証金  
 ヲ取ルベシ  
 而シテ其保証金トシテ一度ニ多額ノ金ヲ取ルハ余リ金錢ニ自由ナ

手代番頭

ヲサル手代ノタメニハ隨分困難ノヲナルベシ由テ其取り方ハ最初ノ  
 年ニ何圓次年ニハ最初ノ年ヨリ幾何カ減シ三年目ニハ又減シ漸次遞  
 減スベシ  
 例へハ最初ノ年ニ保証金三十圓取レハ次年ニハ二十六圓三年目ニハ  
 二十三圓四年目ニハ二十圓五年目ニハ十七圓等漸次初ニハ全保証金  
 高ノ壹割二三分ヲ減シ後數年ヲ經テ保証金高次第ニ減スルニ從ヒ其  
 減スル割合オハ少クシテ七分若クハ六分ニ至ルベク斯クテ保証金高  
 減シテ初年ノ二分ノ一若クハ三分ノ一トナレバ其以後ハ保証金ヲ全  
 廢スベク猶納ムルトスレハ最後ノ保証金高ヲ數年繼續シテ取ルベシ  
 保証金ヲ取ル年限ハ事業ニ由テ異ルベケレモ先ツ十年ナルベク又其  
 金高ハ給料ニ對シテ多クモ一割ヲ超ユベカラズ即チ月給二十五圓ノ  
 人ハ一年三十圓月給二十圓ノ人ハ一年二十四圓ナリト知ルベシ  
 斯ク積上タル金高ハ主人之ヲ預リテ相當ノ利子ヲ附スベシ主人之ヲ



手代番頭

取扱フ一面倒ナラハ之ヲ銀行ニ托スルモ宜シ尤モ不得止手代ノ引キ去ルキハ相當ノ利子ヲ付シ其勘定ヲ示シテ返付スベシ又己ニ數十年奉仕シテ全ク確實ト定マリタル上ハ本人ノ望ミニ任セテ返付スルモ可ナリ然ラズハ之ヲ主人ニ全任シ置クベシサスレハ老後ニハ亦かな加ニ多額トナリテ死後遺產ノ一部ヲ爲シ大ニ都合宜シカラシテ手代ノ過失若クハ逃亡シタルキ此場合ニハ其保証金ヨリ過失ニテ損害ヲ與ヘタル要償金ヲ引去リ逃亡シタルキハ全額ヲ沒收シ其逃亡者カ納メタル金高ニテ足ラサルキハ預メ各手代ヲシテ一團體ヲ爲サシメ置キテ以テ其不足高ヲ分担セシムベシコレハ少ク酷ナルカ如クナレバ此制度ハ大ニ効用アル仕組ナリ若シ斯ノ如クセザレバ他手代カ失敗若クハ逃亡ノヲ略々知リタル場合ニテモ別ニ注意スル所ナカル可ケレバナリ

而シテ其過失要償トシテ納ムル金ノ不足額ハナルベク速ニ二年若ク

手代番頭

ハ三年ニシテ出金シ終ラシムベク若シ本人一人ニテ出シ難ケレハ同盟手代ヲシテ分担シテ之ヲ差出サシメ跡ハ手代間ノ相談ニ任スベシ手代ノ事務分擔ノ要用 會社組合若クハ大商店ニテハ貨物賣買物品取扱ヲ爲ス者ト會計出納ヲ爲ス者ト各別ニナスヲ宜シトス貨物ヲ賣ル者ト日々出納ヲ記載スル者ト同一ナラシメバ或ハ不正ノ事ヲ爲スノ恐れアラシ

例ヘバ或店ニテ織物一反ヲ賣ルニ大概七十錢ヨリ八十錢ノ間ト定リ居ルキニ客ニハ八十錢ニ賣リテ實際八十錢ヲ受取ルモ帳簿ニ記スルニハ七十錢若クハ七十五錢トシ八十錢ヨリ少キ額ヲ以テシ其差丈ヲ自己ノ囊中ニ取り入ルヲアルベシ

故ニ出納方即チ實際金錢ヲ取り扱フ者ト商品販賣方トハ其入チ異ニスルチ宜シトス現ニ日本ニテモ都會ノ豪商等ハ之ヲ實行セリ

店內ノ事務ヲ分担セシムベシ 分任ノ制度不完全ナレバ事務ノ進



手代番頭

掛ニ望ミナク物品ノ取引等總テ混雜スベシ殊ニ過失ノ有リタルキハ  
 分任届カサレハ責ノ歸スル所ナク手代ハ各其責ヲ他人ニ蒙ラシメン  
 トシ而シテ主人ハ之ヲ譴責スルニ由ナク過失アリタリトテ少年以テ  
 後日ノ殷鑑トナスコトヲ得ザルベシ  
 手代ニ休日ヲ與フルノ利益 手代ヲシテ事業ヲ休マシムルコトハ一  
 見損失ノ如クナレモ必スシモ然ラズ休日ヲ與フレバ再ヒ事業ニ付ク  
 ノ日非常ニ活潑ナルベク又其休日間ハ種々自身ノ事業ニ關スル書籍  
 ナ見人ヲ訪ヒ大ニ得ル所モアリ考慮モ靜ニ名案モ起ルベケレハ稀ニ  
 休日ニ與フレハ大ニ其人ノ身体ニ活氣ヲ與ヘ思考ニ富マシメ有形の  
 無形のニ其利益多カルベシ  
 殊ニ主人ノ恩義ニ感シテ一層ノ忠心ヲ致スベシ  
 又會計ヲ主ル手代ヲシテ休暇ヲ執ラシムレハ該手代カ勘定ハ實ニ正  
 當ナルヤ否ヲ知ルニ便ナリ即其本人ナレハ隱シ置ク不正モ他人ノ代

注意數則

理スルニ當テハ全ク發覺スルナリ  
 去レハ其事ニシテ長ク知ラサレハ大ニ主人ヲ害スルニ至ル事オモ早  
 速探リ得テ相當ニ所分シ得ベシ又利ナラズヤ  
 又手代ニシテ非常ナル技倆ヲ以テ其事務ヲ行ヒ居ルモノナランニハ  
 該手代休業スレハ其不便少カラサレハ實際該手代ノ才能ハ一層主人  
 ノ眼光ニ漏サズ映射スベク手代ニ取リテモ大ニ利益ナリ  
 休日ヲ與フル事ハ前々ヨリ知ラシムベカラズ若シ以前ヨリ知レタラ  
 ンニハ不正ヲ蔽フノ工夫ヲ凝スベク過失ヲ發見シ易カラサルベシ

第十七章 注意

完全ナル商人 完全ナル商人タランニハ道德上及智識上數多ノ性  
 質ヲ要スル者ナリ商人ハ決シテ或ル優勝ナル藝能アルニ及ハズ只聰



則 數 意 注

明ナルヲ要スルノミ商人ハ決シテ詩人タリ哲學家タルヲ要セス又學者文人タルニモ及ハズ雄辨家ヲラズトモ可ナリ他人ヨリ特別ニ勝レタル性質藝能ノ一タニ有スルニ及ハズ只一般ニ普通ノ智識ト稱スル實地ノ世渡リニ必要ナル性質ヲ落ナシ有スルヲ必要トスルノミ商人ニハ其人一己ニ人間世渡リニ必要ナル諸性質ノ總テ結合シタル一ノ資格ヲ要ス苟クモ是レアラハ完全ノ商人ト云フベキナリ如何ニ或ル藝能ニ長タリトテ他ノ一方ニ欠クル所アリテハ到底成功ノ望ミナシ立派ナル商人トハ云フベカラサルナリ

●不決斷ノ弊 ● 商人ノ一大欠點ハ不決斷ニアリ尤モ此事タル已ニ各人ノ十分ニ知り居ル所ナレハ別ニ喋々スルニ及ハサレモ有名ナル政治學者ヘンリロータイロル氏カ議論ハ此點ニ付キ大ニ痛快ヲ覺ユル所アレハ左ニ拔萃スベシ

(前略)不決斷ハ秘密ヲ要スル事ニ付キ尤モ有害ナリ實ニ秘密ヲ働カ

則 數 意 注

●不決斷ノ弊 ● 商人ノ一大欠點ハ不決斷ニアリ尤モ此事タル已ニ各人ノ十分ニ知り居ル所ナレハ別ニ喋々スルニ及ハサレモ有名ナル政治學者ヘンリロータイロル氏カ議論ハ此點ニ付キ大ニ痛快ヲ覺ユル所アレハ左ニ拔萃スベシ

ノニハ事ヲ爲ス敏捷ニシテ端倪スベカラサル程活潑ナラサルベカラズ不決斷ナル人ハ勢ヒ種々ナル評議討論ヲ他人ニ求メ從テ依頼心ヲ増加シ常ニ托言シテ曰ク成熟ナル勘考ヲ要ス故ニ手間取ルナリセキテハ事ヲ爲損ズト乍去如此不決斷ナル人ハ其實勘考ニ通常人ノ如ク時ヲ費サザルナリ瞬時ノ思考モ非常ニ苦ク感スルナリ其事ニ關スル注意ハ忽然轉シ去ルナリ而シテ其不決斷ナル事ノ世間ニ知レ渡リテ止ムヲ得ス其不体裁ナルヲ繕ヒ遷延ニ關スル申譯ヲ假作スルモノアリ

斯ル人ハ事件ニ接スル毎ニろく／＼考ヘズシテ只一日ヲ苟偷セン

「チ思ヒ之ヲ爲シ之ヲ遂ントスル万般ノ能力オハ皆不決定ナル烟霧中ニ捲キ込ミテ何所ヘカ其形蹟ヲ失ヒ去ル

●蓋シ至言ト謂フベシ ●

●商人ハ自家ノ欠點ヲ知ルヲ要ス ●

●商人タル者ハ自家ノ長所欠點ハ



